

# 武蔵野の森総合スポーツプラザ

## 指定管理者審査 提案書類（事業計画書）

団体名 東京スタジアムグループ

所在地 東京都調布市西町376番地3  
株式会社東京スタジアム内

代表者名 株式会社東京スタジアム  
代表取締役社長 田崎 輝夫

## 事業計画書様式一覧

提案課題		ページ
1 管理運営の基本方針		3~5
	1 開業準備・開業後の施設提供等のスケジュール	6~7
2 施設の提供等に関する業務	2 施設の提供に関する業務	(1) 施設提供の実施方針 (2) 利用料金 (3) 休館日及び開場時間 (4) 使用申請及び使用承認
	3 施設の運営に関する業務	(1) プール運営業務 (2) トレーニングルーム運営業務 (3) 多目的スペース運営業務
	4 施設内サービス	(1) 受付案内 (2) 苦情・要望等に対する対応
		15~18 19~20 21
3 事業に関する業務	1 施設の事業に関する業務	(1) スポーツ振興事業 (2) 地域貢献事業 (3) 自主事業 (4) 体育の日記念事業 (5) 利用者に対するサービス提供事業
	2 施設の事業を支える仕組み	(1) 広報 (2) 業務の品質管理
4 施設の管理その他に関する業務	1 施設の管理に関する業務	(1) 施設、設備及び物品の維持管理 (2) 施設の修繕 (3) 危機管理及び災害対応
	2 その他管理運営に関する事項	(1) 個人情報の保護 (2) 環境配慮への取組み
5 収支計画		59~63
6 組織及び人材	1 効果的かつ効率的な執行体制の確保	67~70
	2 明確な責任体制の構築	71
	3 適切な勤務体制等	72~79
	4 人材育成の取組み	80~81
別紙	⑤委託費（維持管理費等）積算内訳	64~66

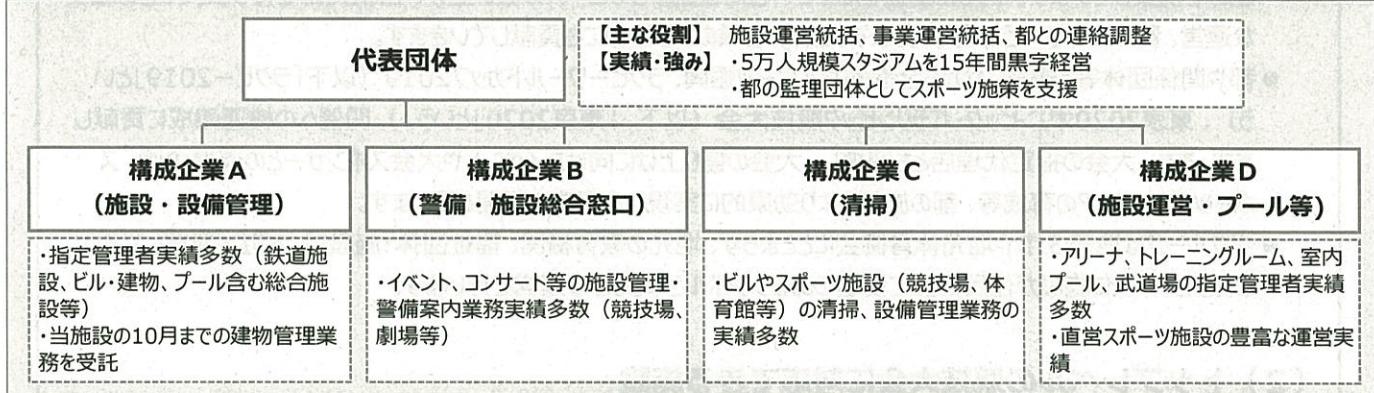
## 提案骨子

武蔵野の森総合スポーツプラザを隣接する5万人規模のスタジアムと一体管理・運営することで、単体の管理では得られない下記の5つの特徴的な効果を生み出します。

**当グループの15年に亘る黒字経営、重大事故の未発生、地域への貢献をもとに、堅実かつダイナミックな施設運営を行います。**

- 【健全経営】隣接スタジアムとの一体・一元運営により、**指定管理料1.79億円（最終年度）**を実現
- 【スポーツ振興】都や関係団体と密接に連携し各種スポーツ大会を成功裏に実施
- 【高い安全性】当該地を熟知した避難・防災計画を立案し、危機管理を徹底
- 【地域ニーズへの対応】需要動向や地元との強固な連携をもとに多彩なプログラムを展開
- 【賑わいの創出】地域に愛されるシンボルとして、スポーツを核に文化、まちづくりにも貢献

### 応募グループの構成



### [上記に沿った具体的な取組みの要点]

管理運営経費	安全・安心の確保	ラグビー2019、東京2020に向けた機運盛り上げ	障がい者スポーツの振興～ダイバーシティプロジェクト(仮)の展開～
P49、P59	P53～55	P23～24、P28～29	P4、P24

都や関係団体と連携したスポーツ推進施策の実現	地域の需要動向に基づくプログラム提供	施設を中心とした地域の賑わいの創出	スマート・ベニュー®構想のモデル
P8～10、P23～24	P34	P8～10、P28～29、P43～44	P49

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### 【全体方針】

隣接する5万人規模のスタジアムと一体的な“多摩の一大スポーツ拠点”として、  
子供、働く世代、高齢者、障がい者を問わず、  
あらゆる都民のために最良のスポーツ機会を提供します。

### (1) 多摩地域のスポーツ振興、まちづくりに貢献する施設

- 15年以上にわたる隣接スタジアムでのスポーツ競技大会やイベント等の実績を活かしながら、当施設の特性を活かした事業に関係団体等と連携して取組みます。
- 当グループの代表団体は、都とともに地元自治体の三人の首長が取締役として参画し、地域と強固に連携する仕組みを構築しています。こうした基盤を活かし、地元住民からのニーズの吸い上げや苦情対応を行うことで、きめ細かな運営、質の高いサービスを実現します。また、地域のまちづくりにも貢献していきます。
- 都や関係団体等と連携しながら全都的なスポーツ振興、ラクビーワールドカップ2019（以下「ラクビー2019」という）、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京2020」という。）開催への機運醸成に貢献します。また、大会の指定代理店とも連携し、大会の盛り上げに向けたイベントや大会スポンサーとの連携企画、スポーツボランティアの育成等、都の施策をより効果的に実現する事業の展開を図ります。
- 当グループは地元3市や地元体育協会にとどまらず、地元の教育機関、福祉団体・施設等と幅広く連携しており、これらをベースに施設が住民にとって愛着のあるシンボルとなるような運営を行います。

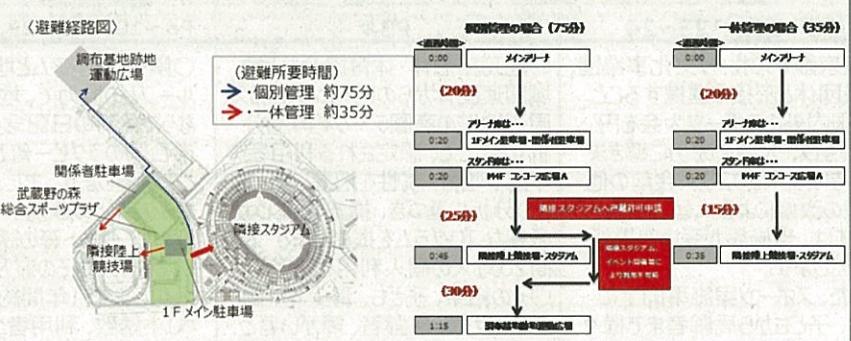
### (2) トップレベルの競技大会に対応できる施設

- 都が設置する全都・広域施設として、隣接スタジアムでの国際的競技大会等の実績を活かし、大規模スポーツ大会や国際競技大会の誘致に取組むとともに、一体運営による効率的で上質なサービスで大会運営をサポートします。（添付資料（別添）P1 参照）
- 改修に入る都立体育施設の代替会場として活用するため、利用調整のための『調整連絡会（仮）』を設置、都や他の指定管理者と密接な調整を図り、改修時の代替会場としてスムーズに対応できる体制を構築します。（図1 詳細はP8）
- 警備・防災や清掃・物品管理、駐車場の運用、人材の共有等を、隣接スタジアムと一体的・一元的に実施することで、経費削減、効率的な管理運営を実現します。
- 隣接スタジアムとの一体運営により、災害発生時の的確な避難路の確保・誘導や、両施設でイベントが重なった場合の来場者の安全誘導を図ります。（図2 詳細はP10、P53、P54）
- 地元の自治体や警察・消防との15年にわたる協力関係のもとに行ってきた隣接スタジアムでの実績を活かし、来場者にとって安全・安心・快適な施設管理運営を円滑かつ確実に実施します。
- トップレベルの競技大会誘致とともに、隣接スタジアムを本拠地とするプロサッカーカラーブ等各種スポーツ競技団体との連携により、子供たちのスポーツに対する夢や憧れの醸成に貢献します。

【図1】利用調整のための調整連絡会



【図2】メインアリーナ1万人規模のコンサート時を想定した避難導線のシミュレーション結果



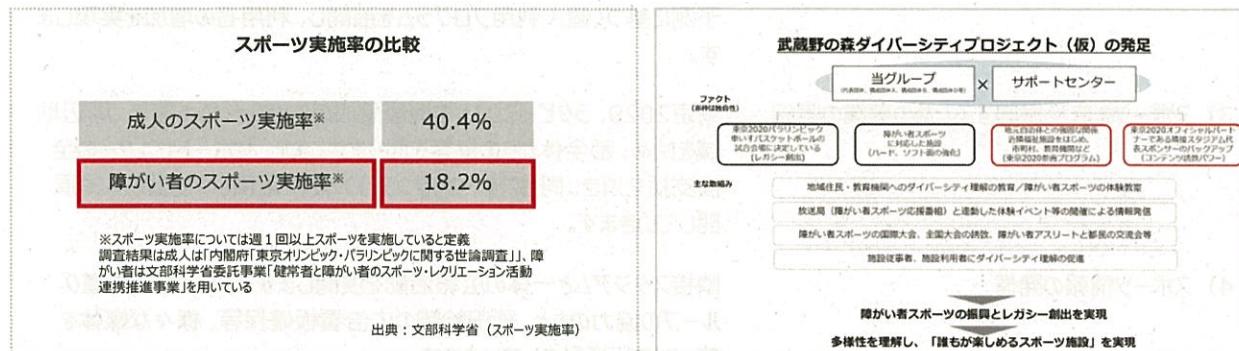
事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題1【管理運営の基本方針】

### (3) スポーツ・フォア・オールを実現できる施設

- 子供から高齢者、障がい者まで、また、個人や団体がそれぞれの目的に応じて気軽に利用できる身近なスポーツ施設となるよう、それぞれのニーズに応じたきめ細かなプログラムの提供や利用しやすい環境づくり等に取組みます。
- スポーツ・フォア・オール実現に向けて、障がい者のスポーツの振興等を目指し、公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター（以下、「サポートセンター」という）と連携し、「武蔵野の森ダイバーシティプロジェクト（仮）」を立ち上げます。本プロジェクトは、すでに同センター常務理事からのプロジェクトアドバイザー就任内諾書を受領し、かつ複数の障がい者競技団体から本プロジェクト参画への関心表明書を頂いている等、障がい者スポーツ関係者から非常に期待されているプロジェクトです。
- 本プロジェクトを隣接スタジアムと一体運営することで、多摩地域全体のスポーツ振興に取り組みます。



### (4) 安心してスポーツができる、人と環境に優しい施設

- 当グループ一体となって、ダイバーシティ推進のための「行動宣言」を行い、都の推進施策を踏まえ、ハード・ソフト両面にわたってその実現に取組んでいきます。
- 隣接スタジアムでの再生可能エネルギーの活用実績を活かし、EMSにより状況を的確に把握しながらエネルギーの効率的な利用を実現し、エネルギーコストの削減・効率化に取組みます。
- 日常の稼働状況やエネルギー効率等を解析し、長期的な設備のダウンサイ징も検討します。
- 隣接スタジアムと一体的に、廃棄物の発生抑制・リサイクル推進・適正処理に取組みます。
- 当施設で実施する様々な環境施策について、館内表示やイベントでの活動等を通じて、都民や企業に積極的に普及啓発を図ります。
- 隣接スタジアムが地元市Aより「エコ・オフィス」の最高ランクの認定を受けた実績を活かし、地球環境に優しい施設とするため、設備の効率的な運用や施設・設備の長寿命化、維持管理コスト削減に努め、ライフサイクルコストの削減を図るとともに低CO<sub>2</sub>型都市づくりに貢献します。

### (5) 「武蔵野の森」の景観にふさわしい施設

- 隣接スタジアムと一体的に植栽を適切に維持管理するとともに、地域と一体となった緑の景観づくりへの普及啓発に努めています。
- アリーナ屋上庭園を自然に触れあう場として活用するとともに、隣接陸上競技場からみどりの広場へと連続する散策コースを整備する等、利用者が日常的に緑に親しめる空間を提供します。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## 提案課題1〔管理運営の基本方針〕

### (6) 当施設に求められる管理運営の基本方針に基づき施策の確実な実行

- 設置目的を踏まえ、指定管理期間において定められた管理運営の基準及び基本方針に基づき、下記の対応策を実行します。

基本方針	当グループが実現する内容・特記事項
1) 質の高いスポーツ観戦機会等の提供	他施設の改修工事に伴う優先大会の受け皿機能を発揮した上で、空き日程にコンサート等の収益事業を行います。広告代理店のサポートを受け、多彩なイベントを確実に誘致します。
2) スポーツ実践の場としての機能の発揮	アマチュアスポーツの普及を目指した団体への施設提供、的確な需要予測に基づく個人利用プログラムを展開し、利用者の増加を実現します。
3) スポーツを普及振興するための事業の実施	東京2020、ラグビー2019の機運醸成のためのイベント等で、周辺地域を始め、都全体からの集客を図ります。また、サポートセンターの全面支援を頂き、同センターが持つプログラムを活用して施設外にも展開していきます。
4) スポーツ情報の発信	隣接スタジアムと一体の広報活動を展開します。また、地元鉄道グループの協力のもと、飛田給駅の広告看板確保等、様々な媒体を使って広報活動をしていきます。
5) 東京都の施策との連携・協力	スポーツはもとより、観光、教育及び文化イベント、一体運営による災害時の拠点機能等、都の行政施策と連携・協力します。
6) 地域貢献事業の実施	地域の様々なニーズに応えたプログラムを年間20本用意し、地域社会の活性化と多摩地域全体の発展に貢献していきます。
7) 効果的かつ効率的な管理運営	年間20本程度のコンサート等の大規模イベントにより、さらなる地域の賑わいを創出し、同時に収益性も高めます。
8) 安全の確保	安心・安全で快適な施設とするため、代表団体の15年以上の運営実績に加え、指定管理者施設を100か所以上運営する構成企業Dを加え、施設の安全レベルを最高度に保ちます。
9) 施設のサービスの維持向上	施設に対する要望や意見を反映したグループ共通の接遇研修プログラムを月次で実施する等、きめ細かい柔軟な利用者対応を心がけ、継続的なサービス向上に取組みます。
10) 公立スポーツ施設としての役割	周辺3市との連携実績を活かし、スポーツ振興を通じて社会や地域の政策課題である健康づくりに最大限の貢献を果たします。また、障がい者を含む全世代が楽しめるダイバーシティ施設とします。
11) 自己評価手法の確立 とP D C Aサイクルの実行	年1回の利用者満足度調査をはじめ、利用者ニーズの把握に努め、P D C A分析に基づきサービス向上を図ります。その調査結果は東京都に報告する等、説明責任を果たしていきます。
12) 隣接スタジアムとの連携	一体的な管理運営により、多摩地域の一大スポーツ拠点を形成します。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 1 開業準備・開業後の施設提供等のスケジュール

**開業前に多摩地域住民へ広く当施設の認知・関心の拡大に努めるとともに、万全の体制で施設の開業を迎えます。**



- ①平成29年11月25日の開業予定日に向けて、万全な開業準備を実施
- ②メインアリーナ・サブアリーナ・プールを含めて、同日に全館供用開始

### 1 開業に向けての準備内容やスケジュール

#### ■万全な運営体制を構築するための開業準備スケジュール

- 開業準備業務は、下表のスケジュールで実施します。
- 平成29年4月1日から本施設の建物管理を構成企業Aが受託しており、既に施設管理内容の習熟業務を開始しております。危機管理マニュアル及び設備運用マニュアルの作成に着手しており、11月25日の開業予定日にはスムーズな運営開始が可能です。
- これにより、実際の施設・備品を用いた研修や、マニュアルと施設の整合性を高めることが可能となり、開業時点でのトラブル防止に大きく寄与します。

(※選定結果の公表通知をいただいた場合、速やかに開業準備に取り組むことが可能です。)

2017年10月																															
開業準備スケジュール																															
調査結果(令和)の決定																															
ダイバーシティマニュアル(仮)発定																															
年度実績計画書																															
防災訓練マニュアル																															
整備マニュアル																															
危機管理マニュアル																															
運営マニュアル																															
予約システム																															
予約受付																															
便益プログラム																															
備品納入																															
家人研修																															
広報活動																															
8月～人材募集計画・募集開始																															
8月～HP制作																															
8月～チラシ・グラフィック作成																															
2017年11月																															
開業準備スケジュール																															
調整結果(令和)の決定																															
ダイバーシティマニュアル(仮)発定																															
年度実績計画書																															
防災訓練マニュアル																															
整備マニュアル																															
危機管理マニュアル																															
運営マニュアル																															
予約システム																															
予約受付																															
便益プログラム																															
備品納入																															
家人研修																															
広報活動																															
地域活動																															
9月～大型消防訓練																															
9月～式典開催																															
9月～修正会議																															
9月～最終会議																															
9月～内観会																															
9月～無料体験																															
9月～最終反映																															
9月～無料体験																															

※予約システム使用は平成30年4月からのため、仮の方式にて対応

#### ■他施設と連携したスタッフ教育

- 構成企業Dの指定管理施設である、都内類似施設等で十分なトレーニングを事前に行います。
- 開業日前後においては、他施設の熟練スタッフをサポート要員として受け入れます。

#### ■サポートセンター監修のもと、ダイバーシティ理念に基づいた運営マニュアル制作と民間施設目線でのきめ細やかな運営体制

- 開業準備段階からサポートセンター監修のもと、運営マニュアルを作成します。
- 直営フィットネスクラブや多くの指定管理施設を運営する構成企業Dのノウハウにより、きめ細やかなマニュアルを作成します。
- マニュアルは、施設でのトレーニングを通してスタッフに確実に周知するとともに、万が一運営に課題がある場合は速やかに是正します。

#### ■開業前の大規模消防訓練による安全管理の徹底

- 消防署の協力・指導のもと、開業前に隣接スタジアムと連携した大規模消防訓練を実施します。特に、障がい者の利用を想定した訓練について充分計画し、安全管理の強化をいたします。
- 隣接スタジアムと共に消防訓練を実施することで、より安全性の高いオペレーションが可能になるとともに、課題点が生じた場合は、開業前に改善し、万全の体制を構築します。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 1 開業準備・開業後の施設提供等のスケジュール

### 2 多摩地域住民への情報提供や誘致活動について

#### ■ホームページを1か月前に開設

- 当施設のホームページを開業1か月前に開設し、施設情報や開業に向けた準備状況に関する情報、開業イベントの情報等を発信します。

#### ■東京都の広報・地元3市の広報誌や地元鉄道の交通媒体による告知活動

- 地元3市の市役所、飛田給駅内にPRブースを設置し、開業前から地域への浸透を図ります。
- また、都や地元3市の広報と連携した情報発信のほか、地元鉄道の主要駅等の媒体でも開業告知を実施します。

#### ■隣接スタジアムでの告知活動

- 隣接スタジアムの施設利用者に対し、施設利用の紹介を行います。
- 隣接スタジアムで行われる大型イベント時にチラシ配布を行います。
- また、隣接スタジアムの既存ホームページにリンクバナーを貼り、当施設ホームページへの流入増を図ります。

#### ■段階的なパンフレットの整備（①開業前後：簡易版 ②開業1か月後：正式版）

- 開業1か月前に簡易なパンフレットを作成し、地元3市の公共施設、地元鉄道関連施設等に設置します。
- 開業1か月後には施設利用シーン等の写真素材を反映した、正式版のパンフレットを作成します。

### 3 当施設にふさわしい開館イベント等

#### ■開館式典に対するサポート（※今後、東京都と要協議）

- 指定管理者として、東京都実施の式典を全面サポートいたします。
- 開業記念グッズ、施設割引券、施設内のカフェ無料券等、開業時の来場促進を図ります。

#### ■オープニング期間（1週間）の施設無料開放（※今後、東京都と要協議）

- 開業日から1週間、プール、トレーニングルームの利用を無料開放し、各種体験教室等を実施します（実施費用については、当グループの費用負担により行います）。
- 無料開放期間中に万が一、運営に課題がある場合は速やかに是正します。

〈オープニング期間の体験教室 \*現時点での想定です〉 ※下記選手は、スケジュール等の都合により変更になる場合があります

場所	競技カテゴリ	実施例	
メインアリーナ	体操	・ 氏、 氏による体操教室	
	ラグビー	・ 氏によるタグラグビー教室	
	障がい者スポーツ	・車いすバスケットボール日本代表選手である 氏による体験教室	
サブアリーナ	柔道	・ 氏、 氏による柔道教室	
プール	水泳	・ 氏による水泳教室	
	障がい者スポーツ	・ 氏による水泳教室	

#### ■多数の都民への周知とプレオープンの実施（※今後、東京都と要協議）

- 施設の開館に先立ち、都民や各教育機関関係者・メディアを対象とした内覧会を複数回開催し、広く都民に施設を認知していただきます。
- また、参加者限定でプール、トレーニングルームの無料体験を行い、スタッフのトレーニング機会とします。
- 万が一運営に課題がある場合は速やかに是正します。
- 地元福祉団体と協業し、障がい者の事前招待も行い、障がい者利用のトライ＆エラーも事前にしっかりと行います。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 2 施設の提供に関する業務

### (1) 施設提供の実施方針

**都立体育施設改修期間中の大会には他の指定管理者と連携して対応するとともに、公益性と収益性の両立を図り、施設稼働率の向上を実現します。**



- ①東京体育館や有明コロシアムの改修期間中には、各スポーツ団体誘致の大会実施に協力
- ②障がい者スポーツ振興のため、戦略的に大会を誘致
- ③隣接スタジアムでの実績を活かした商業利用の促進による稼働率向上
- ④隣接スタジアムとの一体運営によるメリットを活かした、大会・イベント主催者への効果的なサポート
- ⑤多様な利用者ニーズに応える、個人使用施設の提供

#### 1 施設の使用に関する業務の実施方針【専用使用(メインアリーナ、サブアリーナ、プール、会議室、多目的スペース等)】

##### 専用使用(メインアリーナ、サブアリーナ)

###### 【利用の調整】

###### ■各スポーツ団体の誘致する大会について、他の指定管理者と連携し利用調整を行い全面的に協力

- 公の施設としての公益性及び公平性とともに、施設経営の効率性に配慮しながら必要な調整を行います。
- 平成30年度以降に改修に入る都立体育施設の代替会場として活用するため、利用調整のための『調整連絡会(仮)』を設置。改修時の「代替会場」としても円滑に対応できる体制を構築します。
- 都が所管する全体育施設を利用する大規模大会の開催においては、東京体育館の指定管理者による取りまとめに協力します。
- 各スポーツ団体の誘致大会を実施しない日程に関しては、コンサートや商業利用に対する施設提供により、収益の最大化を図ります。
- なお、コンサート等の商業利用時においては、スポーツ大会等開催時に支障を与えないよう主催側との間で原状回復契約を結ぶものとします。また、都立体育施設の大規模改修期間を中心として、他の指定管理者と密接に連絡をとり、一部機能を代替するとともに、安全かつ円滑な競技大会の運営を行います。



〈想定される競技大会イメージ〉

〈添付資料（別添）P2 参照〉

- また、隣接スタジアムの運営により培ってきた地元3市や、スポーツ大会・イベント主催者、プロモーター等とのネットワークや信頼関係のもとにきめ細かな利用調整を実施します。特に、スポーツ大会は休日に実施されることが多いことから、積極的な平日の商業利用を促し、施設稼働率の向上にも寄与します。
- 実施にあたっては地域との連携を図り、安全かつ円滑な運営を実施します。

###### 【大会・イベント誘致の基本方針】

###### ■障がい者スポーツ振興に資する大会の誘致・開催に積極的に取組む

- ダイバーシティの理念を発信する拠点として、サポートセンター・各障がい者スポーツ団体等と密接に連携し、障がい者スポーツ振興につながる大会・イベントの誘致に積極的に取り組みます。

- 1) 多摩障害者スポーツセンターへの施設貸出による地域の障がい者スポーツ振興
- 2) サポートセンター等と連携した障がい者スポーツ大会等の誘致

###### ■地元3市の体育協会とのネットワークを活かし、地域のスポーツ振興に資するイベント等を開催

- 隣接スタジアムで15年以上にわたる運営により培った、地元自治体や地元3市の体育協会、スポーツ団体等とのネットワークを活かし、都民のあらゆる人々が参加できるアマチュアスポーツの大会イベント等を誘致し、地域のスポーツ振興に取組みます。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 2 施設の提供に関する業務

### ■隣接スタジアムでの運営実績を活かし、コンサートや展示会等の商業利用を誘致

- 原則としてスポーツでの利用を優先するものの、隣接スタジアムの運営により培ってきたプロモーターなど様々な主催者とのネットワークを活用し、平日の商業利用を促進し、施設稼働率の向上に努めます。
- 当グループは隣接スタジアムでスポーツイベントと商業イベントとの併催により地域の賑わいづくりに貢献してきました。そのノウハウを活かして、当施設を中心とした魅力的なイベントをプロモーターなど主催者に提案していきます。  
(添付資料（別添） P2 参照)

### ■ラグビー2019や東京2020の盛り上げに向け、様々なイベント開催を積極的に推進

- ラグビー2019や東京2020の機運醸成に向けて、東京2020専任代理店の協力を得て、都の施策と一緒にとなった競技大会の誘致とイベント開催に取組みます。
- 隣接スタジアムで行われるラグビー2019の会場と一体運営のメリットを活かして、メディアセンター等の必要な機能で協力連携を図ります。
- 地元鉄道グループと連携して大会イベント時の輸送計画を作成・実施し、安全な大会実施に協力します。
- 当施設は東京2020時の車いすバスケットボール会場となることから、都や東京2020組織委員会と密接に連携し、大会の実施に協力するとともに、サポートセンターと連携し、大会前後の機運盛り上げに積極的に取組みます。

#### 【競技大会・イベント等の開催サポート】

### ■地元ネットワークを活かした効果的な主催者サポートの実施

- 地元自治体や警察、消防、地元鉄道グループ等との強固な関係を活かし、大会主催者の申請業務・調整業務を円滑になるようサポートします。
- 隣接スタジアムと一元的に予約を受け、利用予約が重複した場合に調整を図ることが可能になります。

### ■駐車場を効率的に運用

- 隣接スタジアムの北側駐車場を当施設のイベント主催者へ案内する等、限られた駐車場容量を補完し、利用者の満足を高めます。

### ■一体管理することで来場者のアクセスを強化し利便性を提供

- 地元鉄道グループと連携して、開催規模に応じて飛田給駅への臨時停車、臨時バスの運行を手配する等、公共交通機関の最適な組み合わせによるアクセスを確保します。  
(添付資料（別添） P3 参照)
- 隣接スタジアムを含めたエリア全体の開催規模や混雑時間帯等、利用者の動向を把握し、地元交通機関との調整を行います。

### ■VIPの来場への対応や、主催者等によるインスペクションに対しても実績を活かし確実にサポート

- VIP（皇室や政府関係者・各国大使等）の来場対応については、実績をもとに主催者に対して動線計画や対応方法についてアドバイスを行うほか、東京都、主催者、各関係機関と連携を図り、的確なサポートを行います。
- 大規模な国際スポーツ大会を始め、イベント主催者やメディア等による事前チェックに際しても、隣接スタジアムでの実績を通じたノウハウを活かし、主催者に最大限の協力をています。

### ■隣接スタジアムとともにエリア一体となって競技大会・イベント等の盛り上げをサポート

- 競技大会やイベント等が盛大に開催されるよう、一般通行者への安全確保を行いながら、ペデストリアンデッキ等を含めたエリア一帯の活用方法を主催者に提案し盛り上げをサポートするとともに、イベント開催による地域の賑わいづくりにも貢献します。

## 2 施設の使用に関する業務の実施方針【個人使用(プール、トレーニングルーム)】

### ■指定管理実績の豊富な専門事業者によるサービス提供の実施

- プール及びトレーニングルームは、指定管理の運営実績を多数有し、その多くで利用者を大幅に増加させてきた実績をもつ構成企業Dが運営を行い、多様なニーズに応える質の高いサービスを提供します。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 2 施設の提供に関する業務

### ■都民の多様なニーズに対応した取組みを実施

- 都民の世代や年齢、レベルにきめ細かく対応し、プールのコース設定や、様々な教室プログラムを実施します。
- 住宅地である多摩地域の特性を踏まえ、曜日や時間帯等も考慮し、参加率を高め継続的な利用を促進する、きめ細かなサービス提供に取り組みます。
- 特に、障がい者の参加を進めるために、多摩障害者スポーツセンターや近隣の福祉施設とのネットワークを活用し、障がい者のスポーツニーズを反映した利用促進を図ります。

### 構成企業Dの指定管理実績（一部）

施設A 実績		
指定管理者前	→	指定管理運営開始
平成17年度 264,935名	→	平成18年度 307,578名
		平成19年度 473,955名
↑9年目純丁で20万人(154%)アップ↑		

施設B 実績		
指定管理者前	→	指定管理運営開始
平成21年度 141,811名	→	平成22年度 237,516名
		平成23年度 320,305名
↑7年目純丁で17万人(134%)アップ↑		

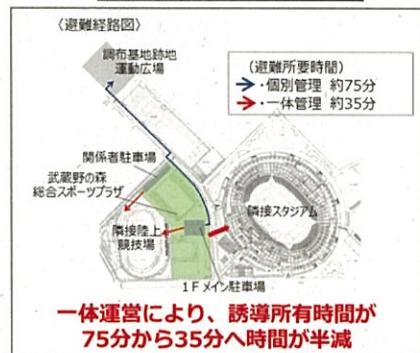
施設C 実績		
新規案件	→	指定管理運営開始
平成24年4月1日オープン	→	平成24年度 38,300
		平成25年度 63,592
↑5年目純丁で2.5万人(166%)アップ↑		

## 3 施設の使用に関する業務の実施方針【全体】

### ■隣接スタジアムとの一体運営により、災害時等の緊急時にも万全の体制で対応

- 隣接スタジアムと一緒に警備体制、防火・防災体制を構築することで、大規模災害やテロ等、想定される危機を未然に防ぐとともに、災害時等に迅速かつ適切に対応します。
- 隣接スタジアムと一緒に運営を行わず、当施設で独自に一時避難場所を確保した場合、円滑な対応が難しいと判断します。従って、利用者の安全を十分に満たすには、隣接スタジアムと一緒にした避難計画を検討し、避難路確保や情報共有等、リスクマネジメントを行うことが必要であり、それを一体管理によって実現します。
- 当グループ構成企業・関連企業社員の多くは多摩地域に居住しており、近隣に事業所も多いことから、災害時の参集や応援等により万全のバッカアップを行います。

### 誘導導線のシミュレーション結果



\* 前提条件：メインアリーナ1万人規模のコンサートを想定し計測

- 障がい者の利用を想定し、潜在リスクの洗い出しによるマニュアル整備の徹底や、定期的な特別訓練を実施し、万全の体制を確保します。

### ■「ダイバーシティプロジェクト（仮）」のもと障がい者の利用を促進

- 施設提供を含む当施設の管理運営に関する全ての業務において、ダイバーシティの視点で全スタッフでの研修・訓練の徹底や、施設・設備や物品等の環境づくり等に配慮し、障がい者の利用促進、多様な人々の交流を図るように取り組みます。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 2 施設の提供に関する業務

## (2) 利用料金

東京都の条例に基づき、適切な料金を設定するとともに、利用者にとってわかりやすく利用しやすい料金体系により稼働率の向上に努めます。

提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 2 施設の提供に関する業務

【別表：具体的料金体系及び金額】

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 2 施設の提供に関する業務

【別表：具体的料金体系及び金額】

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 2 施設の提供に関する業務

### (3) 休館日及び開場時間

**利用者からの施設の利用時間延長の希望にも柔軟に対応し、使用ニーズに的確に応えた休館日及び開場時間の設定を行います。**



①多摩地域の立地特性(=住宅地)を踏まえた休館日と開場時間の設定

②年末年始等、利用者ニーズに合致した開場時間の設定、貸館施設の時間延長にも柔軟に対応

#### 1 施設全体の休館日及び開場時間の設定についての考え方

##### ■利用者ニーズを応える休館日と開場時間の設定

- 東京都体育施設条例施行規則では、原則として毎月第3月曜日（休日の場合はその翌日）が休館日と規定されています。休館日は都の事前協議を得た上で決定しますが、当グループは学校の振替休日に当たる「月曜日」は、子供世代の利用が見込まれると想定、代替案として「毎月第3水曜日」（休日の場合はその翌日）を休館日にしたいと考えます。
- 専用使用施設（貸館等）で実施される大会・イベントも使用希望等を総合的に勘案し、都と事前協議の上、休館日スケジュールを確定します。
- メンテナンス休館をできる限り少なくするため、作業を営業時間外に行う等、さらなる効率化と開館日を最大化する努力をします。

〈休館日の設定〉

全館 休館	定期 休館日	毎月第3水曜日 (休日の場合はその翌日)を原則とし、優先使用などの状況により設定
	年末 年始	12月28日～1月3日 ※専用使用施設については、利用団体の要望に基づき、年末年始の開催にも柔軟に対応
	年 1回	メンテ ナンス 休館日
一部 休館	年 1回	プール全換水・ 点検

##### ■専用使用施設では、年末年始の利用にも柔軟に対応

- 利用時間の延長を希望する利用団体からの要望には、柔軟に対応します。また、設営・撤去時間にも配慮し、早朝・深夜の利用時間帯の延長にも柔軟に対応します。

〈開場時間の設定〉

専用使用 施設	午前9時～午後9時 ※利用団体の要望により、延長にも柔軟に対応
	平日・土曜 午前9時～午後10時30分（最終入場10時） 日曜・祝日 午前9時～午後9時30分（最終入場9時） ※退館時間を30分で設定し、ゆとりある利用に対応 郊外立地・住宅地であることから上記に設定

事情説明等を行います。これまで近隣エリアでイベントを多数開催してきた経験が最大限に活きるものとなります。

### (4) 使用申請及び使用承認

**公平性・公共性・平等性を担保した施設の使用承認を行います。**



①「東京都スポーツ施設予約システム」の早期習熟と適切な運用を継続

②東京体育館や有明コロシアム改修期間中の大会には受け皿機能を果たし、優先的に対応

#### 1 使用申請から使用承認までの業務

##### ■専用使用における使用申請・使用承認について

優先受付	・東京都体育施設条例施行規則に基づき、使用申請に対する決定方法に基づいて使用承認を行います。 貸出可能枠を大きく上回る申し込みに対しては、都や各施設の指定管理者と連携し調整します。 ・東京体育館や有明コロシアム改修期間中に国際大会や全国大会を開催する代替会場・受け皿機能を果たします。 (公財)東京都スポーツ文化事業団等と利用調整を円滑に行うための「調整連絡会(仮)」を設置し、優先的に当該大会を開催できるよう使用承認を行っていきます。 ・「東京都スポーツ施設予約システム」の利用にあたっては、維持管理を行っている指定管理者と連携し、事前研修を受ける等周到な事前準備のもと、運用にあたります。
一般受付	・管理運営基準に基づき、使用申請の受付、決定、承認を行います。空きがある場合は情報をホームページ等で公開する他、連携する地元体育協会や地域のネットワークのもとに、稼働の向上促進を図ります。 ・利用希望が重複した場合は、公正な利用調整を行うとともに、利用目的に応じて隣接スタジアム施設の紹介を行い、積極的に利用ニーズに応えます。

##### ■個人使用における使用申請・使用承認について

- ICカードを活用した入退場管理システムを導入します。発行時に年代・性別・地域等のデータを収集し利用者データ分析に活用します。減免対象者（障がい者手帳保持者等）は、条例等の基準により、受付で対応します。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 3 施設の運営に関する業務

### (1) プール運営業務

**指定管理者として100か所以上の運営実績と利用者数の増加を先導してきた実績のもと、都民ニーズを踏まえたサービスの展開、安全・安心・快適な運営を行います。**



- ①可動壁を効果的に活用し、世代・目的等に応じて利用しやすい環境を提供
- ②100か所以上の指定管理運営実績をもつ構成企業Dのノウハウにより、事故なく快適な運営を展開
- ③全スタッフへの訓練・研修を通じた充実した障がい者への対応により「ダイバーシティプロジェクト(仮)」を推進

#### 1 業務内容

##### 【業務実施方針】

###### ■ 安全・衛生管理を徹底し、利用者ニーズに対応する質の高いサービスの提供

- 指定管理者として100か所以上の管理運営実績を有する構成企業Dが展開する「安全・安心こそ最大のサービス」の精神に則り、本プール利用者が常に安心して日常利用できる監視体制等のプールサービスを提供します。
- 当プールの特性である可動壁を効果的に活用し、子供から高齢者、障がい者等がそれぞれの目的や運動能力に応じ、利用の棲み分けが実現できるような運営とします。
- 教室プログラムでも、可動壁を十分に活用してスペースを設定し、地域の商圈分析による来場時間・来場想定に合ったプログラムや、地元の動向や指向性を汲み取った地域住民の真のニーズに応じた企画とします。
- プールやトレーニングルーム等の個人利用施設の運営を担う構成企業Dは、多くの指定管理施設の利用者を過去実績から大幅に伸長させています。人口動態に合ったプログラム組成ノウハウや接遇等の運営経験を活かして、安全で高質なサービス提供により、多摩地区で最大級の利用者年間20万人の来場を目指します。

###### ■ 「ダイバーシティプロジェクト(仮)」を活用した障がい者利用の促進

- 東京都多摩障害者スポーツセンターや地域の福祉施設等とのネットワークを活かし、障がい者の利用も促進します。
- 全スタッフへの障がい者対応に関する研修・訓練を徹底するとともに、東京都障がい者スポーツ指導員講習会等を平成31年度までに全スタッフが受講するように準備を進めます。
  - ・ 障がい者スポーツセンターからは、プール利用の要望をいただいている。その要望に応えプールの貸出を実施します。障がい者の水中運動、初心者・中上級者向けの水泳教室等を実施します。
  - (プール以外の障がい者向け教室も、プロジェクトの中で受け入れ方法等をヒヤリングして、拡大対応します。)

##### 【業務内容】

###### プールコースの運用について

###### ■ 曜日別に可動壁を活用したコースの設定を行い、様々な利用者のニーズに対応します。

- 高齢者のウォーキング利用や、小さい子供が遊びながら水に親しめる利用等も想定し、過去の運営経験も踏まえ、下の例のように曜日別のコース設定とします。団体使用には、団体のニーズに沿ったコース設定で対応します。

曜日	コース設定
月・火・木・金・土	<ul style="list-style-type: none"><li>・可動壁をセンターに設置し、25m×2箇所で運営</li><li>・1箇所は水深0.8mとし、高齢者のウォーキングにも対応</li><li>・もう1コースは水深1.2mとし泳ぎやすい水深とする</li><li>・小さい子供も遊びやすいフリースペースを設け、教室プログラム（自主事業）を行うスペースとしても活用</li></ul>
水・日	<ul style="list-style-type: none"><li>・50mプールに設定</li><li>・水深は1.1mとし、泳ぎにもウォーキングにも対応できるようにする</li></ul>

###### 50mプールの運用方法

- ・ 都内でも数少ない施設であることを踏まえ、利用促進を目指します。定期休館日として想定している毎月第3水曜日を除く毎週、水・日曜日は50mコースのみに設定し、上級者ニーズに応えた運用を計画します。
- ・ また、東京2020に向けたスイミング選手育成のため、子供たちの泳力、体力アップに貢献します。さらに様々な公式試合を想定した練習メニューの取り入れにも活用します。

###### 25mプールの運用方法

- ・ 自主事業がある時ない時とに分け、自主事業がない時はウォーキングコースの充実等利用満足を高めます。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕3 施設の運営に関する業務

○25m運営時



(自主事業なし)

中速コース



○50m運営時



### 教室プログラムの実施

#### ■都民のスポーツ参加を促進する「教室プログラム」の提供

- 日頃の運動不足解消やダイエット、大会参加を目指す方等、個々のニーズに対する満足度向上を図るプログラムを自主事業として実施します。
- 様々な施設で利用者増を図ってきた構成企業Dの運営実績に基づき、流行のプログラムをリサーチし、さらに最新の指導内容を導入することで、初心者から上級者向けまでバリエーションに富んだ効果的なプログラムを提供します。

#### ■「成長の見える化」プログラムの構築

- 教室プログラムを通じた、利用者の体力、泳力等の向上と成長過程を数値化することで、当施設を通じた利用者の成長過程の見える化に取組みます。その取組みを通じて、都が示す「スポーツ都市東京」の実現に貢献します。

### 安全管理への取組み・体制

#### ■監視業務：利用者の安全管理を徹底した、監視・救助体制の構築

- プール管理運営の基準に示された業務従事者7ポイント（統括責任者1ポイントを含む）以上を遵守します。なお、繁忙期においては11ポイントで対応します。
- 加えて構成企業Dが長年培ってきたプール運営管理ノウハウにより、事故防止を徹底します。また、万一の事故発生に備えて、事業開始前に、「当施設プール管理運営マニュアル」を策定し、万全を期します。

#### [定められた有資格者による監視体制]

- 監視計画策定にあたり、上記ポイントを踏まえた体制により、安心・安全・快適に利用できる環境を整備します。
- 総括責任者及び監視業務に携わる運営スタッフが保有する資格は以下のとおり。

##### 【総括責任者が保有する資格】

- 公益財団法人日本体育施設協会の水泳指導管理士
  - 公益財団法人日本体育協会の公認上級水泳指導員又は公認水泳指導員
  - 日本赤十字社の水上安全法救助員
- かつ、通算5年以上のプール監視員業務歴を有する者を配置

##### 【監視業務従事者が保有する資格】

- 公益財団法人日本水泳連盟の基礎水泳指導員
- 文部科学大臣認定の水泳教師、水泳コーチ、水泳指導員
- 日本赤十字社の水上安全法救助員(指導員)
- 日本ライフセービング協会のウォーター・ライフセーバー
- 特定非営利活動法人日本災害救護推進協議会A級ライフガード

※監視業務従事者は、CPR（心肺蘇生法）ができ、各プールにおける常時監視人員の半数以上を上記の有資格者とともに、救助に当たるすべての監視員はこれと同等の能力を有し、500m以上の泳力者で健健康な者とします。また、資格を有していない監視員は上記資格取得を速やかに取得するものとします。

※なお、監視員のうち1名以上は、「障がい者スポーツ指導者養成講習会」又は「障がい者スポーツ指導者養成研修会」等の受講者を常時配置し、他の監視員にも救急救命講習会を受講し、心肺蘇生法の技術を習得した者を配置します。同資格受講については、平成31年度までには配属スタッフ全員が受講することとします。

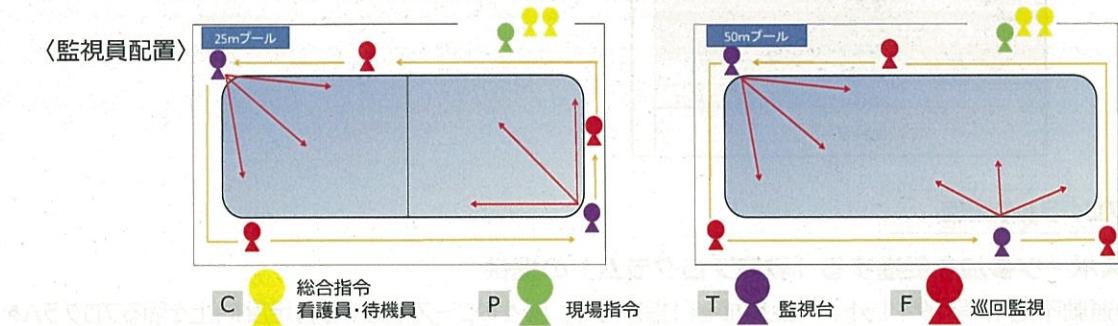
事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕 3 施設の運営に関する業務

## [監視業務の実施]

- ・プール監視は、C（コントロール）、P（パトロール）、T（タワー）、R（レスト）、F（ファーストエイド）それぞれの役割に応じて業務にあたるクロスチェック体制により、死角を無くし、下記の安全体制を確保します。
  - ・看護業務従事者は日本赤十字社の救急法救急員の資格を有する者とします。
  - ・監視においては水泳者に対する監視と周囲の状況変化に対する監視の2つを対象とし、周囲の状況変化については利用者への挨拶と声かけをすることで利用者の体調管理の把握も同時に行います。



## 「プールの安全管理研修の実施】

- 事故発生時に大切なことは、「迅速な行動と正確な判断」となります。事故を想定した救助・連携・連絡訓練・障がい者の利用も想定した訓練を定期的に実施します。



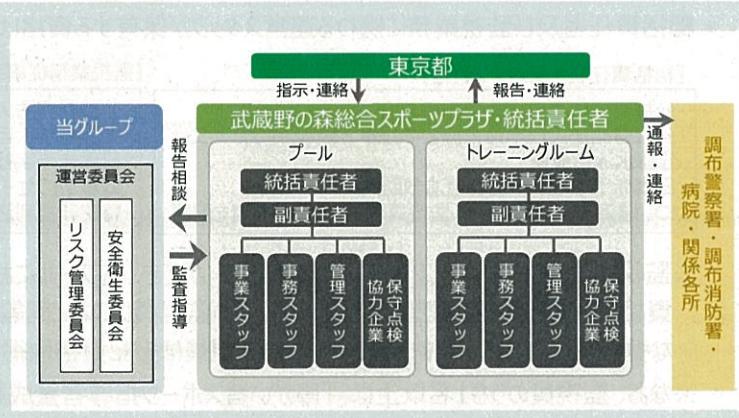
項目	内容
研修訓練内容の共有・目的意識の共有	・責任者以外には非通知で行う、実際に近い訓練も実施
溺者の搬送訓練	・溺者の搬送方法を訓練しておくことで、二次災害を防止
引き上げ訓練	・意識がなくなっている場合も想定し、引き上げの訓練も実施
心肺蘇生方法の訓練	・救急隊員が来るまでの間の救急措置を訓練 ・プール安全管理研修のほか、警備業講習等、監視に必要な様々な研修を実施
障がい者を想定した訓練	「ダイバーシティプロジェクト(仮)」に基づく特別訓練の実施

■看護業務：有資格者を配置し、応急手当から救急時に対応

- 日本赤十字社の救急法救急員の資格を持つスタッフを配置し、応急手当、応急処置、救急車の手配、自宅への連絡、病院までの同伴等を行います。

## 構成企業Dによる安全管理の徹底

- ・「安心・安全こそ最大のサービス」という方針に基づき「安全理念・安全基本方針」を当施設内においても制定・施行し、これに基づき、事故等を可能な限り未然に防ぐとともに、万一事故や災害が発生した場合には被害を最小限にするため、危機管理マニュアルと構成企業D本社及び事業所によるバックアップを含む徹底した危機管理体制をもとに安全管理に取り組みます。



事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題2〔施設の提供等に関する業務〕3 施設の運営に関する業務

### 清掃・水質保全・衛生管理への取組み

#### ■徹底清掃と巡回により、常に衛生的な環境整備を実施

- 開業前・後にスタッフによる徹底した清掃を行い、監視員が常にプール内及びプールサイドの衛生を保ちます。さらに、20~30分に1回は更衣室等の付帯施設についても巡回し衛生的に利用できる環境を整備します。

#### ■水質基準を維持することはもとより、高品質な衛生管理による清潔な施設に

- プール熱(咽頭結膜熱)や手足口病、水いぼ、はやり目(流行性角結膜炎)、あたまじらみ、水虫等の感染や、レジオネラ菌の感染事故等が起こさないように、下記のような衛生管理・安全管理には細心の注意を払います。
- 当プールに適合した水質等環境測定業務マニュアルを充実させ、本業務に携わる全ての職員に環境測定、保管のポイント等について適切な訓練・研修を実施し、周知・徹底させます。

#### [温水プールの水質管理]

- ・厚生労働省の通知による「遊泳用プールの水質基準」に基づき、業務区分を設備技術員が行うものとプール監視員が行うものに区分し、それぞれが連携して水質管理を行います。
- ・機械室では、プールろ過設備の点検整備、清掃を行うとともに、消毒剤保管設備を含め、安全かつ容易に運用できる施設独自のマニュアルを作成し、徹底します。

水質チェック表
（複数枚提出可）

#### [温水プールの水質検査]

- ・水質基準で定められた水の基準値を維持するために、水質検査によって確認を行います。総トリハロメタンや過マンガン酸カリウム消費量も検査の対象とし、設備技術員と監視業務員が連携して業務にあたります。サンプル水の採取場所や採取方法、濁度の判定等、毎日の検査業務の精度を上げるための研修も併せて行います。

#### [温水プールの薬品等の保管]

- ・アルカリ性の消毒剤や次亜塩素酸ナトリウムと、凝集剤に用いられる酸性のポリ塩化アルミニウムを混合しない等、職員教育を徹底し、取扱いに十分注意し薬剤事故を防止します。

## (2) トレーニングルーム運営業務

「誰もが楽しめる」スペースを展開し、スポーツ実施率向上にも貢献することで、「スポーツ都市東京」の実現に協力します。

- Point**
- ①「安心・安全こそ最大のサービス！」に準じた、徹底した安全管理
- ②あらゆる利用者が快適にトレーニングできるスペースの提供
- ③需要調査に基づき地域特性にあったプログラムの提供

### 1 業務内容

- 指定管理施設100か所以上の実績を有する構成企業Dの徹底した安全管理のもとサービスを展開することで、都民の多様な目的、ニーズに的確に応えていきます。

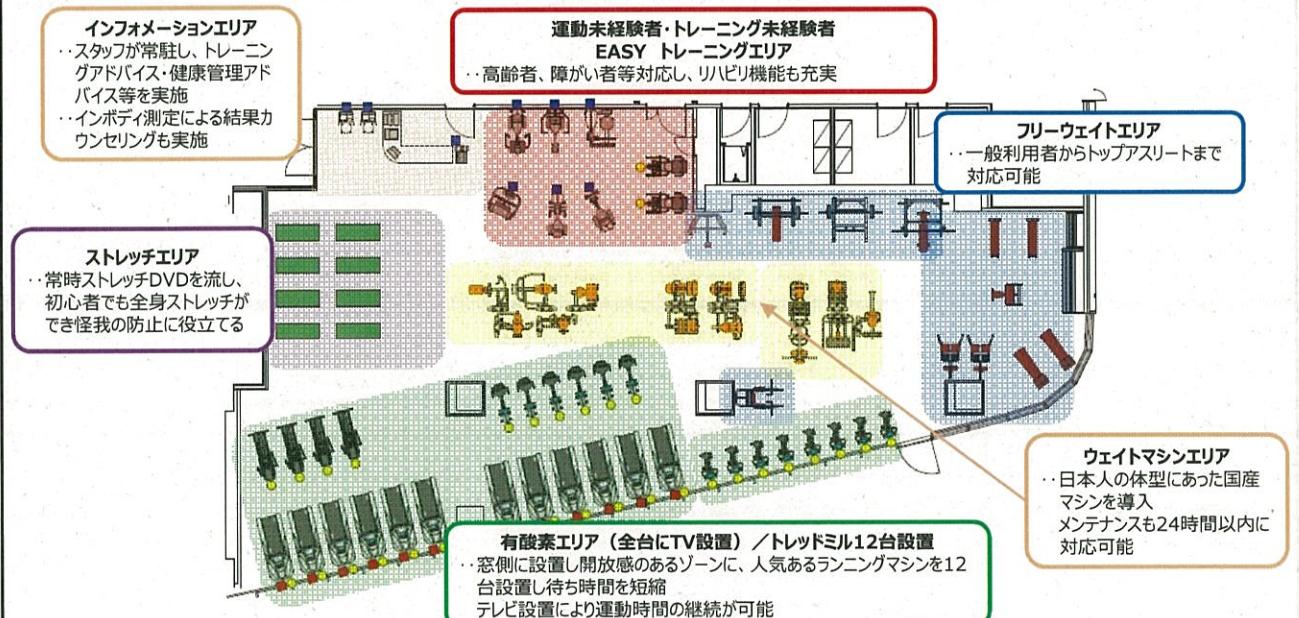
#### 【利用者の安全管理を最優先した管理体制】

##### ■ 経験豊富な運営従事者の選定

- 総括責任者には、保健体育の教員普通免許またはトレーニング関係の公的資格を有し、トレーナー業務を5年以上経験している信頼できる人材を選定し、利用者にとって円滑かつ安全管理万全の体制を構築します。
- トレーナーは、業務従事者の資格要件を充足し、誠実かつ真摯に業務を遂行する人材を採用します。
- トレーナーには、プール運営スタッフと同様に「障がい者スポーツ指導者養成講習会」の受講を義務づけます。(平31年までには全員受講します。)また、通常のトレーニング知識だけに限らず、効果的な栄養摂取方法の指導やリハビリに役立つ筋トレメニュー等、体力相談ができる、利用者満足度を高められる人材を育成し、配置します。

##### ■ あらゆる利用者が快適に利用できるゾーニングと人材配置

- 最新のトレーニングマシンをゆとりをもって配置し、利用者の快適な利用を確保します。
- 有酸素運動エリア、筋力トレーニングエリア、ストレッチエリアに区分けし、初心者や障がい者にとっても明解で利用しやすいトレーニングルームとします。
- 管理運営の基準に基づく、適切な人材配置を行い、安全な利用環境を継続します。
- トレーナーは施設内を巡回しながら、汗で湿っている機器や床面の拭き取りを行い、事故を未然に防ぐ等、利用者の安全管理に努めます。また利用者に積極的な声掛けや励まし等のコミュニケーションをとることで、個人利用者にとっても楽しく、安全で快適に感じられるトレーニングルームとします。
- 初めての利用者に対しては、機器の取り扱い方を懇切・丁寧に説明し、事故やケガの未然防止に努め、希望により無料で受講できる体力相談や健康カウンセリング・トレーニング方法等のプログラムを提供します。



事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題2 [施設の提供等に関する業務] 3 施設の運営に関する業務

### ■安心・安全こそ最大のサービス！に基づく構成

- 構成企業Dは、「安心・安全こそ最大のサービス」の精神が浸透しており、利用者の方々が安心・安全に施設を利用できるよう、当施設でも「安全基本方針」を制定・施行します。これに基づき、事故等を未然に防ぐことができ、また万一事故や災害が発生した場合でも、被害を最小限とするための危機管理マニュアルと危機管理体制を構築し、徹底した安全管理に取り組みます。（P16～17のプールと同様に安全管理を実施）。
- 当施設のトレーナーとプールを運営するスタッフ、施設全体を管理する設備統括責任者は常時インカムマイクを携行し、緊急事態発生時に速やかな情報共有を図り、有事対応を行います。
- 当施設のトレーナーとプールを運営するスタッフ全員が、普通救命講習を受講するとともに、社員は上級救命資格を取得、AED研修の受講（年3回）、避難訓練（単独で年に4回、施設全体で年2回の計6回）をお約束します。

	土・日・祝	平日	
	8:30～21:30	8:30～21:30	15:30～21:30
トレーナー	5ポイント以上	4ポイント以上	+ 1ポイント以上

### 【ダイバーシティプロジェクト(仮)のアドバイスによるノーマライゼーションの実践】

- あらゆる利用者が「区別」されることなく、誰もがストレスなく「快適に」利用できる環境の構築を目指します。
- 施設従事者は、「ダイバーシティプロジェクト（仮）」を通して、ダイバーシティへの理解を深め、あらゆる利用者に対応します。
- 障がいを原因とする特別なトレーニングにおける専門的知識獲得のため、隣接スタジアムの室内施設に在籍する多摩障害者スポーツセンターと連携することで、より高度なトレーニング指導を実現します。
- 「障がい者が利用しやすい施設」という良好なレビューを形成します。
- 通常の危機管理マニュアルに加えて、様々な障がい（視覚、聴覚、肢体不自由等）に対応する「マニュアル」を作成し、利用者満足の向上に努めます。

### 【隣接スタジアムで培ったノウハウや地域ネットワークを活かした多様なサービスの展開】

- 需要調査に基づく、地域ニーズにあったプログラム（地域貢献事業・自主事業）の実施

(例) ・「 」 名誉教授と、現役選手（ 氏等）による特別体操教室  
 ・地元サッカーチーム等との連携によるトレーニング講座  
 ・隣接スタジアム代表スポンサーの「 」によるスポーツ栄養科学講座、効果的なアミノ酸摂取方法講座  
 ・隣接スタジアム利用者に対する施設無料券の配布  
 ・自治体と連携した「いざという時に役に立つ防災・減災講座」

### 【体力相談・カウンセリング等、継続的利用の促進】

- 体組成分析装置（インボディ）を設置し、利用者が定期的にトレーニングの成果を測定し、継続的なスポーツ参加を促進します。

### 【スポーツの適正、健康及び体力相談】

- 適正な運動量、健康体力相談を行えるスタッフをトレーニングルームに配置いたします。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題2【施設の提供等に関する業務】3 施設の運営に関する業務

### (3) 多目的スペース運営業務

**地域の物産販売や文化・観光PRに積極的に貸し出し、地域の賑わいを創出します。**



- ①地元自治体や地域住民との関係性を活かした企画の誘致
- ②地域貢献事業での活用
- ③ラグビー2019や東京2020大会の関連展示による機運醸成

#### 1 業務内容

##### 【地域の賑わい創出】

###### ■ 地域の賑わい創出・活性化に資する企画への貸出の実施

- 地域の活性化や地域の情報発信に関連する企画を積極的に誘致し、賑わいづくりに貢献します。

- (例)
- ・調布/府中/三鷹3市の歴史・文化パネル展示
  - ・平和・人権教育や自然教育に関連する展示
  - ・多摩地域所在の中小企業のキラリと光る技術のパネル展示
  - ・地元鉄道グループ内のグループ企業の事業紹介



###### ■ 地域の賑わい創出・活性化に資する地域貢献事業の実施

- 地元自治体や関連する団体（NPO、大学等を含む）と連携し、地域の賑わいづくり、地域の魅力発信等、地域活性化に資するイベントを展開し、稼働率の向上を図ります。

- (例)
- ・地域の自治体PR（含む地域産品の販売）
  - ・近隣中学生や特別支援学校生徒の職場体験
  - ・調布市・府中市・三鷹市歴史探訪スタンプラリー
  - ・カルチャースクール「武蔵野の森 手作り教室」



##### 【国際スポーツ大会の機運醸成】

###### ■ ラグビー2019及び東京2020の機運醸成を行う場としての活用

- 機運盛り上げを目的としたスポーツの写真展や関連展示等の企画を実施します。
- 障がい者スポーツ振興のため、サポートセンターと連携し、施設利用者にダイバーシティの意識啓発を図ります。

- (例)
- ・障がい者スポーツの様々な競技を紹介するパネルや映像、用具の展示
  - ・国際スポーツ大会の競技力の高さを想起/体験させる企画展（砲丸や重量挙げのバーベル等）
  - ・スポーツ機運の醸成に向けたメジャーコンテンツの常設映像配信
  - ・過去の国際スポーツ大会の名シーンのパネルや映像の展示



##### 【アリーナ等他施設との連動】

###### ■ アリーナ・隣接スタジアム等のイベント主催者への付随的な利用の促進

- メインアリーナや隣接スタジアムを使って行う大規模イベントの際に、関連展示やイベントの併催（物販やパネル展示スペースとして活用等）等を促し、賑わいづくりに貢献するとともに、稼働率向上に寄与します。

###### ■ 隣接スタジアムとの一体運営による、スムーズなスペース運用

- 多目的スペースへの展示物等の搬出入については、「隣接スタジアムとの連絡橋」の使用が不可欠であることから、隣接スタジアムとの一体運営により円滑な運用を図ります。
- 隣接スタジアムの利用者に、多目的スペースの活用を提案し、稼働率向上に努めます。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

### (1) 受付案内

「ダイバーシティ」の理念に基づき、すべての利用者に対して  
親切で分かりやすい『受付案内』と『相談対応』をいたします。

- Point**
- ①ダイバーシティへの理解を全スタッフで研修・共有し対応
  - ②受付案内は、全利用者の相談窓口としても機能

#### 1 実施方針

##### ■ダイバーシティへの理解を全スタッフで研修・共有し対応

- サポートセンターの協力を得て、受付案内と相談対応におけるダイバーシティ理念に即したマニュアルを作成します。  
そのマニュアルに即し、あらゆる利用者に対して親切で分かりやすい対応をします。

##### ■様々な利用ニーズに対応する総合受付の設置とスポーツ関連資料の提供

- プール、トレーニングルーム利用の他に、個人利用・団体利用に対応する総合受付を設け、施設全体のあらゆる質問・問合せに対応し、「相談窓口」としても機能させます。
- 受付付近にスポーツに関する情報コーナー(書籍・雑誌等)を設置し、利用者が自由に閲覧できるようにします。

#### 2 一層のサービス充実に向けた取り組み

##### ■ダイバーシティへの理解を深めるための取組み

項目	取組み例
障がい者理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいへの理解・配慮マニュアルを整備し、全スタッフに共有を図り、理解を深めるための研修・訓練を定期的に実施します。</li> <li>・マニュアル作成や研修・訓練等においては、サポートセンター・多摩障害者スポーツセンター等のアドバイスを受けながら作成・実施します。</li> </ul>
多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアスタッフ等の手配・確保において、近隣の 大学と連携します。</li> <li>・英語パンフレットを用意する他、外国語対応マニュアルを準備、スタッフ内で定期的に対応訓練を行います。</li> <li>・東京2020に向けて、都が取組みを進める言語音声翻訳技術を活用したツール等の導入も検討します。</li> </ul>

### (2) 苦情・要望等に対する対応

隣接スタジアムの苦情対応の仕組みを活用し、利用者の苦情・要望を  
しっかりと収集し、迅速に対応します。

- Point**
- ①隣接スタジアムと一体的に苦情・要望等の収集・対応を実施
  - ②既に構築している地元3市や地元住民との意見交換の仕組みを活用

#### 1 実施方針

##### ■隣接スタジアムと一体的に苦情・要望等を収集し・対応を実施

- 利用者からみれば、隣接スタジアムと当施設は一体とみなされることから、当グループは隣接スタジアムと一体的に苦情・要望等の収集を行い、地域対応に反映します。
- 当グループは多くのスポーツ国際大会、コンサート等での実績があるため、対応すべきポイントは熟知しており、苦情が起こらないような対策に取組みます（迷惑駐車対策や巡回警備等）。また、この蓄積してきた知見は、ラグビー2019、東京2020等でも大いに役立つものと考えます。
- いただいたご意見は回答や改善策とともに施設内に掲示し、利用者の理解を得るよう努めます。

#### 2 一層のサービス充実に向けた取り組み

##### ■既に構築している地元3市や地元住民との意見交換の仕組みを活用

- アンケートBOXの設置や施設利用者へのヒヤリング、ホームページに寄せられる意見等、既に隣接スタジアムが構築している地域との関係を活かし、苦情や要望を吸い上げ、対応していきます。
- また代表団体には地元自治体の首長が経営に加わっていることから、地域の意見を情報共有し、確実に運営改善等に反映させていきます。

##### 現在実施している地元との意見交換の仕組み（例）

- イベントの規模や種類に応じて、地元3市及び近隣自治会等に事前相談・事後挨拶を実施
- その他、定期的に、地元3市等との連絡調整を実施
- 年2回、地域住民との意見交換会を実施

## 提案課題3 [事業に関する業務] 1 施設の事業に関する業務

### (1) スポーツ振興事業

**「スポーツ都市東京」の実現に向けて、都のスポーツ施策に沿った事業を実施。さらに、多摩地区を中心とした都民のスポーツ振興拠点の実現を図ります。**



①都のスポーツ振興を実現する各ライフステージに即したスポーツ参加機会の提供

※子供だけではなく、シニアまで事業の対象として都の健康寿命の延伸に寄与

②ダイバーシティ構想を掲げ、障がい者スポーツのモデルとなる施設へ

#### 1 多摩地域のスポーツ振興

##### 【実施方針】

###### ■子供から働く世代、高齢者等、地域のライフステージに即したスポーツ参加機会の提供

- ・多摩地域の商圈分析に基づき、地域住民のライフステージにあわせたスポーツ活動を提供する事業を展開します。また、スポーツの観戦機会の提供やスポーツを通じた地域交流等、様々な形でスポーツに親しむ機会を提供します。
- ・隣接スタジアムとの一体運営、地元3市との協力関係、サポートセンターの協力等の資産を活かし、トップアスリートの派遣や地元の体育協会による指導、障がい者スポーツの体験活動等を提供します。

**【達成目標】 地域の様々な世代がスポーツを楽しみ、スポーツ参加率を向上。**

**地域の健康増進に寄与し、介護・医療費削減に貢献。**

##### 【事業計画】

対象ライフステージ	実施事業/コンテンツ例
① 働く世代	・個人でも取組みやすく楽しめるコンテンツ（身体づくりを中心とした様々なトレーニング等）
② 未就学児	・親子ともに健やかさを育む幼児教育（身体を動かす楽しみを教えるかけっこ、体操、卓球等）
③ 小中学生	・本格指導からはじめての体験まで様々なニーズにこたえる（武道、卓球等）
④ 子育て世代	・子育て世代を対象とした親子、ママ友同士それぞれで楽しめるもの（卓球やバーボール等）
⑤ シニア世代	・健康増進を目的とした様々な活動（ボッチャ、卓球教室、ニュースポーツ等）
⑥ 全世代対象	・オリンピアンによる教室、スポーツ観戦促進等、地域全体にスポーツの楽しみ方を発信

**多摩地域の商圈分析** （詳細は添付資料（別添）P4～7 参照）

##### 商圈分析（全体）

- ・1次商圈\*1 には「働き世代」が特に多い（東京都全域と比べて+8ptほど）。
- ・周辺の2次商圈\*2 には「子育て世代」及び「ファミリー世代」が多い（同+1ptほど）。
- ・1次2次商圈ともに相対的シェアは他地域より低いが、経年推移をみると「シニア世代」は微増を続けており地域の高齢化は進んでいます。

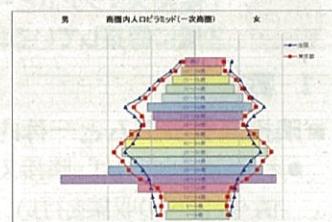
##### 詳細分析

- ① 「働き世代」が突出して多いのは他東京地域と比べても特徴ですが、「1人世帯」はさらに多く（東京都比 +12pt）、「若い単身者」が目立ちます。従って、個人でも楽しめるコンテンツの充実や1人で気軽に訪問できる環境が必要です。
- ② 2次商圈まで広げると「子育て世代」及び「ファミリー世代」が多く、また比較的年収の高い層が多く、「都心に近い、緑と水の豊かな街」という地域特性とも合致。従って、健やかな子供を育てる「未就学児」向け事業へのニーズがあると考えられます。
- ③ 「小中学生」に対しては、プロアスリートが身近にいる強みを活かし、アスリート予備軍へのプロからの直接指導や、身体能力向上のトレーニングを提供することが魅力的なコンテンツとなり、周辺地域からのニーズも呼び込めます。
- ④ 「未就学児」及び「小中学生」の親にとっては、同世代のママ友の交流がとても大切。ママ同士、さらには子供も一緒に楽しめるプログラムはニーズがあると考えられます。
- ⑤ ⑥ 「シニア世代」の相対的シェアは他地域より低いものの経年で微増しているため、プログラム提供は必要です。また、シニアだけでなく、「他世代との交流」や「全世代で取り組む」プログラムとして、ラグビー2019、東京2020等のスポーツ体験プログラムは適しています。

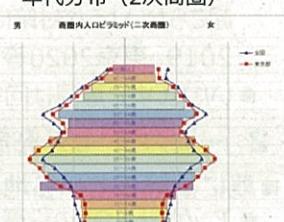
\* 商圏分析データ「ゼンリンジオインテリジェンス」と、調布・府中・三鷹の3市の各種調査資料・レポートから分析

\*1 1次商圈：「武蔵の森総合スポーツ施設」を中心に半径1kmの圏域、\*2 2次商圈：同様に半径3kmの圏域

年代分布（1次商圏）



年代分布（2次商圏）



民間スポーツ施設分布（1-3次商圏）

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題3 [事業に関する業務] 1 施設の事業に関する業務

### 2 都のスポーツ施策の実現

#### 【実施方針】

##### ■障がい者のスポーツ参加機会増加とダイバーシティの普及活動

- 障がいのある人も共にスポーツを親しむ「スポーツ都市東京」を障がい者スポーツのモデル都市へ

東京2020の車いすバスケットボールの試合会場になることを責務ととらえ、機運醸成、さらには大会後のレガシー形成に取組みます。また、サポートセンター等との協力を得て、障がい者スポーツのモデル地域施設となることを目指します。

- ダイバーシティ構想を中心に据え、障がい者スポーツのモデル都市実現へ各種施策を展開

「武蔵野の森ダイバーシティプロジェクト(仮)」を発足し、当施設を中心にダイバーシティの普及活動を展開します。

また、その活動を隣接スタジアムと一体運営することで、開催イベント及び発信メッセージの拡大を図り、普及速度を速めます。

- 東京2020パラリンピック競技大会に関する機運を醸成し、大会後もレガシー形成となる施策を実施

障がい者スポーツ系の各種大会と連携した体験会や交流事業、住民参加型の運動会開催等によりパラリンピック競技大会に関する機運を醸成。さらに、大会後も継続的なイベントを開催することで確かなレガシー形成を目指します。

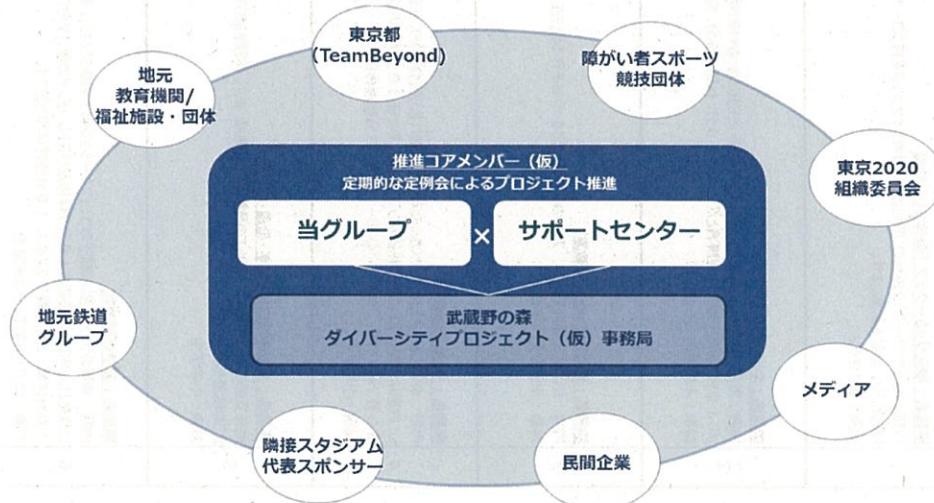
#### 【達成目標】 障がいの有無を超えて住民が交流を図る地域を形成。

障がい者スポーツのモデル施設となり、取組みや実施施策の枠組みを確立。

#### 【事業計画】

達成目標	事業例
・ダイバーシティプロジェクトの運営を担い、東京2020パラリンピックへの機運醸成と大会成功に向けた諸準備を実施。その経験をレガシーとして継承	ダイバーシティプロジェクト(仮)の事務局運営
・各種大会と同時に競技体験会を実施し、障がい者スポーツへの理解向上と観戦促進のための広報活動を同時に展開	「チャレンジカップ」競技体験会
・障がい者スポーツの振興（パラリンピアンとの交流、障がい者スポーツ体験等を通じた興味喚起、理解促進）	・各競技の障がい者スポーツアスリートとの交流事業
・障がい者スポーツを通じた地域交流（大人も子供も高齢者も障がい者もスポーツを通じて一同に会する事業を、地元の体育協会等と連携して実施）	・「あすチャレ！」運動会
・観戦スポーツの振興（競技団体や関連団体と連携し、国際的、全国的な質の高いスポーツ大会の観戦招待を実施。スポーツを見る楽しみを提供）	・観戦招待（バドミントン、車いすバスケットボール、卓球等）
・パラリンピアンと直接ふれあい、都民にとって身近なスポーツとして障がい者スポーツを定着させる。	・パラリンピアンとの交流会 例：車いすバスケットボール 選手、選手 障がい者水泳、選手、選手等
・東京2020パラリンピックや障がい者スポーツ振興への取り組みが広く認知されている。	地上波、BS放送等による情報発信活動

#### （ダイバーシティプロジェクト（仮）の推進体制の考え方）



事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

# 1 多摩地域のスポーツ振興

## (1) スポーツ振興事業

### ◆ 内容

(平成30年度)

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期	1事業あたり		収支計画			① 働き世代	
			回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	
1	事業名：地元サッカークラブ「身体づくり」教室 内容：地元サッカーカラーフ所蔵のJFA公認指導者ライセンスを持ったコーチに協力を依頼し、スポーツの楽しみ方を伝える 「身体づくり」教室を実施します。 対象：働き世代	毎月 1回	24			収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	事業名：子・幼児車両教室 内容：内訳は、スバル選手を通じて、スポーツの楽しさを知るきっかけを作ります。4.5分の車両教室とし、内訳はボーリング が1.0分、ラケットを持つ保護者(ボーリング1.0分、休息1.0分、先生と初めてのリード練習1.5分。 対象：未就学児（6歳まで）	年間 10回	6			支出合計	講師費用	材料費	その他※
3	事業名：幼稚かわっこ・体操教室 内容：かわっこや体操を通して、運動の楽しさを知るきっかけを作るとともに、運動神経・運動習慣の基礎を教えてます。 対象：未就学児（6歳まで）	毎月 2回	12			収入合計	参加料	協賛金	その他※
4	事業名：子ども卓球教室 内容：卓球の楽しさを伝え、たくさんさんのスポーツに触れ合う機会を作り、子どもの健康づくりを図ります。9.0分の卓球教室とし、内訳は、最初の1.0分が体操及びストレッチ、その後3.0分ファンド、パック(1)のリード、最後1.0分整理体操。 対象：小中学生	年間 10回	10			支出合計	講師費用	材料費	その他※
5	事業名：武道体験講座 空手・柔道・剣道講座 内容：地元文部に協力を依頼し、初めての体験講座を開催します。体験を通して新規希望者には連盟練習会に参加してもらおる よう誘導を行います。 対象：小中学生	不定期 3回	40			収入合計	参加料	協賛金	その他※
6	事業名：親子卓球教室 内容：卓球のリードを通して親子のコミュニケーション向上を図ることも、親子でスポーツをする楽しさを提供します。9.0分 の教室とし、内訳は、最初の1.0分が体操及びストレッチ。その後、5分ファンドのボイント説明、親子リード2.0分、 1.0分休憩。3.0分親子打球、1.0分整理体操などです。 対象：幼稚・小学生などの保護者	年間 10回	20			支出合計	講師費用	材料費	その他※
7	事業名：大人向け（子育て世代向け）ハーモニーボール教室 内容：地元アパート所属アスリートにコーチとしての協力を依頼し、普段運動から離れた大人（特に子育て世代）に 向けてスポーツをする楽しさを思い出させるとともに、リフレッシュの機会を提供します。 対象：子育て世代	毎月 1回	24			収入合計	参加料	協賛金	その他※

## 1 多摩地域のスポーツ振興

### (1) スポーツ振興事業 ◆ 内容

(平成30年度)

NO	事業名及び内容	時期		1事業あたり		収支計画			単位：千円
		回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	
8	事業名：ユーススポーツクラブ 内容：地元団体に協力を依頼し、ユーススポーツを複数体験できるイベントを開催します。誰にでも参加可能なプログラム提供を通じ、主にシニア世代に向けた新しいスポーツ参加のきっかけ化します。 対象：シニア世代	年1回	50		収入合計	参加料	協賛金	その他※	
9	事業名：ボクシング体験会 内容：バランシング正式種目である誰でも楽しめる「アフリースポーツボッチャ」を楽しフレ一体験して貰います。あわせて試合形式での実際の競技体験も提供します。 対象：シニア世代	年1回	40		支出合計	講師費用	材料費	その他※	
10	事業名：シニア卓球教室 内容：室内のボール遊びを通して、スポーツの楽しさを知るきっかけを作ります。4.5分の教室など、内訳は、ボール転がし10分、ラケットを持つて他参加者とボールつき10分、休憩10分、先生と初めてのラリー練習15分。 対象：シニア世代	年間10回	6		収入合計	参加料	協賛金	その他※	
11	事業名：ボンビング選手のプレーを見て見るなど 内容：ボンビング選手のプレーを見て見るなどして一緒に体験することやオフリーゲーム等で楽しむ事です。想定内容は、4.5分講演、3.0分模範プレー、卓球体験6.0分などです。 対象：全世代	年4回	100		支出合計	講師費用	材料費	その他※	
12	事業名：スポーツ創発推進プロジェクト 内容：メイドリーナ等で実施される団体ヒューリック、競輪チケットを入手します。地元自治体の市議や広報物に、小学生と保護者へのご招待企画としての使用を検討いたします。競技によっては小学校などに九ヶ所、学校単位で開催してもらう等も想定しています。 対象：全世代（世代交流）	年1回	200		収入合計	参加料	協賛金	その他※	
13	事業名：メディア発信事業 内容：武藏野の森総合スポーツ公園が主体となって実践する活動を注目率の高いメディアに紹介させるなどで、様々な活動が地域に限ることなく、東京都全体の活動に厚意を示すことを目的とした事業です。メディアイメージ：など。 対象：全世代	不定期	-		支出合計	講師費用	材料費	その他※	

## 2 障がい者へのスポーツ参加機会醸成、ダイバーシティ普及活動

### (1) スポーツ振興事業 ◆ 内容

(平成30年度)

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期		1 事業方針		収支計画	
		回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費
14	事業名：パラリンピアン交流懇親「パラリンピアンに学ぼう」 内容：日本全国パラリンピックボートセンターの協力のもと、パラリンピアンの方々を招待して体験、トレーニング、等の貴重なお話を聞く事業を実施します。ありせて、その競技を実際にアーティストで体験、指導して頂きます。	年 1回	150	講師費用 協賛金 その他※	収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※	材料費
15	事業名：パラアスリートヒート輸に決めて。 内容：身体障がい者水泳連盟、知的障がい者水泳連盟、日本ろう者水泳連盟、障がい者、健常児と一緒に参加させて、多様性理解と障がい者への気づかいの精神が学べます。想定招待選手なども想定。	年 2回	50	講師費用 協賛金 その他※	支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※	材料費
16	事業名：車いすバスケットボール体験会 内容：日本車椅子バスケットボール連盟の協力のもと、車いすバスケットボールの体験会を実施します。想定招待選手などを想定。	年 1回	50	講師費用 協賛金 その他※	支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※	材料費
17	事業名：障がい者スポーツ人口の拡大に向けた障がい者のスポーツ意識調査 内容：日本全国パラリンピックボートセンターが実施する「マジック！コロナツク」を利用して、障がい者を持つ方へ自身に合った元、ありせて障がい者スポーツを紹介し、実際に各種スポーツを体験できる機会を創出します。障がい者の方々にスポーツの楽しさを伝える。	年 1回	50	講師費用 協賛金 その他※	支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※	材料費
18	事業名：障がい者スポーツ大会「チレンシカフ」タイアップ 競技体験会 内容：日本全国パラリンピックボートセンターが実施する「森総合スポーツフル開催へ説教する」とともに、開催に合わせて地元の皆様に対する競技体験会を開催します。障がい者スポーツへの理解向上と障がい者への意識向上を図る機会を設立します。広報活動を同時に実施し、東京2020パラリンピック競技大会への関心向上を図る施設となります。	年 1回	1,000	講師費用 協賛金 その他※	支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※	材料費
19	事業名：パラリンピアン意識イベント 内容：(どのように障がい者を車椅子でサポートと向き合っているのか、その考え方まで)想いの方法を選手本人から聞こえたり、困難に立ち向かう時に前に向き努力出来る気持ちを育てる事業とします。想定内容は、4分講演、卓球体験60分などです。	不定期	200	講師費用 協賛金 その他※	支出合計 収入合計 参加料	講師費用 協賛金 その他※	材料費
20	事業名：ダイバーシティ推進事務局の運営 内容：パラリンピックおよび障がい者スポーツ団体との調整業務を行う事務局作業を実施します。	常設	-	講師費用 協賛金 その他※	支出合計 収入合計① ②	講師費用 協賛金 その他※	材料費
				総合計		支出し合計① 収入合計②	

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他」については、具体的な内容を事業名及び内容に記述すること。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。
- 「5 収支計画（1）及び（2）」の金額に一致すること。

## 提案課題3 [事業に関する業務] 1 施設の事業に関する業務

### (2) 地域貢献事業

**地元3市とのネットワークにより地域に賑わいを創出する事業や、地域課題を解決する事業をダイナミックに展開します。**

- Point**
- ①地元3市を基軸とした地域活性化の推進
  - ②ラグビー2019及び東京2020大会成功への貢献
  - ③地域課題の解決を図る各種事業の実施

#### 1 地元3市を基軸とした地域活性化の推進

##### 【実施方針】

###### ■地元3市との関係の強さを活かした、3市主催イベントへの協力・連携

- 平成28年から隣接陸上競技場で開催しているラグビーフェスティバル等と連動して一体的な事業運営を行うことにより、より大規模な地域の賑わい創出を図ります。

###### ■15年以上の実績と隣接スタジアムとの一体運営による安全性かつ効率性の追求

- 隣接スタジアムで毎年実施している「感謝デーイベント」の運営ノウハウと実績や、地元3市との密な協力体制により、大規模イベント実施の運営を安全、かつ、効率的に執り行います。

###### ■円滑な地域連携により地域に賑わいと潤いをもたらすと共に、多摩地域の広域的な発展に貢献

- 普段から地元自治会や地元団体と緊密な関係を保っているその経験とノウハウを活かし、スポーツに限らない様々な世代が交流できるきめ細かな事業を展開し、交流機会を提供することで地域に貢献します。

##### 【達成目標】 隣接スタジアムで実施されているイベントと連携した活動を展開し、

地域のスポーツへの興味を増幅

##### 【事業計画】

###### 「ラグビープラザ」…地元3市(府中市・調布市・三鷹市)主催のラグビー2019機運醸成イベント「ラグビーフェスティバル」との同時開催

平成28年から隣接陸上競技場で開催しているラグビーフェスティバルと同時開催で、ウィルチェアラグビーやタグラグビー、ストリートラグビーの体験会や府中市拠点のトップチームとの交流会、ルール解説講座等を実施。ラグビーを通じて地域の賑わい創出を図るとともに、ラグビー2019への機運醸成を図ります。



###### 「感謝デー拡大開催」…「隣接スタジアム感謝デー」と連携したイベント開催

毎年25,000人を集める隣接スタジアム感謝デーを、当施設や隣接陸上競技場も併せて活用することで40,000人規模のイベントとします。当施設では多摩障害者スポーツセンターと日本財団パラリンピックサポートセンターとの連携による障がい者スポーツのPR・体験、ラグビー2019のPRや応援方法の啓発、隣接スタジアム代表スポンサー各グループの協力による食からの健康・スポーツのコンテンツ等を開催します。(添付資料(別添)P8 参照)



#### 2 ラグビー2019及び東京2020成功への貢献

##### 【実施方針】

###### ■ラグビー2019、東京2020に向けた地元の機運醸成

- 2年連続で開催される世界最大級の国際大会に向けて、普段からの地元との関係性を活かし、ボランティアを養成し、大会に向けた機運を醸成します。

###### ■スポーツ(障がい者スポーツを含む)や国際交流活動への住民のリテラシー形成

- ダイバーシティ活動に関する住民の理解形成を図ります。
- 大学の協力による語学講座を定期的に実施するほか、ダイバーシティに対する理解形成を促進させる取組みを展開します。

##### 【達成目標】 ラグビー2019、東京2020に対する地域の盛り上がりが形成。 また、参加国や訪日観光客に対するおもてなし力が強化されている。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

### 提案課題3 [事業に関する業務] 1 施設の事業に関する業務

#### 【事業計画】

##### 「ラグビー2019/東京2020の地元ボランティア活動の推進」

地元住民の大会参加意識を向上させるボランティア活動を推進。参加者は大会後も、ベニュー周辺で継続した活動に成長させ、大会レガシーを形成

2002日韓W杯の横浜市のボランティア組織



##### 「障がい者スポーツに対する理解形成講座」

地元住民が障がい者スポーツの競技理解やダイバーシティ理解を深める講座を提供。

##### 「 大学による語学講座」

大会開催時の外国人選手/訪日観光客への対応を想定した「会話中心」の語学講座を開催。

大学との協力により講師を依頼すると共に、地域住民と学生との交流機会も提供。

## 3 地域課題の解決を図る各種事業の実施

#### 【実施方針】

##### ■周辺地域の主要課題である①安心して子育てできる環境づくり、②高齢者の健康増進、③災害時避難の準備等に対して、貢献しうる事業を実施

- 隣接スタジアム代表スポンサーの資産を活かした食育教育や、地元サッカークラブによる幼児教育あるいは健康増進トレーニング、隣接スタジアムとの一体運営による広域避難訓練等により、地域の抱える課題の解決に貢献しうる事業を実施します。

##### ■地元の声に常に耳をむけ、地域課題を発見。それに即した地域貢献事業を展開

- 地元自治体の3首長が代表団体の取締役である関係性を活かし、東京2020の前後や経年で変わりうる地元の課題についてリアルタイムに意見交換し、提供プログラムを修正することができます。

##### ■定期的なデータマネジメントでPDCAサイクルを活用し、常に新しい課題を発見し解決

- 事業実施時等住民との接点においてアンケートを実施。アンケート結果を常にモニタリングし、データに基づくPDCAサイクルを展開。毎年度、住民のニーズに最適な地域貢献事業を展開します。

#### 【達成目標】 施設内外の活動を通じて、地元の声に即した様々な地域課題を解決

#### 【事業計画】

課題	事業例	体制
①安心して子育てできる環境づくり	・食育教育「 」プログラムの提供 ※現在のプログラムを地域課題に即して応用して展開	・隣接スタジアム代表スポンサーと連携
	・近隣中学生や特別支援学校生徒の職場体験	・多摩地域の各自治体との連携
	・調布市・府中市・三鷹市歴史探訪スタンブラー	・地元3市との連携
	・小中学生のスポーツ力強化プロジェクト ※スポーツ実施率の向上だけでなく、オリンピアンを数多く生む	・多摩地域の各自治体や体育協会との連携
②高齢者の健康増進	・リフレッシュ体操スクール ※隣接スタジアムでは定員超過の多い人気講座です	・体育協会との連携
	・カルチャースクール「武蔵野の森 手作り教室」	・地元の様々な民間企業との連携
	・ボッチャ体験会 ※スポーツ振興事業と連携しながら行う	・サポートセンターと連携
③災害時避難の準備	・広域避難訓練 ※施設関係者のみならず、地域の危機意識を高める	・周辺施設や地元3市との連携
	・いざという時に役に立つ防災・減災講座	・地元の民間企業や地元3市との連携

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み  
 (2) 地域貢献事業

1/4

(2) 地域貢献事業

◆ 内 容

(平成30年度)

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期		1事業あたり		収支計画		
		回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
1	事業名：3市事業運動企画「ラグビーフラガ」 府中市・調布市・三鷹市が主催するラグビーワールドカップ盤上げイベント「ラグビーフェスティバル」と同時に開催する「ラグビーフラガ」事業を実施します。メインアリーナではワイルドチャーラグビー体験会!初心者集まれ!タグラグビー体験会!サブアリーナでは、みんなでやろう!ストリートラグビー体験会!多目的スペースでは「ラグビー2019W杯開催都市パネル展示」などを実施します。	不定期	3,000	3,000	収入合計	参加料	協賛金	その他※
2	事業名：「地元還元型3市運動大型事業【隣接スタジアム・武蔵野の森感謝祭】」 代表団体主催「隣接スタジアムスポーツフラガ」でも同時に拡大開催する事業を実施します。拡大により、①バラエティバスボール、②PR、競技体験、③ジムやホール・隣接陸上競技場での体験イベントによる活用事業とします。なお、メインアリーナでは車椅子バスケットボール体験会、フライングダッカーボール体験会を、サブアリーナでは、はみみての格闘技教室などを計画します。	年1回	10,000	10,000	収入合計	参加料	協賛金	その他※
3	事業名：ラグビーワールドカップ2019への機運醸成事業 ラグビー2019での隣接スタジアムの集客最大化に向けて、生民のラグビーへの楽しみ方増幅、隣接スタジアムにおける試合実施団との国際交流促進等様々な活動を実施。※具体的な活動内容については平成29年11月0日対戦カード決定後に企画。	不定期	-	-	収入合計	参加料	協賛金	その他※
4	事業名：ラグビーワールドカップ2019／2020オランピック・パラリンピック競技大会に向けたボランティアの推進 地域住民の皆さんの大会参加意識を向上させるボランティア活動推進講座を開催。多くのボランティア参加を推進していきます。ボランティアを継続的に実施できるしくみを検討し大会レガシーを形成できるようづくりを行います。	不定期	-	-	収入合計	参加料	協賛金	その他※
5	事業名：パラリンピックスポーツ体験ツアード「あすナレ!運動会」 日本財團パラリンピックスポーツセンターの協力を得て、パラリンピック競技を実際に「体験・体感して、2020年大会を地元地域から盛り上げる」参加型のスポーツ体験イベントを実施します。実施に当たっては、地元3市との強固なチャンネルを活かし、地域住民（とりわけ高齢者や子供、移動距離に制約のある障がい者）に多く参加頂ける企画とします。	年4回	-	-	収入合計	参加料	協賛金	その他※
6	事業名：「あすナレ!スクール」 日本財團パラリンピックスポーツセンターの協力を得て、障がい者スポーツアスリートを地域の学校へ派遣して障がい者スポーツ体験会を授業の一環として実施します。障がい者スポーツの普及とダイバーシティに対する理解形成を促進します。	年2回	-	-	収入合計	参加料	協賛金	その他※

### 提案課題3【事業に関する業務】2 施設の事業を支える仕組み

#### (2) 地域貢献事業

2/4

(平成30年度)

単位：千円

#### (2) 地域貢献事業 ◆ 内容

NO	事業名及び内容	回数	定員	1事業あたり		収支計画	
				支出合計	講師費用	材料費	その他※
7	事業名：あすチャレ！アカデミニによるイベント主催者向け講座 日本財団パラソックサポートセンターが保有するコントラクツを利用。イベント主催者に、障がい者への対応方法、注意すること等、ダイバーシティ理解の普及を目指す。施設内の会議室での実施を想定します。	年 1回	100		収入合計 参加料	協賛金	その他※
8	事業名：あすチャレ！アカデミニによるボランティア講座 日本財団パラソックサポートセンターが保有するコントラクツを利用。ボランティアを目指す人達に、障がい者への付き合い方、ダイバーシティ理解の普及を目指す。施設内の会議室での実施を想定します。	年 1回	100		支出合計 講師費用	材料費	その他※
9	事業名：多摩地域におけるダイバーシティ理解促進講座 日本財団パラソックサポートセンターが保有するコントラクツを利用し、バラアスリー等との対談で多摩地域住民に向けたダイバーシティ理解の促進を図ります。施設内の会議室での実施を想定します。	年 1回	100		支出合計 講師費用	材料費	その他※
10	事業名：大学と連携した2.0.20年にむけた地域の語学力強化 等の近隣大学と協力して、外国语スタッフや訪問者への対応のための会話中心の語学教室を開催します。 夏季・ 冬季 各10回	20			支出合計 講師費用	材料費	その他※
11	事業名：「地域の自治体PR（含む地産地消の販売）」 多目的スペースを、地域のPRスペースとして開放します。地域内外に対する地元の良さ再発見、多摩地域への愛着の醸成を目指したPR事業を展開。同時に地域の食品等を中心とした物産販売も展開します。	不定期	-		収入合計 参加料	協賛金	その他※

### 提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み

#### (2) 地域貢献事業

3/4

(平成30年度)

単位：千円

#### (2) 地域貢献事業 ◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期		1事業あたり		収支計画		
		回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
12	事業名：近隣中学生や特別支援学校生徒の職場体験 地域の学校教育にある社会体験教育の一環として、主に施設管理、清掃業務などの職場体験を実施。次代を担う子供たちに体験を通じた教育への協力をていきます。	不定期	-		収入合計	参加料	協賛金	その他※
13	事業名：食育教育「プログラムの提供」 隣接スクール代表協賛企業と全面協力し、親子を対象にした「...」講座を実施します。レシピ提供や栄養学について、食の専門家や研究者、スポーツ関係者が参加者にクチヤーします。	不定期	-		支出合計	講師費用	材料費	その他※
14	事業名：調布市・府中市・三鷹市民史探訪スタンプラリー 調布市・府中市・三鷹市の3市の観光マップと協力し、各市の名所スタンプラーを開催します。押した台紙を当施設に持ってくると全員に地元名品の参加賞を提供します。	年 1回	-		収入合計	参加料	協賛金	その他※
15	事業名：多摩地域の小中学生のスポーツ力強化プロジェクト 多摩地域を中心とした自治体のスポーツ支援活動の強化、施設提供やトップアスリートの派遣などの施策を通じて、多摩地域のスポーツ拠点として、地域のスポーツ力アップに貢献します。	不定期	-		支出合計	講師費用	材料費	その他※
					収入合計	参加料	協賛金	その他※

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み  
 (2) 地域貢献事業

4/4

NO	事業名及び内容	時期		1事業あたり		収支計画	
		回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費
16	事業名：地元自治体の体育協会が展開する「リフレッシュ体操スクール」 シニアを対象として心身リラッシ、運動不足対策、骨ご防衛、健康増進を目的としたなどなたでも参加できる体操スクール事業を実施します。	通年 48回 程度	400		収入合計	参加料	協賛金 その他※
17	事業名：ボーチャ体験会 内容：パラリンピック正式種目であり誰でも楽しめる「アフリースポーツ」「ボッチャ」を楽しフレーベル体験して頂きます。あわせて試合形式での実際の競技体験も提供します。 対象：シニア世代	年 1回	40		支出合計	講師費用	材料費 その他※
18	事業名：カルチャースクール「武道町野の森 手作り教室」 平日の屋間に主婦層、シニア層に向けたカルチャースクール事業を実施します。スポーツに関心のない人を施設に呼び込み、施設を紹介。今後の来館のきっかけをつくる施策です。人気講座として「フジーアレンジメント講座」「レザーカラフト講座」「季節のお部屋飾り製作講座」などを検討します。	年 4回	50		収入合計	参加料	協賛金 その他※
19	事業名：広域避難訓練 周辺自治体や関係団体と一緒に実施して広域避難訓練を実施。テロや自然災害等の有事の時にそなえて、施設関係者や住民の危機意識を啓発する。	不定期	-		支出合計	講師費用	材料費 その他※
20	事業名：いざという時に役に立つ防災・減災講座 周辺の民間企業や自治体と連携し、防災と減災に関する知識を地域都民の皆さんに啓発する事業を行います。	不定期	-		収入合計	参加料	協賛金 その他※
						総合計	
						支出合計①	
						収入合計②	

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。
- 「5 収支計画（1）及び（2）」の金額と一致すること。

## 提案課題3 [事業に関する業務] 1 施設の事業に関する業務

### (3) 自主事業

**施設特性を活かし、各利用者層のニーズに応じた年間約300種類の魅力的なプログラムを開発。利用を促進することで施設の有効活用を図ります。**



- ①各施設の施設稼働率を向上させ、多摩のスポーツ振興を推進
- ②当グループ各社の実績や周辺地域とのネットワークに基づき、魅力的なプログラムを創出

#### 1 自主事業の実施方針と体制

##### ■各施設の施設稼働率の向上

- 施設利用が少ないことが見込まれる平日昼間及び夜間を活用し、各施設の特性に応じた事業を企画・実施することで施設の有効活用を図ります。

##### ■多摩のスポーツ振興を推進

- 平日昼間及び夜間それぞれに適したプログラムを揃えるためにも、商圏分析及び自治体ヒヤリングに基づいた地域住民のライフステージ・ニーズに応えるきめ細かなプログラムを提供します。
- アスリートによる付加価値の高いプログラムや最先端の指導内容、武道用の可動畳を活用した初心者向けの講習等を導入することで満足度向上を実現します。
- 近隣の教育機関や地域のスポーツ団体等の地域ネットワークを活用し、プログラムへの参加を促進します。

##### ■構成企業Dの指定管理業者としての豊富な実績を活用

- 100か所以上の指定管理業者としての実績に基づいたノウハウを活かし、利用者や時間帯別のわかりやすい料金設定と、年間を通じた参加しやすいプログラムを提供します。
- プログラムごとに参加者の初期状態と成長プロセスをデータ化し「見える化」することで、プログラムを改善・改良していきます。

##### ■スポーツの運営実績及び付加価値創出に長けた民間企業のノウハウを活用

- 隣接スタジアムに関わる民間企業のノウハウにより、プログラム参加者の満足度と収益性の双方を最大化します。

##### ■安全管理の徹底

- 臨時雇用者にも防犯ノウハウを共有し、また隣接スタジアムとの一体管理で臨時事態にも迅速に対応することにより、事業の安全管理を徹底します。

#### 2 自主事業推進体制の強み

##### ■構成企業Dの他指定管理施設の実績、利用者増加のノウハウ

- 構成企業Dの民間施設で年間約6,000ものプログラムを行っているノウハウを、25行政・100施設以上の各指定管理施設に展開。各施設とも概ね定員以上の申込みがあり、都心ではキャンセル待ちもあるほどの人気。調布市内で展開するスポーツ施設でも同様のプログラムを実施しており、当施設でも同じプログラムをより低額で実施することにより、スポーツに馴染みのない地域住民の参加を促します。

#### 3 事業計画

**【達成目標】 自主事業を実施することによって、施設収益力を向上させる**

**【実施内容案】**

達成目標	事業例
・心身の健康	・個人利用を促進させる「骨盤ストレッチ」「ボディコンディショニング」「太極拳」等 ・ダンス教室、体操教室、バレエ教室等、多様なスタジオプログラム ・子供向け、妊婦向け、働き世代向け等、様々な世代及びレベル別の水泳プログラム
・競技力の向上	・オリンピックを目指す人に向けた 体操教室 ( 選手など 関連の現役選手も招待)
・交流人口の増加	・武道教室（気功、マーシャルアーツ等） ・インボディ測定（誕生日月にはトレーニング利用者の方々に無料で測定）

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み

(3) 自主事業

1/8

(平成30年度)

単位：千円

(3) 自主事業  
◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期 回数	1 事業当たり			収支計画				
			定員	参加料/人	入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
1	事業名：「 <u>体操教室</u> 」 内容：日本体操界の重鎮 選手（ など）による特別体操教室を実施します。	開運の現役 と、	100名			収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	事業名： <u>スタジオプログラム</u> 内容：様々なスタジオプログラムを提供。詳細は下記に記述 対象：各プログラム毎、ライフステージ別に網羅	(以下参照)				支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
※	事業名：おためヨガ（50分）スタジオプログラムの実施 内容：コンディショニング系	通年 週1	25名			収入合計	参加料	入場料	その他※	
※	事業名：ヨガ（60分）スタジオプログラムの実施 内容：コンディショニング系	通年 週4	25名							
※	事業名：らくらく体操（30分/60分）スタジオプログラムの実施 内容：コンディショニング系 自宅でもできる簡単な体操を行うクラス	通年 週2	25名							
※	事業名：健康体操（60分）スタジオプログラムの実施 内容：コンディショニング系 簡単な有酸素運動、全身の筋力トレーニングで健康的な身体つくりをするクラス	通年 週1	25名							
※	事業名：骨盤ストレッチ（50分）スタジオプログラムの実施 内容：コンディショニング系 骨盤と骨盤まわりを正しい位置に調整・リセットするクラス	通年 週1	25名							

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み  
 (3) 自主事業

2/8

(平成30年度)

単位：千円

(3) 自主事業  
 ◆ 内 容

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画
			定員	参加料/人 観客数 入場料	
※ 事業名：ボディコンディショニング（50分）スタジオプログラムの実施 内容：コンディショニング系 身体全体を正しい位置に調整していくクラス		通年 週2	25名		
※ 事業名：太極拳（60分）スタジオプログラムの実施 内容：コンディショニング系 中国の武術をゆっくりとした無理のない動きで健康維持を図るクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：氣功（50分）スタジオプログラムの実施 内容：コンディショニング系 特有の動作、呼吸法を用いて、呼吸や気の流れを整えて心をコントロールするクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：身体引き締め（60分）スタジオプログラムの実施 内容：コンディショニング系 軽い負荷をかけて身体を引き締め、ストレッチで心身をリフレッシュさせるクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：レップリーボック（45分）スタジオプログラムの実施 内容：筋力トレーニング系 バーべル等の道具や自重で音樂に合わせて筋力トレーニングをするクラス		通年 週3	25名		
※ 事業名：ピラティス（50分）スタジオプログラムの実施 内容：筋力トレーニング系 身体の芯から整えて、美しいボディラインを作り上げていくクラス		通年 週2	25名		
※ 事業名：ハレton（50分）スタジオプログラムの実施 内容：筋力トレーニング系 フィットネス・ハエ・ヨガの動きをバランスよく組み合せた課足で行うハイエクササイズクラス		通年 週2	20名		

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み  
 (3) 自主事業

3/8

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画 入場料
			定員 観客数	参加料/人	
※ 事業名：青竹ビクス（45分）スタジオプログラムの実施 内容：有酸素系 青竹を使い、音楽に合わせて足裏を刺激しながら身体を動かすクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：ビギナー（45分）スタジオプログラムの実施 内容：有酸素系 エアロビクスダンスエクササイズに慣れるためのクラス		通年 週3	20名		
※ 事業名：シェイプ1（50分）スタジオプログラムの実施 内容：有酸素系 低衝撃なエクササイズで効率よく脂肪を燃焼していくクラス		通年 週2	25名		
※ 事業名：ファンエアロ（60分）スタジオプログラムの実施 内容：有酸素系 エアロビクスも含め、いろいろなエクササイズを楽しみたい方のクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：おためしステップ（30分）スタジオプログラムの実施 内容：有酸素系 ステップ台を使い、音楽に合わせて基本的な動作を習得していくクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：ステップ（45分）スタジオプログラムの実施 内容：有酸素系 ステップ台を使い、ゆっくりとした音楽に合わせて簡単な動きをするクラス		通年 週1	20名		

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み  
 (3) 自主事業

4/8

(3) 自主事業  
 ◆ 内容

(平成30年度)

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画
			定員	参加料/人 観客数 入場料	
※ 事業名：ジャズ（60分）スタジオプログラムの実施 内容：ダンス系 リズムに合わせて身体を動かし、ダンスの振り付けを楽ししながら習得していくクラス		通年 週3	25名		
※ 事業名：ZUMBA（50分）スタジオプログラムの実施 内容：ダンス系 元気な音楽伴随着ダンスを融合させて、音楽も踊りも楽しむクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：ヒップホップ（60分）スタジオプログラムの実施 内容：ダンス系 リズムの取方やステップバリエーションを楽しむながらダンスを習得していくクラス		通年 週1	25名		
※ 事業名：ラテン（60分）スタジオプログラムの実施 内容：ダンス系 テンションステップの色々な動きを組み合わせて楽しむクラス		通年 週1	25名		
※ 事業名：リーボックマーシャルアーツ（50分）スタジオプログラムの実施 内容：格闘技系 西洋ボクシングと空手などの要素を入れつつ、タヌクスの動作を融合させた、シェイプアップクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：キッズダンス（45分）スタジオプログラムの実施 内容：キッズ系 音楽に合わせて楽しく身体を動かすクラス		通年 週1	25名		
※ 事業名：J'ダンス（60分）スタジオプログラムの実施 内容：キッズ系 J-POP等に合わせて簡単な振り付けで踊るクラス		通年 週1	25名		

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み  
 (3) 自主事業

5/8

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画
			定員	参加料/人 観客数 入場料	
※ 事業名：♪ダンスS（60分）スタジオプログラムの実施 内容：キッズ系 対象：小学校高学年 色々なジャンルのダンスを踊るクラス		通年 週1	25名		
※ 事業名：キッズバレエ（60分）スタジオプログラムの実施 内容：キッズ系 対象：4歳～ バレエの基礎を練習するクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：子どもバレエ①（60分）スタジオプログラムの実施 内容：キッズ系 対象：小学校低学年 バレエの基礎～簡単な動きを習得するクラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：子どもバレエ②（60分）スタジオプログラムの実施 内容：キッズ系 対象：小学校高学年 バレエの応用クラス		通年 週1	20名		
※ 事業名：キッズ体操教室①（75分）スタジオプログラムの実施 内容：キッズ系 対象：4歳～小学生未満 身体を楽しく動かし、体力をつけながら		通年 週1	25名		
※ 事業名：キッズ体操教室②（75分）スタジオプログラムの実施 内容：キッズ系 対象：小学生 前転や跳び箱等の習得をするクラス		通年 週1	25名		
※ 事業名：キッズフラ（60分）スタジオプログラムの実施 内容：キッズ系 対象：4歳～ フラダンスの基礎を学び楽しく踊るクラス		通年 週1	20名		

(3) 自主事業  
 ◆ 内 容

(平成30年度)

単位：千円

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み  
 (3) 自主事業

6/8

(3) 自主事業

◆ 内容

(平成30年度)

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期	事業当たり		収支計画	
			定員	参加料/人	観客数	入場料
※	<b>事業名：キッズチア(60分)スタジオプログラムの実施</b> 内容：キッズ系 対象：未就学児 チアダンスの基礎、柔軟性を養うクラス	通年 週1	25名			
※	<b>事業名：Jrチア(60分)スタジオプログラムの実施</b> 内容：キッズ系 対象：小学生 高难度な技にも挑戦していくクラス	通年 週1	25名			
3	<b>事業名：インボディ測定</b> 内容：トレーニングルームに体組成分析装置を設置します。体内脂肪や筋量などを参考にトレーナントに適した運動プログラムの提供に役立てることができます。誕生日月にはトレーニング利用者の方々に無料で測定いたします。	通年	686名	講師費用	材料費	施設利用料金 その他※
4	<b>事業名：プールプログラム（合計）</b> (以下参照) 内容：様々なプールプログラムを提供。詳細は下記に記述 対象：各プログラム毎、ライフガード別に網羅			支入合計 講師費用	材料費	施設利用料金 その他※
※	<b>事業名：成人向けビギナー(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：4泳法の中から個々の希望する泳ぎを基礎から集中的に行なうレッスンです。25Mを無理なく泳ぐことが出来るコースです。	通年 週5	30名			
※	<b>事業名：成人向けフォーミング(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：4泳法をより速く・より楽に泳くことができるコースです。ビギナーコースよりワンランク上達できるコースです。	通年 週2	30名			
※	<b>事業名：成人向けスピードアップ(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：泳ぐスピードの強弱をつけ、フォーミングコースよりワンランク上の練習を行なうコースです。	通年 週1	30名			

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み  
 (3) 自主事業

7/8

NO	事業名及び内容	時期	事業当たり		収支計画 単位：千円
			定員	参加料/人 観客数 入場料	
※	<b>事業名：成人向けアクビクス(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：ウォーミング・ジャグ・スクワット・腕の開閉などの運動で、水の抵抗や水圧により少しの運動でもエネルギー消費量が大きくなります。	通年 週1	30名		
※	<b>事業名：子供向けQコース(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：親子で入水していただき、子供により安心感を与えるながら水慣れを行なうコース。 6ヶ月から2歳対象。	通年 週2	25名		
※	<b>事業名：子供向けJコース(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：主に水慣れを行なうコース。顔を付けたり、もぐったり出来るようになります。 2歳から4歳対象。	通年 週4	20名		
※	<b>事業名：子供向けAコース(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：水慣れから「外足、背泳ぎ、クロール、バタフライと4種泳法を泳げるようになります。 4歳から6歳対象。	通年 週5	30名		
※	<b>事業名：子供向けBコース(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：水慣れから「外足、背泳ぎ、クロール、平泳ぎ、ハタフライと4種泳法を泳げるようになります。 5歳から8歳対象。	通年 週5	30名		
※	<b>事業名：子供向けCコース(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：水慣れから「外足、背泳ぎ、クロール、平泳ぎ、ハタフライと4種泳法を泳げるようになります。 小学生以上対象。	通年 週4	30名		
※	<b>事業名：子供向けDコース(60分)プールプログラムの実施</b> 内容：4泳法を上手に選べるようになります。2ヶ月に1回タイム測定をし、タイム基準 (4:1)達成しています。 4泳法の出来る子供対象。	通年 週4	40名		

### 提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み

#### (3) 自主事業

8/8

(平成30年度)  
単位：千円

NO	事業名及び内容	時期	事業当たり		収支計画		総合計	総入額①	収入総合計③
			定員	参加料/人	顧客数	入場料			
※	事業名：スポーツで子育て支援施策「妊婦さん向けプールリフレッシュ」 内容：妊婦さんの健康維持を図るためのプログラムを実施します。	通年 週4	20名				支出総合計②(①を含む。)	差引④ (③-②)	

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「5 収支計画」※（参考）利用者サービス事業及び自主事業の収支の金額と一致すること。
- 総入額①は、委託料算出の際に繰り入れる額を記載し、「5 収支計画（2）その他⑦」と金額が一致すること。

#### (3) 内容

##### ◆ 内容

## (4) 体育の日記念事業

隣接スタジアムで毎年開催されている「調布市民スポーツまつり」に連動し、当施設や周辺で、4万人規模の体育の日記念事業を開催します。



- ①地元体育協会や関係競技団体等と連動し、効果的かつ効率的な運営を展開
- ②隣接スタジアム運営で培ったノウハウと実績による安全でスムーズな運営とボランティアの活用
- ③地域ネットワークと推進グループ資産を活かした、広域への広報

## 1 体育の日記念事業の実施方針

## ■地元自治体の体育協会等と連携し、体育の日記念事業の主旨をエリア一帯で大規模に体现

- 毎年、隣接スタジアムで実施している「調布市民スポーツまつり」の主催である地元自治体の体育協会と連携し、合同で体育の日記念事業を実施。当施設とともに、隣接陸上競技場等も活用し、エリア一帯として一体感のある4万人規模のイベントとします。

## ■隣接スタジアム運営で培ったプログラム運営ノウハウや各種団体・アスリートとの協力関係を活用

- これまでのノウハウを活用し、東京2020パラリンピック競技大会で行われる競技の体験会や、地域のライフステージ別に用意した多様なプログラムに親しむことができるイベントを企画します。各種のプログラムを通じ、障がいのある人もない人もともにスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」の実現に貢献します。
- 地元プロサッカーチームやシルバー人材センター等の地域ボランティアを案内・誘導スタッフとして活用するほか、近隣の大学に通訳ボランティアを要請し、外国人の来場もサポートする等、円滑かつ安全な運営を約束します。

## ■個人利用施設の無料開放により、施設を利用しない人の来場を促進

- プールやトレーニングルーム等個人利用施設を無料開放し、普段スポーツを実施しない人の施設来場を促進。また、プール/スタジオプログラムも無料提供し、住民にスポーツや身体を動かすことの楽しみ方を周知します。

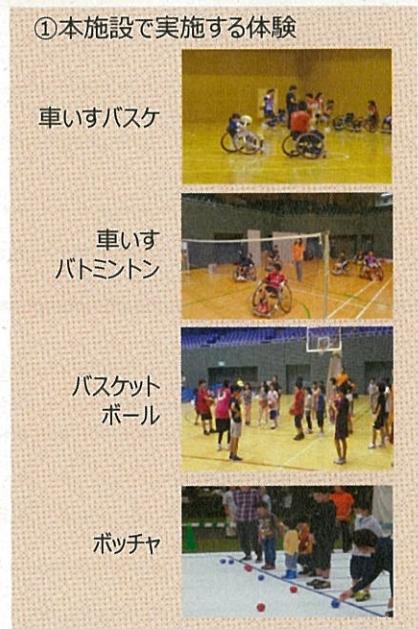
## ■地域ネットワークと推進グループ資産を活かした、広域への広報

- 隣接スタジアムや東京都、周辺自治体の広報と連携し、広く東京都民への周知を図ります。
- 隣接スタジアム、地元鉄道グループの各種媒体を活用し、周辺住民、沿線住民に対して特に手厚く周知を図ります。

## 2 事業計画

## 【達成目標】4万人の来訪者を確保し、体育の日の周辺住民のスポーツ実施率を向上させる

## 【実施内容案】



## ②隣接スタジアムで実施する体験



## ③隣接陸上競技場で実施する教室

④調布市民スポーツまつり事業  
※既存実施事業

※体育の日記念事業予算では  
①のみを対象として実施する。その他については調布市事業として実施予定。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## (5) 利用者に対するサービス提供事業

**利用者に対するサービス提供についても、障がい者スポーツを含むスポーツへの参加促進や健康づくりの推進につながるようなコンセプトで展開します。**



- ①隣接スタジアムとの一体運営による利用者の利便性を考慮した駐車場の運営
- ②スポーツ促進や健康づくりに寄与するカフェ・売店の設置・運営
- ③身体障がい者福祉法並びに母子及び寡婦福祉法の規定の趣旨を踏まえた対応の実施

### 1 サービス提供事業の運営方針

#### ■施設利用者や地域住民の多様なニーズに応える事業を実施

- 施設利用者の利便性を高めるとともに、地域住民が気軽に利用できる場所として地域にも貢献します。

#### ■障がい者団体に配慮したサービス提供の実施

- 障がい者のスポーツ促進に資するサービス提供とともに、地域の福祉に貢献する取組みを実施します。

#### ■隣接スタジアムとの一体運営によるメリットを活かした駐車場運営を実施

- 当施設の駐車場台数は限られていることから、一体運営によりこの課題を解決します。

### 2 提供するサービスの内容、使用する場所等

**【達成目標】 施設利用者の満足度を高め、再来訪率を向上させる**

**【実施内容案】**

#### 【駐車場運営】 隣接スタジアムとの一体運営による効率化、障がい者への配慮

- 当施設において大型イベント時等に駐車場容量が不足した場合には隣接スタジアム駐車場の利用を主催者に提案する等、一体として効果的な運用を実施します。
- 障がい者利用時の施設スタッフによる誘導、障がい者の来場までの導線計画の整備、障がい者割引等も実施します。

#### 【カフェ（カフェスペース）】 施設利用者及び地域住民の憩い・交流の場として気軽な利用を促進

- 当施設及び隣接スタジアム利用者のためのアフタースポーツの憩いの場、利用者同士の交流の場として、また、地域住民も気軽に利用できる場としてカフェを運営します。
- 主催者や施設利用者からの要望に応じて、弁当や飲料等のケータリングサービスも行います。オリジナルメニューの開発も検討します。



#### 【売店運営（メインアリーナエントランス）】 施設利用者の手軽な利用に対応

- 売店でも、主食・軽食・飲料・スイーツ等バランス良くラインナップを取り揃えて販売します。

#### 【自動販売機設置】 一部機種は調布市社会福祉協議会の福祉の自販機を設置

- 自動販売機を設置し、スポーツ時の水分補給や観戦・観覧者等施設利用者への飲料提供を行います。また、利用者ニーズの高いアイスの自動販売機も導入します。障がい者利用も想定し、ユニバーサルデザイン機種を導入します。
- 一部機種は、身体障害者福祉法・母子及び寡婦福祉法の規定の趣旨を踏まえ、調布市社会福祉協議会の福祉の自販機を設置し、地域の福祉に貢献します。



#### 【スポーツ利用者へのサービス提供】 利用者の利便性に配慮し、継続的なスポーツ参加を促進

- スポーツブティック  
スポーツウェア等のアイテムの紹介や販売を行います。
- スポーツ用品のレンタル  
利用者ニーズの高いタオル類やシューズ等のスポーツ用品を適正価格でレンタルし、仕事帰り等に手軽にスポーツを行ってもらうとともに、「まず試してみよう、馴れてみよう」を後押しします。
- プライベートロッカーの設置  
手軽に大きな荷物を持たずに、継続的に通ってもらえるようプライベートロッカーを月額料金で提供します。



### 提案課題3【事業に関する業務】2 施設の事業を支える仕組み

#### (5) 利用者に対するサービス提供事業

##### (5) 利用者に対するサービス提供事業

###### ◆ 内 容

(平成30年度)

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)		指定管理者の収支計画 支出	収入
		支出	収入		
1	<b>事業名：駐車場の運営事業</b>  内容：自動車にて来場する都民、関係者などに向けた貸し駐車場の事業を実施します。 時間：平日・土 8:30～23:00、日祝 8:30～22:00 料金：1円 障がい者手帳提示により1時間無料、隣接アパート商業施設利用者割引サービス付与を行います。 (大会・イベント時) 貸切により主催者の利用サービスを向上させる。駐車場容量が不足する場合、隣接アパート駐車場の効果的な運用を主催者に提案します。			支出	収入
2	<b>事業名：カフェの運営事業</b>  内容：本施設及び隣接アパート利用者をターゲットに、アータンスバーの憩いの場、利用者同士の交流の場として、まち施設利用者以外の地域住民も気軽に利用できる場としての事業を運営する。主催者や施設利用者がどの要望に応じ、弁当や飲料、ケータリングサービスを行うことで、料金：利用者サービスを提供します。 料金：利用者ニーズに応じて設定 営業時間：利用者ニーズに応じて設定			支出	収入
3	<b>事業名：売店の運営事業</b>  内容：施設利用者や地域住民の利便性向上のため、主食・軽食・飲料・スイーツ等の販売良好な商品を取り揃えた飲食サービスの店舗運営事業を行なっています。 料金： 営業時間：イベント・大会開催時間に合わせて適宜			支出	収入
4	<b>事業名：自動販売機の設置事業</b>  内容：入館者への水分補給や軽食・観覧者、関係者など施設利用者への飲食サービスを図るために飲料、アイスクリーム等の自動販売機設置事業を行ないます。機種に関してはユニバーサルデザイン機器等検討し、商品については季節、ニーズを考慮した商品構成とします。			支出	収入

提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み  
 (5) 利用者に対するサービス提供事業

(5) 利用者に対するサービス提供事業

◆ 内 容

(平成30年度)

単位：千円

NO	事業名 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)		指定管理者の収支計画
		支出	収入	
5	<b>事業名：スポーツティックの運営事業</b> 内容：スポーツウェア等アイテムの紹介と販売事業を実施します。 料金：利用者ニーズの高いアイテムを適正価格で販売 提供方法：個人受付フロア/オンライン受付 販売品：（一例）スポーツウェア、靴下、シューズ、水泳キャップ、ゴーグル、タオルなど 運営時間：営業時間内 施設スタッフにて行います			
6	<b>事業名：プライベートロッカーの設置事業</b> マイロッカーで荷物を少なく通えるように、プライベートロッカーを設置します。 料金： 提供方法：個人受付フロア/プライベートロッカーを設置 台数：105口（申請状況により増設も検討） 運営時間：営業時間内 総合窓口にて運用します。			
7	<b>事業名：スポーツ用品のレンタル事業</b> 内容：施設を利用してないかが用品を持つ方を考慮し、用品を有料にて貸し出す事業を行います。 料金：利用者ニーズの高いタオル類、シューズ等のスポーツ用品を適正価格でレンタル実施。 提供方法：個人受付フロアにてレンタル受付 レンタル品：（一例）バスタオル、スポーツタオル、競技シューズなど 運営時間：営業時間内 個人利用フロントにて随時受付			
		総入額①	収入合計③	
		支出合計② (①を含む。)	差引④ (③ - ②)	

- 利用者サービス事業の具体的な提案を記述してください。
- 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述してください。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに記述してください。
- 支出合計②、収入合計③及び差引④は、「5 収支計画」※（参考）利用者サービス事業及び自主事業の収支の金額と一致すること。
- 総入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「5 収支計画（2）その他⑦」と金額が一致すること。

## 提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み

### (1) 広報

**隣接スタジアムと連携し、効率的かつ相乗効果の高い広報の仕組みを構築するとともに、東京2020会場としての当施設の認知・関心の拡大に努めます。**



- ①隣接スタジアムの広報媒体との全面タイアップによる広報接触者数の拡大
- ②ダイバーシティプロジェクト(仮)推進によって障がい者スポーツへの認知・関心を高める広報
- ③隣接スタジアム・地元鉄道グループの全面協力による資産を活用した広報

#### 1 施設に関する情報発信

##### ■地域ネットワークを活用した広報

- 毎年度「武蔵野の森総合スポーツプラザ要覧」を発行するほか、隣接スタジアムが作成しているイベント情報掲載チラシ（3か月に1度イベントスケジュールを掲載）のページ数を増やして当施設の情報をあわせて掲載し、既存の地域の関係各所の配布ネットワークを活用して広報するほか、隣接スタジアムが行っている地元自治体の広報誌での広報も共同で実施します。
- 多摩障害者スポーツセンターや近隣の福祉施設等にも配布し、障がい者の利用を促進します。

##### ■地元鉄道グループの全面協力等により、隣接スタジアムの広報スペース・既存媒体を活用

- 隣接スタジアム専用の広報ボード（調布駅、稲城駅、明大前駅、笛塚駅）を活用するほか、地元鉄道グループの全面協力を得て交通広告や広報媒体を活用した広報活動を行います。



隣接スタジアム専用広報ボード  
■サイズ：B1  
■掲出駅：調布、稲城、明大前、笛塚駅



飛田給駅のラックに設置  
その他 地域関係各所等に配布



地元鉄道グループ広報誌



車両・駅メディア

##### ■独自ホームページでのわかりやすい情報提供、検索エンジンへの最適化によるサイト来訪者拡大

- 本施設独自のホームページを開設し、隣接スタジアムのホームページと相互にリンクを張る等利用者にわかりやすい情報提供に努めます。また、検索エンジンへの最適化によりサイト来訪者を増加させ、施設認知の向上を図ります。

##### ■都庁広報への協力

- 都が行う各種広報活動について、原稿作成やチラシ送付等により協力します。

##### ■館内における情報提供

- 当施設のイベントや教室等の情報を掲載したチラシの配布や、館内のデジタルサイネージを活用した情報提供等を行います。外国人向けには施設の利用方法等を記載した英文パンフレットの配布や、視覚障がい者にも音声や受付スクリプト等によりきめ細かく対応します。
- メディアや関係者等の施設視察に対しても、隣接スタジアムでの実績を活かして的確に対応します。

#### 2 ダイバーシティプロジェクト(仮)による障がい者スポーツへの認知・関心の向上

- ダイバーシティプロジェクト(仮)推進による東京2020大会の機運醸成を図り、障がい者スポーツを盛り上げていくとともに、障がい者アスリートの認知・拡大を図ります。
- 英文リーフレットを作成し、海外メディアへの情報提供ツールとして活用するとともに、外国人の利用も促進します。
- ダイバーシティプロジェクト(仮)のアイコンとなるわかりやすく親しみやすい情報発信キャラクターを設定します。  
＊なお、情報発信キャラクターの選定においては、既存キャラクターの活用や、地域住民による公募等の方法を検討します。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

### 提案課題3 [事業に関する業務] 2 施設の事業を支える仕組み

#### (2) 業務の品質管理

**利用者満足度調査及び地域住民との意見交換による利用者等のニーズや要望の把握とともに、隣接スタジアムとも情報を共有し、適切に業務の品質管理を行います。**



- ①障がい者のニーズや要望の把握にも留意した調査の実施
- ②隣接スタジアムと一緒に地域住民との意見交換を通じてニーズや要望を収集
- ③隣接スタジアムとも情報共有を図り、一体として改善・向上を図る取組みを実施

#### 1 利用者等のニーズや要望を把握するための方法

##### ■ 短中期課題を解決するための利用者の利用状況や意向の把握

- アンケートBOX設置により日々のお客様の利用状況や意向を把握します。
- 当施設の利用者を対象としたアンケート調査の年1回実施。施設や事業の利用状況や管理運営及びサービスに対する満足度や要望を利用者視点から測定・分析。なお、初年度の利用者満足度80%を目指します。
- 利用者の60%以上の人々に、ダイバーシティプロジェクト(仮)に対しての理解が形成されることを目指します。

##### 〈調査実施概要〉

実施時期	毎年7月頃（予定）
調査対象	・個人使用施設利用者 ・専用使用施設利用者 ・事業参加者
調査方法	受付スタッフ等による配布・回収
調査場所	当施設内

##### 〈調査項目案〉

##### 設問項目

- ・利用者の属性（性別・年代・職業・居住地、障がいの有無）
- ・利用した施設（メインアーナ、サブアーナ、ブルー他）
- ・利用目的、利用頻度、利用時間帯
- ・認知媒体／広報に対する評価、教室／事業開催の認知
- ・興味のある教室、スポーツ分野
- ・障がい者スポーツに対する認知、参加意向（障がい者）
- ・施設管理に対する満足度（施設管理、スタッフ、サービス他）
- ・ダイバーシティプロジェクト(仮)に対する認知や関心度、意見等
- ・施設に対する要望等

##### ■ 地域住民との意見交換、地元自治体等を通じて寄せられるニーズや要望についても集約し反映

- 当グループでは、既に地元3市との懇談会や、地元住民との意見交換会（年2回）を行う仕組みを有しており、これを当施設への要望やニーズの収集にも活用していきます。また、日々ホームページやスタッフ等を通じて寄せられるニーズについても集約します。
- 多摩障害者スポーツセンターや近隣の福祉施設等に対してもヒヤリングを行い、障がい者のニーズや要望について把握し、障がい者の利用を促進するように業務改善に取り組みます。

#### 2 利用者等のニーズや要望を受けての対応について具体的な取組み

##### ■ 隣接スタジアムとともに情報を共有して業務改善に取り組む

- 利用者等のニーズや要望は、当施設のスタッフとともに隣接スタジアムとも共有し、当施設と隣接スタジアムエリアを統合した改善策を検討し、業務内容改善に努めます。
- 短中期課題の把握に向けてKPIを設定し、PDCAサイクルを活用しながら目標達成に向けて業務改善に取り組みます。

#### (3) 外部資源導入等による事業の充実

**外部資源導入により指定管理者の負担を減らしつつアクティベーション活動の充実を図ります。**



- ①スポーツ振興事業や地域貢献事業へ外部資源（資金・物品・人材）を導入することで、アクティベーション活動を充実
- ②ネーミングライツについては、隣接するスタジアムと一緒に販売を図るべき

##### ■ 体育の日記念事業、地域貢献事業の活性化に向けた外部資源（資金・物品・人材）の導入

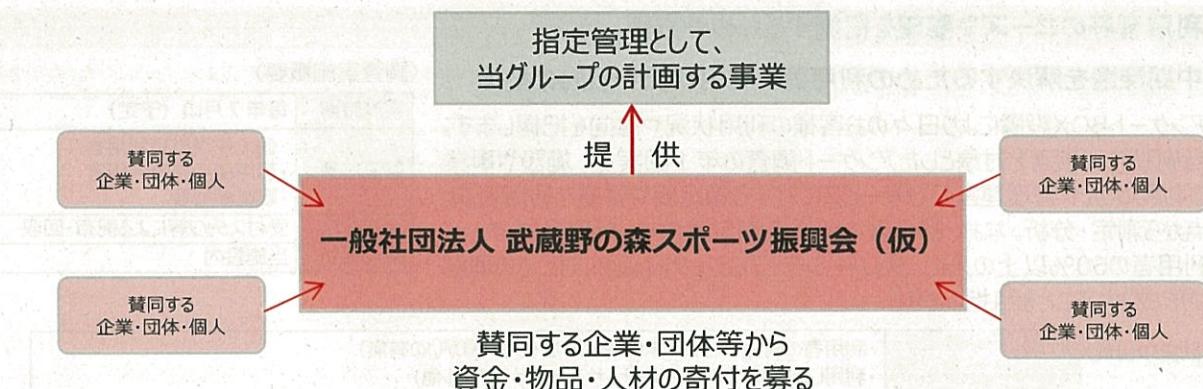
- 当グループが計画する体育の日記念事業、地域貢献事業について、隣接スタジアムに関係する企業や、地域の企業、各種団体等から、寄付金だけでなくイベント用品やボランティアスタッフ等の提供についても広く募り、事業内容の充実と参加者の拡大を図ります。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

### 提案課題3〔事業に関する業務〕 2 施設の事業を支える仕組み

- その受け皿として、地域の企業や団体が、資金・物品・人材を提供しやすくするため、体育の日記念事業及び地域貢献事業を実施するための一般社団法人を設立します。社団法人の設立にあたっては、地元自治体に参加を求めていきます。
- 事業の実施にあたっては、指定管理者として当グループが計上する予算に加え、設立した社団法人から提供される資金・物品・人材をあわせて、内容の充実と事業の拡大を図ります。

#### 武蔵野の森スポーツ振興会の考え方



#### ■ネーミングライツについて

- ネーミングライツは、ぜひ導入すべきだと考えます。都としては使用料を得られるだけでなく、購入してくれた企業が施設のPRもしてくれるという2重のメリットがあります。

- ① 使用料を得ることで、都の財政負担を減らせます。
- ② ネーミングライツを購入した企業も自社のPR活動で利用するため、施設のPR効果が拡大します。

- なお、導入にあたっては「隣接するスタジアムと一緒にして売り出す」ことを推奨いたします。

- ① 同一の場所で、隣接して、別々に異なるネーミングライツを持つ施設があると、「場所の独占性・地域的独占性」が失われるため、利用者からみると混乱が生じやすくなるとともに、場所とセットとなったPR効果も減少してしまいます。  
(例：「調布の○○○スタジアム」と「調布の△△△スポーツセンター」が同じ住所地にあると、どちらなのか分かりにくい。)
- ② もし、隣接するスタジアムと異なる企業がネーミングライツを獲得した場合は、上記①の混乱のみならず、経済的価値の面でも「打ち消し効果・混同によるリスク」により、「武蔵の森総合スポーツプラザ」のみならず、既にネーミングライツ契約を保有している隣接するスタジアムのネーミングライツの価値まで下げてしまう恐れもあります。
- ③ 隣接するスタジアムとは重複しているスポーツ施設がなく、逆に、多摩の総合的なスポーツ拠点として補完しあう関係にあるため、「多摩の総合的なスポーツ拠点として一つのネーミングライツとして売り出す」ことで、「武蔵野の森総合スポーツプラザ」単体として売り出すより、経済的価値のみならず施設PRの点においても、はるかに大きな価値を持ちます。

#### ■スマート・ベニュー®構想のモデルとして

- スポーツ庁の「スタジアム・アリーナ改革指針」には、スポーツを核とした街づくりを担う「スマート・ベニュー®」の概念が記されています。これら複数の施設群が一体的に運営され、ネーミングライツを統一的に運用するなら、このスマート・ベニュー®構想の有力なモデルとなります。
- 多摩の一大スポーツ拠点としてさらに付加的な価値を生み出し、地域住民にとって「愛着のあるシンボル」として持続的な発展のサイクルを作り出すことが可能となります。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## 提案課題4 [施設の管理その他に関する業務] 1 施設の管理に関する業務等

### (1) 施設、設備及び物品の維持管理

隣接スタジアムの施設、設備及び物品の維持管理を15年以上継続して行ってきた体制により、安全・衛生・機能を確保し、一体運営のメリットを活かして適切な管理を行います。



- ①隣接スタジアムとの一体運営により、効率的かつ最適な維持管理を実現
- ②平成29年4月1日から建物管理を受託し万全の体制で開業

#### 1 実施方針

##### ■隣接スタジアムとの一体運営により維持管理に係る人材や機材等の共有、コスト削減等のメリットを最大化

- 一体運営により設備員の有効配置・削減を図るほか、都と協議し、中央監視室による監視・制御の隣接スタジアムとの将来的な同期を目指すことに加え、同一消耗品類や大型機材等の共用により、効率的な維持管理及び購入費用削減を実現します。
- 隣接スタジアムからの進入が不可欠な高所作業車等の使用については、一体運営により円滑に実施します。
- 来場者の安全で快適な動線確保のために、隣接スタジアムで実施している飛田給駅から施設までの歩道清掃や降雪時の雪かき等も共同で実施することで、地域に貢献します。
- ラグビー2019や東京2020大会を見据え、会場となる両施設の維持管理を一体的に行うことで、安全かつ確実な大会運営にも貢献します。



歩道の清掃作業の様子

##### ■隣接スタジアムでの維持管理実績に基づき、計画的かつ効率的な予防保全を実施し、施設・設備を長寿命化

- 予防保全を重視し、中長期視点で計画的に建物設備の点検や部品交換等を実施することで、機能及び性能を維持し、修繕費や管理コストの最適化を図り、ライフサイクルコスト（以下「LCC」という。）を削減します。
- 保守点検記録（日報・月報・機器運転データ・修繕・更新の実績等）、LCC情報（光熱水費・修繕履歴）、建物図面等をデータベースで一元管理し、その分析・解析に基づき専門家による定期的な診断調査を行い維持管理に反映します。
- 有資格者（警備員指導教育責任者及び施設警備業務検定2級所持者を有する警備員）を配置し施設の安全を徹底管理します。
- 設備員や警備員、清掃員を始め、スタッフ全員が一体となり不具合を早期発見し、中央監視室に報告・集約して迅速に対応します。設備監視員は24時間365日常駐し、緊急の保守整備が必要な場合は設備員が直ちに作業し、必要に応じて、隣接スタジアムに常駐する設備員による応援も行います。
- 館長を物品管理責任者とし、台帳による適切な管理のもと、「備品シール」を貼付するほか、廃棄する備品のうち使用可能なものは、都との協議により他の都立施設等でリユースします。

〈施設・設備の長寿命化を図る実施内容案〉

項目	実施内容案
空調	<ul style="list-style-type: none"><li>・太陽熱+ソーラー吸収冷凍機稼働を基本運転とし、空調負荷に応じて、冷温水発生機を順次運転することで、ガス・電気使用量を抑制</li><li>・中間期の換気は自然換気とし、空調機の運転時間を軽減</li></ul>
給湯、プール温水熱源	<ul style="list-style-type: none"><li>・ボイラーを基本としつつ、コーチェネも必要に応じ活用することでガス・電気使用量を抑制</li><li>・大規模災害等非常時にはコーチェネを活用し、給湯、給電（空調）をバックアップ</li></ul>
冷温水循環ポンプ	<ul style="list-style-type: none"><li>・負荷に見合った効率的な運転を実施</li></ul>
プール	<ul style="list-style-type: none"><li>・腐食・劣化防止のため、都度ブラシ等による日常清掃を行い、必要に応じて高圧洗浄機による清掃を実施</li><li>・保温・塩素蒸発防止のために蓋をする（利用状況により、25m半面で検討）</li></ul>

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題4【施設の管理その他に関する業務】 1 施設の管理に関する業務等

### ■平成29年4月1日から建物管理を受託済みで習熟度が高くスムーズな施設立ち上げが可能

- 構成企業Aは、平成29年4月1日の業務開始時に当施設の建設工事会社より直接取扱い説明会を受講しており、各機器の操作方法及び取扱いに関する注意点をすでに習熟しています。その設備・警備要員については優先して配置します。
- 各機器の点検作業に対してもすでに作成している年間作業計画に基づき実施を開始しており、11月以降のスケジュールについても遅滞なく各種業務を遂行できる体制を構築しています。
- 初期故障に対する詳細内容の把握と建築工事会社との調整内容や修繕内容を熟知しており、日常管理における重点ポイントを把握した管理を実践します。
- 警備業務においてはITVカメラの位置関係をすでに把握し、映像に映りにくい箇所や死角になる箇所、トイレや更衣室等の位置等の施設の詳細を熟知しており、効率的で効果的な巡回ルートを策定しています。
- 危機管理マニュアル（火災発生時・地震発生時）についても、11月の指定管理業務のスタート時には遅滞なく策定します。

## 2 実施体制

### ■隣接スタジアムの維持管理を担当する3社を中心に、維持管理体制を構築

- 15年以上にわたり隣接スタジアムの維持管理業務を継続して行ってきた、構成企業A、構成企業B、構成企業C及び代表団体が、長年培ってきた経験とノウハウを活かし、確実に業務を遂行します。

【設備保守管理】  
構成企業A  
(施設等管理責任者)

【警備業務】  
構成企業B

【清掃業務】  
構成企業C

【物品管理】  
代表団体  
(物品管理者)

※設備・警備・清掃を担当する3社はISO9001及びISO14001認証を取得（構成企業BはISO14001を今年度内取得予定）。ISO認証に基づき、マネジメントシステムによる高い業務品質を提供。

- 平成29年4月1日から構成企業Aが当施設の「建築管理業務」を受託しており、設備管理責任者並びに主要なスタッフについては建物の基礎的な知識の習熟は終了しているため、11月25日の開業時点には円滑かつ確実に運用・維持管理を行っていくことを約束します。

## 3 委託を行う業務

### 【委託の際に注意する点】

- 安全性を確保するため、専門的技術が必要とされるものは、メーカー等の外部事業者に委託を行います。
- 構成企業Aによる自前保守以外は、選定基準を定めメーカーへ委託します。
- 質の高い業務を確保できるよう、責任者による立会いのもと、当グループが全面的に責任を持って厳格な管理と指示を行います。（具体的な業務内容については、次ページ及び添付資料（別添）P9～11参照）

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題4【施設の管理その他に関する業務】

### 1 施設の管理に関する業務等

#### (1) 施設、設備及び物品の維持管理

##### 【委託業務一覧】

区分	No	委託業務	業務内容 (有資格者、メーカー、専門業者による点検)	注意点 (基本 休館日にて実施、数日を要す点検は時期の調整)
電気	1	受変電設備年次保守点検	高圧機器の点検・清掃・測定・運動試験	電気事業法に基づく点検、停電日の調整、仮設電源の供給場所、機器の停止と復旧
	2	防災用発電機年次保守点検	点検・調整・負荷運転・測定・清掃	建築基準法、消防法、電気事業法に基づく点検、停電作業日に実施、燃料の確保
	3	地下貯蔵タンク定期点検	点検・検査・測定	消防法に基づく点検
	4	直流電源装置年次保守点検	点検・調整・測定・清掃	建築基準法、消防法、電気事業法に基づく点検、点検時期の調整
	5	電力監視表示盤	点検・調整・測定・清掃	点検時期の調整
	6	中央監視制御設備（空調・電気）	点検・調整・設定	点検時期の調整
	7	太陽光発電設備	点検・調整・測定・清掃	電気事業法に基づく点検、点検時期の調整
	8	照明制御設備	点検・調整・設定	点検時期の調整
	9	電話・情報設備点検	点検・調整・設定	点検時期の調整
	10	大型映像設備（中継設備含）	点検・調整・設定・清掃	点検時期の調整
	11	駐車場管制設備	点検・調整・設定・清掃	点検時における入出庫管理及び対応
	12	監視カメラ（ITV）設備	点検・調整・設定・清掃	点検箇所の関係者や諸室利用者への周知
	13	入退室管理設備	点検・調整・設定	点検箇所の関係者や諸室利用者への周知
消防	14	消防用設備等定期点検	点検・調整・設定・試験	消防法に基づく点検、作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
	15	防火対象物定期点検	点検・調整・設定・試験	消防法に基づく点検、作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
空調	16	吸収式冷温水発生機点検	点検・調整・運転切替・測定・清掃	点検時期と冷暖切替の時期の調整
	17	コージェネレーション機器	点検・調整・測定・清掃	点検時期の調整
	18	デシカント空調機	点検・調整・測定・清掃	運転切替の時期と調整
	19	太陽熱利用空調設備点検	点検・調整・運転切替・測定・清掃	点検時期と冷暖切替の時期の調整
	20	温水発生機点検	点検・調整・運転切替・測定・清掃	点検時期の調整（温水の利用状況）
	21	自動制御設備	点検・調整・測定・清掃	点検時における各種機器の運転停止時間の調整
	22	デジタルサイネージ	点検・調整・測定・清掃	点検時の送出データの保存と表示中止における関係者への周知
	23	変風量装置点検	点検・調整・測定・清掃	点検時における各種機器の運転停止時間の調整
	24	ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	点検・調整・測定・清掃	点検時期と冷暖切替の時期の調整と決定
	25	上水受水槽・雑用水点検清掃	点検・清掃	建築物衛生法に基づく点検、作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
給排水	26	汚水槽・雑排水槽点検清掃	点検・引き抜き清掃	建築物衛生法に基づく点検、作業中の異臭と施設の汚損への配慮
	27	貯湯タンク保守点検	点検・清掃	建築物衛生法に基づく点検、作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
	28	濾過設備	点検・調整・清掃・消耗品補充・部品交換	作業時期の調整と消耗品や交換部品の補充
	29	ブル可動床・可動壁設備	点検・調整	点検時期の調整（ブル水替え時に実施）
建築	30	自動ドア点検	点検・調整・設定・清掃	作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
	31	シャッターポート	点検・調整・測定・補修	建築基準法に基づく点検と作業時期の調整と関係者や諸室利用者への周知
	32	水質検査	測定・分析・調査	水道法に基づく点検回数と時期
検査・測定	33	煤煙測定	測定・分析・調査	大気汚染防止法に基づく点検回数
	34	圧力容器法定点検	点検・調整・清掃・消耗品補充・検査	労働安全衛生法に基づく点検清掃と検査
	35	建築設備定期点検	点検・調査	建築基準法に基づく点検、期間内に諸官庁への報告書提出
	36	特殊建築物定期調査	点検・調査	建築基準法に基づく点検、期間内に諸官庁への報告書提出
	37	定期ガラス清掃	点検・調整・清掃	点検時期の調整
清掃	38	植栽管理	点検・清掃・剪定・害虫駆除	点検時期の調整
	39	害虫駆除	点検・消毒・害虫駆除	点検時期の調整
	40	廃棄物処理	点検・調整・運搬・清掃	点検時期の調整
	41	表示盤設備	点検・調整・設定・測定	点検時期の調整
その他	42	舞台照明設備	点検・調整・設定・清掃	点検時期の調整、重量物の取り付け状態の確認
	43	アリーナ音響設備	点検・調整・設定・測定	点検時期の調整
	44	壁面緑化設備	点検・清掃・剪定・害虫駆除	植栽を枯らさない手段（肥料投入時期や害虫駆除）、適時な剪定
	45	ロールバックチャウド	点検・調整・清掃	点検時期の調整
	46	可動畳設備	点検・調整・清掃	点検時期の調整
	47	バスケットゴールその他競技器具	点検・調整・清掃	点検時期の調整

## (2) 施設の修繕

**中長期的視点に基づく計画的な修繕作業を実施するとともに、隣接スタジアムとの連携や、地元業者の活用による迅速な対応体制を構築します。**



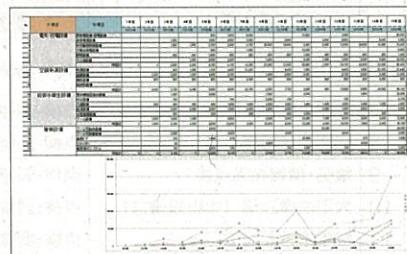
①集中作業時には、隣接スタジアムの設備員を導入し、時間短縮を実現

②地元業者を活用し、迅速な対応と地域貢献を実現

### 1 実施方針

#### ■予防保全の観点から日常的に小規模な修繕（プリメンテナンス）を実施し、大規模な修繕を抑制

- 中長期修繕計画を作成し、修繕・点検結果はデータベース化し、PDCAサイクルを活用し最適化を図ります。メンテナンスサイクルは3年毎に見直しを検討し、予防保全に反映、メンテナビリティ向上を図ります。
- 巡回による不具合箇所を早急に把握し小規模修繕を行うことで、メーカーへの安易な発注を避け、なるべく自前保守を実施することで、コスト削減も図ります。



中長期修繕計画のイメージ

#### ■隣接スタジアムとの連携により時間を短縮して

集中的に作業を実施し、利用者への影響を最小化

- 休館日や、大規模イベントが少ない平日、早朝・夜間を利用して作業を実施するとともに、必要に応じて隣接スタジアムの設備員を導入して集中的に作業を実施することで、遅滞なく作業を実施し時間短縮を図ります。

### 2 実施体制

#### ■集中作業に共同で対応可能な隣接スタジアムと連携した体制の構築

- 15年以上にわたり隣接スタジアムの維持管理を行ってきた構成企業Aにより、日常的かつ中長期的な修繕作業を行うとともに、必要に応じて隣接スタジアムの設備員の導入を図ります。

#### ■地元業者を活用した、外部発注の迅速な体制整備と地域への貢献

- 外部発注が必要な修繕は、構成企業Aのネットワークを活かし、メーカーへの連絡・迅速な対応を行うとともに、隣接スタジアムの管理運営で培った連携体制のもとに、積極的に地元業者を活用します。

## (3) 危機管理及び災害対応

**隣接スタジアムと一体的な警備体制、防火・防災体制を構築することで、想定される危機を未然に防ぐとともに、災害時等に迅速かつ適切に対応します。**



- ①隣接スタジアムとの一体的な避難路確保・誘導や情報共有等、一体的なリスクマネジメントを実施  
②多くの障がい者の利用を想定し、潜在リスクの洗い出しや日常的な訓練を実施

### 1 施設内での事故及び事件並びに天災等、想定される危機に対する対応策

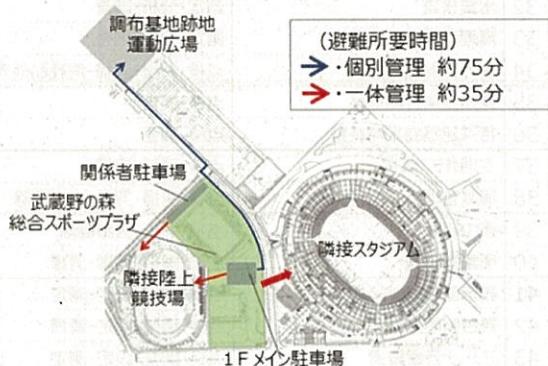
#### 【火災・災害発生時の対応】

〈誘導導線のシミュレーション結果〉

#### ■隣接スタジアムとの一体的な体制により、隣接陸上競技場への避難動線を確保

- 隣接スタジアムとの一体運営を行わず、当施設で独自に一時避難場所を確保した場合、大型イベント開催時等には円滑な対応が難しく、また避難動線も長くなることから、隣接陸上競技場を避難場所とする等、利用者の安全を最優先した隣接スタジアムと一体となった避難計画を策定します。

(添付資料（別添） P12～14参照)



\*前提条件：メインアリーナ1万人規模のコンサートを想定し計測

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## 提案課題4〔施設の管理その他に関する業務〕 1 施設の管理に関する業務等

- 地域防災拠点・広域避難場所指定を想定し、防災備蓄倉庫に1万人分の毛布・食料を備蓄するほか、マンホールトイレ提供、デジタルサイネージからの災害情報発信、一時的なアリーナ開放、空調やトイレ提供等を実施します。
- 大規模災害時には、非常用発電機やコージェネによりアリーナへの給電（空調・給水）、給湯を行います。
- 当グループは、多摩地域に多くの社員が居住していることや、近隣に事業所が多くあることから、災害時スタッフが直ちに参集、施設の安全な運用を図ります。

### ■ 障がい者の利用を想定した、隣接スタジアムとの一体的な定期訓練の実施

- 地元消防署の指導のもとに、隣接スタジアムと一緒に定期的に防災訓練を実施します。それにより、両施設で同時にイベントが行われた場合等、様々なケースを想定した効果的な訓練を行うことができます。  
(添付資料（別添）P 15参照)
- また、車いす利用者や障がい者スポーツアスリート等を交えた訓練を行い、障がい者スポーツの振興を目的として万全の備えを行うとともに、東京2020大会に備えた完璧なシミュレーションを行います。

### 【事故・急病発生時の対応】

#### ■ 隣接スタジアムを含む全社員が「上級救命技能認定」を取得し、的確な対応を実施

- 全社員が「上級救命技能認定」を取得し救急時には的確に対応、都民、来場者の生命を守ります。
- 「スポーツ施設におけるAEDの設置・管理のあり方に関するガイドライン」に基づき、AEDを来場者の動線上に適切に配置し（7台を想定）、日常点検をしっかりと行うとともに、定期的に訓練を実施します。
- 疾病や感染症対策についても、都と連携した対策の実施やマニュアルの整備等を通じて速やかに対応します。
- 利用者に対して、当施設のルールに基づきピクトグラム等でわかりやすく利用者の目につきやすいよう看板やチラシ等で注意事項を掲示します。
- あわせて、事故・急病等に備え、「賠償責任保険」（てん補限度額：対人・対物共通20億円）と「レジヤーサービス費用保険」に加入し対応します。



隣接スタジアムでの消防訓練の様子 車いす利用者の避難誘導訓練

隣接スタジアムでのAED訓練

### 【犯罪防止の対応】

#### ■ 隣接スタジアムと連携した巡回警備を実施し、情報共有により機動的で迅速な対応を実現

- 隣接スタジアムと警備体制を共有し、また、当施設における警備実績の中の巡回警備要領を活用して経路や時間、特に警戒すべきポイント等を重点的に設定し、隙のない警戒を実施することにより、都民や来場者への安全確保、事故発生防止を図ります。特に、夜間の小火や不審者等に対して、相互に無線連絡により連携することで、機動的に迅速に対応します。
- 警察OBによる警備員指導管理室が指導を行う独自の現場巡察システムを導入し、警備業務の質の改善を図ります。
- 隣接スタジアムとの接続橋等、犯罪防止上、防犯カメラの設置が必要と思われる箇所については、都と協議しながら将来的な設置を検討します。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

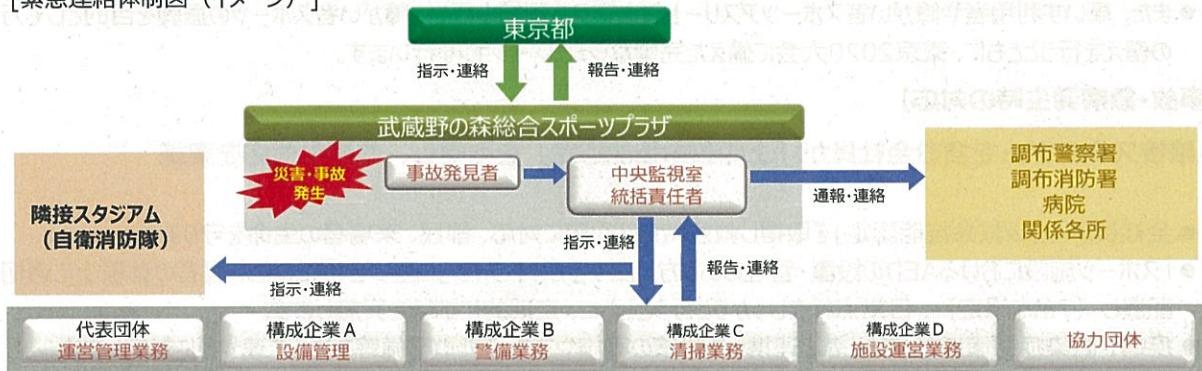
## 提案課題4〔施設の管理その他に関する業務〕 1 施設の管理に関する業務等

### 2 リスクマネジメント体制

#### ■隣接スタジアムと一体的な緊急連絡体制を構築

- リスクを未然に防ぎ、事故・災害等発生時には連携して機動的に対応できる体制を、隣接スタジアムと一体的に整備します。
- 隣接スタジアムの15年以上にわたる実績に基づく地元警察・消防とのリスクへの共通認識、信頼関係を活かして体制を構築します。
- 都と協議し、消防計画を策定した上で、統括防火管理者を隣接スタジアムとの共同配置のもと、自衛消防隊を構成し相互の円滑で迅速な連携を図ります。（添付資料（別添） P16参照）

[緊急連絡体制図（イメージ）]



- 館長をリスク管理責任者として、業務における潜在リスクの抽出、分析・評価を行い、対応策を決定の上、リスク対応マニュアルを作成し、当該業務を担当するスタッフに対して周知徹底を図ります。リスク対応マニュアルは、隣接スタジアムとも共有します。
- 特に、障がい者スポーツ振興のため多くの来場を見込むことから、様々な障がい（視覚・聴覚・肢体不自由・知的等）についての潜在リスクを想定した対応マニュアルを作成します。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題4〔施設の管理その他に関する業務〕2 その他管理運営に関する事項

### (1) 個人情報の保護

**PDCAサイクルにより個人情報保護体制の継続的な運用改善を図り、  
個人情報保護に万全を期します。**

- Point**
- ①隣接スタジアムにおいて15年以上個人情報漏えい等の事故を発生させなかつた体制を基礎としつつ、グループで一体的な個人情報保護体制を確立
  - ②法令改正に的確に対応するほか、職員の個人情報保護に関する知識や取扱いを定期的にチェックし改善を図ることで、個人情報保護体制の運用を継続的に改善

#### 1 取扱いを想定している個人情報に対する具体的な取組み

##### ■個人情報保護体制の確立

- 当施設では、氏名、生年月日、住所、電話番号等の個人情報を、運営に必要な最小限の範囲で収集します。
- 代表団体は、これまで「個人情報の保護に関する要綱」に基づき、隣接スタジアムの顧客等の個人情報の取扱いを厳格に行ってきましたことから、この取組みを基礎に個人情報保護体制を確立します。
- 当グループにおいては、直近の個人情報保護法の改正も踏まえ、各団体が本施設の管理運営に当たり守るべき統一的な個人情報保護要綱を新たに策定します。
- 加えて、副館長を責任者とする全職員を対象とした研修及びチェック体制を構築することで、個人情報保護の職員への徹底と運用の継続的な改善を実現します。

##### 個人情報保護の具体的な取組み

個人情報の収集	<ul style="list-style-type: none"><li>・目的を明確にしたうえで、本人同意のもと、運営に必要な最小限の範囲で収集します。</li><li>・本人から直接収集することを原則とし、万一第三者から収集する場合は、改正法に基づき、当該第三者の氏名や情報取得の経緯等を確認します。</li></ul>
適正な管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・名簿や利用申請書等、個人情報を記録した媒体は、書庫への収納と施錠を徹底します。また、電子データはパスワードを付すことで、担当者以外が閲覧できないようにします。</li><li>・個人情報の紙・電子媒体による社外への持ち出し又はメール等による送信は、禁止します。業務上やむを得ず持ち出し等を行う場合は、副館長の許可を得るものとします。</li><li>・保有の必要がなくなった媒体は、裁断や溶融、破壊等により、物理的に判読できないよう処分します。</li><li>・職員のパソコン端末は、ワイヤー固定を行うとともに、ログインパスワードを設定します。また、専門業者により、不正アクセスやウイルス等への技術的な対策を実施します。</li></ul>
情報漏えい時の対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・万一、個人情報の漏えい、紛失等が発生した場合は、速やかに本人にお知らせするとともに、東京都や関係機関に報告します。併せて、漏えい等の事実関係や経緯、対応策等を公表します。</li></ul>

#### 2 個人情報の取扱いや行政処分を行う上で発生する守秘義務を遵守し職員に履行させる取組み

##### 個人情報保護の職員への徹底

研修及びチェック体制の確立	<ul style="list-style-type: none"><li>・アルバイト等も含む全職員に対し、業務開始前に一度、開始後は定期的に研修を実施し、個人情報保護の重要性について意識の向上を図るとともに、要綱に基づく取組みを徹底します。</li><li>・日常業務における個人情報の取扱いについて、各業務の責任者による管理を徹底するほか、副館長が定期的に職員の理解度及び取組み状況の検査を行うことで、継続的に改善を図ります。</li></ul>
個人情報保護に係る手引きの作成	<ul style="list-style-type: none"><li>・実際の業務に応じた個人情報保護に係る取組みの手引きを作成し、研修の場等を通じて職員に徹底します。</li><li>・法令及び要綱の改正や、業務の状況等を反映し、継続的に手引きの見直しを行います。</li></ul>

##### 守秘義務の遵守徹底

守秘義務に関する規則の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・守秘義務については、新たに策定するグループの職員服務規程に規定し、遵守徹底を全職員に義務付けます。</li></ul>
守秘義務の職員への徹底	<ul style="list-style-type: none"><li>・守秘義務については、個人情報保護とあわせて定期的に研修を実施し、全職員に周知徹底します。</li><li>・全職員に、守秘義務の遵守に関する誓約書を提出させます。</li></ul>

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題4〔施設の管理その他に関する業務〕 2 その他管理運営に関する事項

### (2) 環境配慮への取組み

**都の施策を踏まえ、隣接スタジアムでの実績を活かして様々な環境配慮施策に取組むとともに、地域や利用者に幅広く普及啓発を図り「スマートシティ」実現に貢献します。**



- ①地元自治体より「エコ・オフィス」の最高ランク認定を受けた隣接スタジアムの実績を活かした体制の踏襲
- ②地域との関係性を活かした、都民・企業を巻き込んだ普及啓発への取組みの実施

#### 1 都の施策を踏まえた具体的な環境配慮への取組み

- 都の環境確保条例に基づき、「カーボンマイナス東京10年プロジェクト」、「緑の東京10年プロジェクト」「省エネ・再エネ東京仕様」「スマートエネルギー都庁行動計画」等の環境施策を踏まえ、また、「指定地球温暖化対策事業所」となった場合には都とともにCO<sub>2</sub>排出抑制に適切に取組みます。
  - 隣接スタジアムは、地元自治体より、環境にやさしい事業所「エコ・オフィス」のゴールドランクとして、平成21年より認定を受けており、当施設もこれをを目指し、グループ及び地域一体となって取組みます。
- 設備の効率的な運転によるエネルギー使用量の削減と再生可能エネルギーの活用に取組む  
 ○副館長を廃棄物管理責任者とし、4R（Refuse, Reduce, Reuse, Recycle）の推進を基本に、隣接スタジアムと一緒にとなった廃棄物処理計画を作成し、効率的にゴミ減量を促進し、適正な処理を行う  
 ○化学物質への使用に配慮し、利用者やスタッフの安全や、地球環境保護に貢献する

#### エネルギー使用量の削減、再生可能エネルギーの活用

設備の効率的な運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EMSにより状況を把握し、太陽熱温水、地中熱HP等の再エネ機器と冷温水発生機、ボイラーの運転とを効率よく組合せて負荷に的確に対応</li> <li>・室外機置場フェンス等に緑のカーテンやプランター等を施し、空調機の運転効率を向上</li> </ul>				
再生エネルギー利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光パネルの汚れを適宜洗浄し、発電効率の低下を防止</li> <li>・再生可能エネルギー率20%以上を確保する電力事業者の選定等、電力のグリーン購入強化の対応も検討</li> </ul>				
省エネルギーへの取組み	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">中間期</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外気取り入れによる外気冷房の実施</li> <li>・自然換気の有効利用</li> <li>・プール温水熱源への地中熱HPを主としガス使用量を削減</li> </ul> </td></tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピークシフト自販機を設置し日中の大幅な消費電力を削減</li> </ul> </td></tr> </table>	中間期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外気取り入れによる外気冷房の実施</li> <li>・自然換気の有効利用</li> <li>・プール温水熱源への地中熱HPを主としガス使用量を削減</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピークシフト自販機を設置し日中の大幅な消費電力を削減</li> </ul>
中間期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外気取り入れによる外気冷房の実施</li> <li>・自然換気の有効利用</li> <li>・プール温水熱源への地中熱HPを主としガス使用量を削減</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピークシフト自販機を設置し日中の大幅な消費電力を削減</li> </ul>				
エネルギーコストの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生器具や水栓類の水量抑制、照明照度の軽減</li> </ul>				

#### 廃棄物の発生抑制・リサイクル推進・適正処理

廃棄物減量への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接スタジアムの生ゴミ専用処理機を活用して生ゴミを液肥にリサイクルし、敷地内緑化帯等へ施肥</li> <li>・剪定枝や折れ枝は、隣接スタジアムとともに調布市にチップ加工を依頼し、雑草の萌芽防止に活用</li> </ul>
リサイクル率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内で回収したゴミを、集積所で再度清掃スタッフが再分別し、リサイクル率を向上</li> <li>・利用者に対しては、館内掲示により、分別収集を呼びかけ</li> </ul>
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品、備品、消耗品類は「東京都グリーン購入推進方針」に基づき選定</li> </ul>

#### 化学物質対策

環境に配慮したケミカル類の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する洗剤やワックス、虫・ねずみ等を駆除する薬品等は、「化学物質等安全データシート（SDSシート）」による検証を行い、適正量の使用にも配慮</li> </ul>
-----------------	---



集積所でのゴミの  
再分別作業

## 提案課題4〔施設の管理その他に関する業務〕2 その他管理運営に関する事項

### 2 都民・企業への環境に関する普及啓発についての取組み

- 隣接スタジアムにおいて実施してきた、地域住民や企業を巻き込んだ環境に関する取組みを活かしながら、さらに、当施設の利用者やイベント来場者、主催者等、幅広く普及啓発を図っていく取組みを実施します。

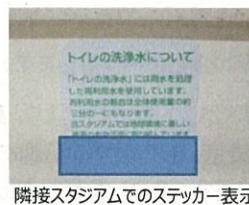
【取組み例】（添付資料（別添）P17参照）

#### ■館内表示による啓発

- エネルギー使用量等をデジタルサイネージに表示
- ステッカーにより雨水・再生水活用を表示

#### ■都民・企業を巻き込んだ取組みの実施

- 隣接スタジアムと一緒に実施するイベント(隣接スタジアムとの合同感謝デーイベント等)での啓発活動の実施
- 太陽熱・太陽光、地中熱HP、コーチェン等再エネ、省エネ設備を地域の環境学習に活用
- アリーナ屋上庭園の無料開放(都との協議による)、隣接陸上競技場から周辺の緑をつなぐ散歩コースの設置
- エコキヤップ推進運動に協力
- スタッフに対する意識啓発



隣接スタジアムでのステッカー表示



隣接陸上競技場での植栽管理



エコキヤップ推進運動（隣接スタジアム）

## 提案課題5〔収支計画〕

**需要の変化に対応し、経営基盤の安定化を当グループの運営ノウハウで実現。収益に関しては、サービスレベルの向上と地域貢献へ、最大限に投資します。**

隣接スタジアム運営の実績とネットワーク、民間企業の知恵により、支出削減を進めながらも魅力的なサービス事業の充実を図ります。特に、都と地元自治体との協議の上で可能な限り多様なスポーツ振興事業・地域貢献事業を実施することで、地域住民を始めとした都民の利用者サービス向上に最大限努めます。

- Point**
- ①15年以上の実績に基づく都の委託料の圧縮
  - ②民間企業の運営ノウハウを活かした安定収益獲得
  - ③一体管理による現実的な支出の縮減
  - ④赤字分は当グループ内で負担

### 1 当グループの収支計画の考え方

#### ■ 15年以上の隣接スタジアム運営実績に基づく都の委託料の圧縮

- 収入・支出ともに、これまでの15年以上の運営実績で得たノウハウをもとに、東京2020大会前後の経済環境や施設環境等の変化を考慮した上で算出しています。目標として、年間50本以上のイベント誘致、約70万人の施設利用者数を見込んでいます。

- 自主事業及び利用者サービス事業の収入は全額繰入を行い、委託料の縮減を目指します。
- 隣接スタジアム運営で構築した優良顧客とのネットワークを用いた商業イベントの誘致により、東京2020前後の需要の変化に対しても、安定的な施設稼働を実現します。「スポーツ都市東京」を実現する多摩の一大拠点として、施設としての認知向上を図ることで、興行的スポーツの開催本数を増加させます。なお、需要は他の新規恒久施設の稼働による競合環境も加味したものです。
- 平成33-34年度は、平成30-32年度と比較して、興行的スポーツに依る利用が25%増加し収益が増加することを見込んでいます。同時に平日のアマチュアスポーツ利用の増加も見込んでいます。
- なおネーミングライツ等、外部資金の導入についてはある程度見込めるものの、本収支においては見込んでおりません。

#### ■ 一体管理による現実的な支出の縮減

- 隣接スタジアムとの一体管理による効率的な人員配置に加えて有期雇用契約職員の戦略的活用を行うことで、人件費の効率的な運用に努めています。
- コストメリットのある電力事業者の選定、予防保全の実施等による維持管理コストの削減を図ります。
- 隣接スタジアムとの一体管理による備品の共有利用やリユースにより消耗品購入費等の縮減に努めます。

年度	平成30～32年度	平成33～34年度
都からの委託料	195,369 千円	179,808 千円

### 2 収支に赤字・黒字が生じた場合の取り扱い

#### ■ 赤字分は当グループ内で負担、黒字分は利用者サービスの向上への充当

##### ① 収支に赤字を生じた場合の処理について

- 損失が生じた場合は、当グループ内で赤字分を割合に応じて負担します。

##### ② 東京都へ提出する収支計画を上回る利益が発生した場合の処理

- 指定管理料収支で利益が生じることが見込まれる場合は、以下の順番で充当してまいります。①地域貢献事業、スポーツ振興事業のサービス拡充、②施設の管理・補修修繕、競技用備品の更新等、③都への還付。なお履行にあたっては、詳細を都へ報告し、充分に協議を図った上で決定いたします。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

提案課題5〔収支計画〕

項目		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
正規職員										
人件費	臨時職員									
	人件費計①									
消耗品費等	光熱水費								7月ハ'ト、派遣職員、非常勤職員等	積算内訳①
役務費									電気・ガス・水道・燃料	積算内訳②
委託費（維持管理費等）									消耗品、備品、印刷製本、原材料、建物・設備・修繕費等	積算内訳③
賃借料									電話・通信・運搬費等	積算内訳④
その他の									設備保守・清掃・整備・その他業務委託等	積算内訳⑤
小計									リース料等	積算内訳⑥
間接費									諸謝金・旅費交通費・その他経費	積算内訳⑦
合計									管理運営に伴う本社等の経費（人件費を含む。）	
管理運営費										
消費費	税									
管理運営費計②										
事業費	業費									
間接費										
合計										
事業費	税									
管理運営費計③										
スルーグループ事業費計③										
地域貢献事業費合計									地域貢献事業運営に伴う本社等の経費（人件費を含む。）	事業計画書 3-1-(1)
地域貢献事業費計④										
支出合計⑤(①+②+③+④)										事業計画書 3-1-(2)

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題5〔収支計画〕

(2) 収入の計画		項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
管 理 運 営 費	体育施設利用料金	その他								専用・個人の施設利用料金、自主事業の施設利用料金	積算内訳⑧
管 理 運 営 費	参 加 料	その他								預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	積算内訳⑨
管 理 運 営 費	スポーツ振興事業費計	⑤									
地 域 貢 献 事 業 費	参 加 料	その他								協賛金等	事業計画書 3-1-(1)
地 域 貢 献 事 業 費	スポーツ振興事業費計	⑥									
地 域 貢 献 事 業 費	参 加 料	その他								協賛金等	事業計画書 3-1-(2)
地 域 貢 献 事 業 費	地域貢献事業費計	⑦									
そ の 他	⑧	その他								協賛金等	事業計画書 3-1-(3)
そ の 他	収入合計	⑨(⑤+⑥+⑦+⑧)								自主事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(5)
(3) 都からの委託料		項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
都 か ら の 委 託 料	(④ - ⑨)	169,326	195,369	195,369	195,369	195,369	179,808	179,808	1,115,049		

※ (参考) 自主事業及び利用者に対するサービスの収支 (積算内訳は事業計画書3-1-(3)及び3-1-(5))

項目	29年度			30年度			31年度			32年度			33年度			34年度		
	収入	支出	差引															
自 主 事 業 利 用 者 に 対 す る サ ー ビ ス 提 供 事 業																		

※平成29年度については、支出の計上を11月1日から、収入の計上を12月1日からと想定している。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題5〔収支計画〕

(画譜文庫) 乙 魏蜀宋

## 提案課題 5 [收支計画]

(4) 積算内訳（金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。）

## ① 人件費積算内訳

单位：千円

序號	地點	土壤性質	土壠形狀	耕種方法	施肥量	施肥方法	灌溉方法	施肥效果
1	新竹市	砂質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率高
2	苗栗縣	黏質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
3	台中市	砂質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
4	彰化縣	黏質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
5	雲林縣	砂質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
6	嘉義縣	黏質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
7	台南市	砂質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
8	高雄市	黏質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
9	屏東縣	砂質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
10	宜蘭縣	黏質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
11	花蓮縣	砂質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等
12	臺東縣	黏質壤土	圓錐形	深耕	100kg/公頃	撒播	噴灌	增產率中等

## ② 光熱水費積算内訳

单位：千巴

② 光熱水賃積算内訳							単位：千円
項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
電気							
ガス							
水道							
合計							

### ③ 消耗品費等積算内訳

单位：千円

項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
管理用消耗品							
設備用消耗品							
清掃用消耗品							
フーリッシュ消耗品							
備品							
印刷製本							
設備等修繕費							
合計							

#### ④ 役務費積算内訳

单位：千円

④ 仕務費償算内訳							単位：円
項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
電話代							
通信費							
保険料							
手数料							
合計							

## ⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

单位：千円

項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題5〔収支計画〕

## ⑥ 賃借料積算内訳

項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
AED							
入退場システム等							
トレーニング、機器等							
コピー機等管理用							
合計							

## ⑦ 管理運営費・その他支出積算内訳

項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
公租公課							
旅費交通費							
図書費							
その他の							
合計							

## ⑧ 体育施設利用料金収入積算内訳

⑤ 体育施設利用料並収入積算内訳							
項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
メインアリーナ							
サブ・アリーナ							
会議室その他							
フル団体							
フル個人							
トレーニング・シーム							
合計							

## (⑧)の積算補足資料)

## ⑨ 管理運営費・その他収入積算内訳

項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
合計							

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題5〔収支計画〕

1/3

### ⑤委託費(維持管理費等)積算内訳

各項目等の内容については、別紙仕様書による。

分類	作業の種類	金額(円)	備考
電気設備	受変電設備月次巡回点検(高圧設備)		
電気設備	受変電設備年次保守点検(高圧設備)		
電気設備	分電盤設備月次巡回点検		
電気設備	分電盤設備年次保守点検		
電気設備	防災用発電機月次点検		
電気設備	防災用発電機年次保守点検		
電気設備	燃料小出槽		
電気設備	地下貯蔵タンク定期点検		
電気設備	直流電源装置月次巡回点検		
電気設備	直流電源装置年次保守点検		
電気設備	無停電電源装置(UPS)		
電気設備	中央監視制御設備		
電気設備	電力監視表示機		
電気設備	中継・構内情報設備点検		
電気設備	電話・情報設備点検		
電気設備	電波時計設備		
電気設備	ローカル映像・音響設備		
電気設備	照明制御設備		
電気設備	駐車場管制設備		
電気設備	監視カメラ(ITV)設備		
電気設備	入退室管理設備		
電気設備	太陽光発電設備		
電気設備	大型映像設備		
電気設備	屋外灯光器		
電気設備	避雷設備		
電気設備	テレビ共聴設備		
電気設備	インターホン設備		
電気設備	トイレ呼出表示装置		
電気設備	音声ガイドシステム		
消防設備	消防用設備等定期点検		
消防設備	防火対象物定期点検		
空調設備	直焚き吸式冷温水発生機点検		
空調設備	コーポレーティング発電機		
空調設備	冷却塔点検		
空調設備	冷却塔清掃		
空調設備	各種空調熱交換器点検		
空調設備	各種熱源用ポンプ点検		
空調設備	薬品注入装置		
空調設備	膨張タンク点検		
空調設備	密閉式膨張タンク点検		
空調設備	ファンコイルユニット点検		
空調設備	エアーハンドリングユニット点検		
空調設備	フィルター清掃業務		
空調設備	加湿機器点検		
空調設備	全熱交換器点検		
空調設備	デシカント空調機		
空調設備	フィルターユニット点検		
空調設備	給排気ファン点検		
空調設備	排煙機点検		
空調設備	電気式ヒートポンプ		
空調設備	ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機		

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題5〔収支計画〕

2/3

分類	作業の種類	金額(円)	備考
空調設備	電気ヒーター		
空調設備	変風量装置点検(VAV)		
空調設備	太陽熱利用空調設備点検		
空調設備	床暖房設備点検		
空調設備	デジタルサイネージ		
空調設備	自動制御設備		
空調設備	太陽熱收集直焚き吸収冷温水機点検		
空調設備	ユニット型複合剤用薬注装置点検		
空調設備	エア抜きヘッダー点検		
空調設備	冷温水ヘッダー(往・還)点検		
空調設備	冷水ヘッダー(往・還)点検		
空調設備	デリベントファン点検		
給排水衛生設備	上水受水槽点検保守		
給排水衛生設備	上水受水槽年次清掃		
給排水衛生設備	加圧給水ポンプユニット点検		
給排水衛生設備	電気温水器点検		
給排水衛生設備	雑用水槽保守点検(雨水再利用水)		
給排水衛生設備	雑用水槽清掃(雨水再利用水)		
給排水衛生設備	貯湯タンク保守点検		
給排水衛生設備	貯湯タンク年次清掃		
給排水衛生設備	滅菌装置(雨水濾過用)点検		
給排水衛生設備	ウォータークーラー		
給排水衛生設備	温水発生機点検		
給排水衛生設備	地熱ヒートポンプチラー点検		
給排水衛生設備	コージェネレーションユニット点検		
給排水衛生設備	FRP製全自動砂濾過装置点検		
給排水衛生設備	循環濾過装置点検		
給排水衛生設備	電界次亜塩素生成装置		
給排水衛生設備	水質管理装置		
給排水衛生設備	FRP製高性能濾過装置点検		
給排水衛生設備	滅菌装置(風呂濾過用)点検		
給排水衛生設備	雨水貯留槽年次清掃		
給排水衛生設備	地中熱利用設備		
給排水衛生設備	ブルオーバーフロー槽		
給排水衛生設備	雑排水槽点検清掃		
給排水衛生設備	汚水槽点検清掃		
給排水衛生設備	湧水槽年次清掃		
給排水衛生設備	冷却塔補給水槽点検保守		
給排水衛生設備	冷却塔補給水槽点検清掃		
給排水衛生設備	膨張タンク点検清掃		
給排水衛生設備	膨張タンク点検		
給排水衛生設備	雨水移送ポンプ点検		
給排水衛生設備	ブルオーバーフロー槽		
給排水衛生設備	受水槽一体型加圧給水ポンプユニット清掃点検		
給排水衛生設備	加圧給水ポンプユニット点検		
給排水衛生設備	給湯循環ポンプ点検		
給排水衛生設備	温水循環ポンプ点検		
給排水衛生設備	冷温水循環ポンプ点検		
給排水衛生設備	強制シャワーユニット		
給排水衛生設備	各種排水ポンプ点検		

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題5〔収支計画〕

3/3

分類	作業の種類	金額(円)	備考
給排水衛生設備	汚水マンホールポンプ点検		
給排水衛生設備	災害用トイレシステム点検		
給排水衛生設備	排水溝点検		
建築設備	プール可動床設備		
建築設備	プール可動壁設備		
建築設備	自動ドア点検		
建築設備	シャッターポート点検		
建築設備	自動灌水システム		
建築設備	植栽管理(壁面緑化)		
建築設備	ロールスクリーン設備		
検査・測定業務	飲料水水質検査		
検査・測定業務	雑用水水質検査		
検査・測定業務	残留塩素測定(上水受水槽)		
検査・測定業務	雑用水測定(雑用水槽・冷却塔補給水槽)		
検査・測定業務	プール水水質検査		
検査・測定業務	プール水水質検査(総トリハロメタン、レジオネラ検査)		
検査・測定業務	レジオネラ属菌水質検査		
検査・測定業務	空気環境測定		
検査・測定業務	建築設備定期点検		
検査・測定業務	特殊建築物定期調査		
検査・測定業務	ホルムアルデヒド測定(初年度のみ)		
検査・測定業務	圧力容器法定検査		
検査・測定業務	煤煙測定		
清掃業務	定期ガラス清掃		
清掃業務	植栽管理		
清掃業務	害虫駆除		
清掃業務	廃棄物処理		
その他	表示盤設備		
その他	舞台照明設備		
その他	アリーナ音響設備		
その他	ロールバックチェア設備		
その他	可動畳設備		
その他	バスケットゴールその他競技器具		
その他	ホームページ・ネットワーク管理		
その他	満足度調査		
その他	イベント誘致調整		
計			

※1 本計画書の作成に当たっては、収支計画書との整合を図ってください。

※2 積算に当たり、作業項目の追加・修正や作業頻度の変更を提案する場合等補足説明を要する場合は、別紙補足説明書に具体的な考え方や理由を記入してください。

※3 設備等の維持管理業務について、業務委託によらず指定管理者が実施し、委託費がかからない場合は、備考欄に実際にかかる経費を記載してください。

※4 作業項目の追加、修正等を行う場合は、本表を適宜修正してください。

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 提案課題6〔組織及び人材〕 1 効果的かつ効率的な執行体制の確保

**各構成企業の適性及び実績を活かした業務体制を構築し、  
地域・関連企業と連携した万全な体制で施設運営を行います。**

### Point

- ①各構成企業の適性及び実績を活かし、専門性の高い人員を配置し業務を遂行
- ②地域(自治体、関係団体)及び関連企業との連携ネットワークにより、万全な施設運営体制を構築
- ③ラグビー2019や東京2020大会の円滑な準備を支援するため、都、両大会の組織委員会、関係機関との連絡・報告体制を確立
- ④隣接スタジアムとの相互応援体制を敷き、大規模大会開催時には柔軟に対応
- ⑤平成29年4月1日から構成企業Aが建物管理を受託済みで業務の習熟度が高くスムーズな施設立ち上げが可能

### 1 施設を運営するための組織を構築する上での基本的な考え方

#### ■各構成企業の専門性を活かした業務体制

- 施設運営及び事業運営を統括する代表団体をはじめとして、各構成企業は次ページ体制図に示したとおり当施設の運営にふさわしい適性及び実績を有しています。これら各社の専門性を活かし、適切な業務分担のもと施設運営を行います。
- 定期的な団体間の情報共有・調整会議を開催するほか、大規模イベントの開催に向けては個別に運営会議を開催し、担当者間直接の情報共有を促進することで万全な業務体制を保ちます。

#### ■地域及び関連企業との連携ネットワークによる万全な運営体制

- 隣接スタジアムの運営で培った、地域及び関連企業との連携ネットワークを最大限に活用し、施設運営、事業運営、交通調整等のための万全な体制を構築します。
- 地元の警察・消防、自治会、商店街等との協力関係を活かして、近隣地域における賑わい創出や安全・安心なまちづくりに寄与します。

#### ■ラグビー2019や東京2020に関する連絡体制

- 都、両大会の組織委員会、その他関係機関との連絡調整については、隣接スタジアムへの視察対応等で連絡調整を担ってきた経験を活かし、当施設の担当者を交えた勉強会を開催する等、両施設を含むエリア一帯の利用計画について理解を深めた上で、両大会の円滑な準備を支援します。
- 当施設と隣接スタジアムの両方を一度に視察したいというニーズに対しても、柔軟な対応が可能な体制を構築します。

#### ■隣接スタジアムとの相互応援体制

- 日々の管理運営及び安全確保のために必要な人数を配置した上で、世界大会等の大規模大会開催時は、隣接スタジアムの経験豊富なスタッフの応援を仰ぐ等、柔軟な対応を行います。
- 隣接スタジアムとのイベント併催時には互いに協力体制を敷くことで、ペデストリアンデッキやスタジアム通り等の境界部分についても死角をなくす対応を取ることが可能です。

### 2 平成29年4月1日から建物管理を受託済みで業務の習熟度が高くスムーズに施設立ち上げが可能

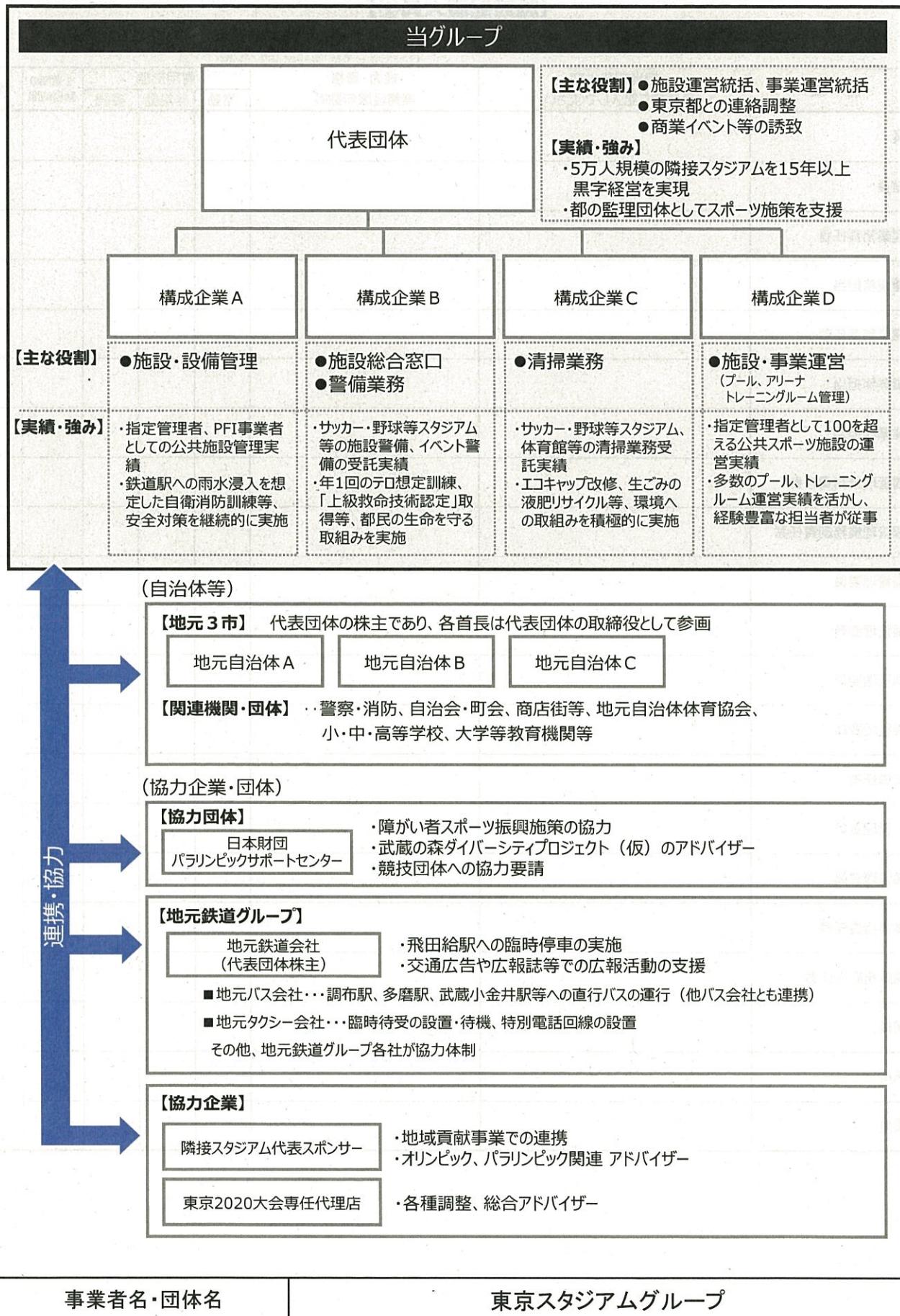
#### ■平成29年4月1日から建物管理を受託しており施設内容の習熟業務を開始

- 構成企業Aは、平成29年4月1日の業務開始時から当施設の建設工事会社より直接取扱い説明会を受講しており、各機器の操作方法及び取扱いに関する注意点をすでに習熟しています。その設備・警備要員については優先して配置します。
- 各機器の点検作業に対してもすでに作成している年間作業計画に基づき実施を開始しており、11月以降のスケジュールについても遅滞なく各種業務を遂行できる体制を構築しています。
- 初期故障に対する詳細内容の把握と建築工事会社との調整内容や修繕内容を熟知しており、日常管理における重点ポイントを把握した管理の実践を行います。
- 警備業務においてはITVカメラの位置関係をすでに把握し、映像に映りにくい箇所や死角になる箇所、トイレや更衣室等の位置等の施設の詳細を熟知しており、効率的で効果的な巡回ルートを策定しています。

事業者名・団体名	東京スタジアムグループ
----------	-------------

## 提案課題6 [組織及び人材] 1 効果的かつ効率的な執行体制の確保

### 3 具体的な運営体制(組織図と業務分担)



事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

提案課題 6 [組織及び人材] 1 効果的かつ効率的な執行体制の確保

**【施設配置人員①】**

施設配置人員	役 職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1週間の勤務時間	備 考
				常勤	非常勤	委託		
	館長							
	副館長							
	管理業務責任者							
	管理業務担当							
	事業業務責任者							
	事業業務担当							
	事業業務担当							
	設備管理業務責任者							
	設備管理業務副責任者							
	設備管理要員							
	設備管理要員							
	設備管理要員							
	設備管理要員							
	調整責任者							
	設備管理要員							
	設備管理要員							
	警備業務責任者							
	警備業務副責任者							
	警備員							
	警備員							
	警備員							

提案課題 6 [組織及び人材] 1 効果的かつ効率的な執行体制の確保

**【施設配置人員②】**

施設配置人員	役 職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1週間の勤務時間	備 考
				常勤	非常勤	委託		
受付係	受付係							
	清掃統括責任者							
	清掃業務責任者							
	清掃従事者							
	清掃従事者							
	プール運営業務責任者							
	トレーニングルーム運営業務責任者							
	プール運営業務副責任者							
	トレーニングルーム運営業務副責任者							
	プール監視員							
業務委託	トレーニングルーム指導員							
	自主事業（プール・トレーニングルーム）担当							
	監視・指導補助者							

●記入上の注意

- 1 職員一人ごとに記入してください。
- 2 「役職」については、体育施設を管理運営する上で必要と思われる役職（館長、警備員等）を記入してください。
- 3 「能力・資格・実務経験年数等」は、実際に配置する予定職員を想定の上、記入してください。
- 4 「雇用形態」については、該当に○を記入してください。
- 5 貴団体の本社等に本施設の管理にかかる人員を配置する場合は、「施設配置人員」欄の下部を利用して記入してください。
- 6 「業務委託」欄には、警備・受付等の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる場合に記入してください。

## 提案課題6〔組織及び人材〕 2 明確な責任体制の構築

**業務ごとに責任範囲を明確にした組織体制を構築し、確実かつ的確に業務を遂行します。**



- ①業務ごとにライン化した組織体制とし、責任範囲を明確化
- ②明確な責任分担に基づき、それぞれの責任者の指示・安全管理等のもと適切に業務を遂行

### 1 館長設置の考え方

#### ■施設の事業全体を統括する館長を設置

- 施設の事業全体を統括する館長のもと、業務ごとに責任範囲を明確にした組織体制を構築します。

### 2 各部門の責任者の役割及び位置づけ

#### ■明確な責任分担に基づく業務の遂行

- 各構成企業は明確な責任分担に基づき、それぞれの業務を統括する責任者が、担当者への作業指示、安全管理、部門間の調整等を行います。
- 責任者の役職及びその主な業務内容は、下記のとおりです。

〈各業務の責任者と主な業務内容〉

	役職名	所属	主な業務内容
施設運営統括・事業運営統括	館長	代表団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施設業務全般の責任者</li> </ul>
	副館長	代表団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館長の補佐</li> <li>・管理業務、事業業務の総括責任者</li> <li>・当グループ内の連絡調整責任者</li> <li>・地元市及び関係機関、連携・協力企業との連絡調整責任者</li> </ul>
	管理業務責任者	代表団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理業務の責任者</li> <li>・東京都との連絡調整</li> <li>・地元市及び関係機関との連絡調整</li> <li>・管理業務担当者への業務指示、指揮監督</li> </ul>
	事業業務責任者	代表団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業業務の責任者</li> <li>・連携・協力企業との連絡調整</li> <li>・事業業務担当者への業務指示、指揮監督</li> </ul>
施設・設備維持管理	設備管理業務責任者	構成企業 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備管理業務の責任者</li> <li>・隣接スタジアム設備・警備・清掃との調整指示</li> <li>・小規模修繕の検討及び実施</li> <li>・設備管理業務担当者への業務指示、指揮監督</li> </ul>
	警備業務責任者	構成企業 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警備業務の責任者</li> <li>・警備員・受付係ローテーションの調整</li> <li>・警備員・受付係への業務指示、指揮監督</li> </ul>
	清掃業務責任者	構成企業 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃業務の責任者</li> <li>・清掃従事者ローテーションの調整</li> <li>・清掃従事者への業務指示、指揮監督</li> </ul>
個人利用施設	プール運営業務責任者	構成企業 D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール運営業務の責任者</li> <li>・トレーニングルーム運営業務担当、自主事業担当との連絡調整</li> </ul>
	トレーニングルーム運営業務責任者	構成企業 D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングルーム運営業務の責任者</li> <li>・プール運営業務担当、自主事業担当との連絡調整</li> </ul>

事業者名・団体名

東京スタジアムグループ

## 公の施設にふさわしい適切な勤務体制を構築し、高い業務品質を確保します。



- ①適切な勤務ローテーションによる業務品質の確保
- ②労働環境に関する法令等の遵守
- ③複数担当者制、応援体制の確保による柔軟な人員配置

### 1 勤務ローテーションの運用上のポイントや特徴

#### 【適切な勤務体制の構築】

##### ■ 適切な勤務ローテーションと業務品質の確保

- 次ページ以降のローテーション表のとおり、業務ごとに無理のない勤務ローテーションを組みます。これにより職員の業務品質を確保し、利用者に対して質の高いサービスを提供できるようにします。
- 施設内イベント等の情報は全員に周知徹底し、勤務しているメンバーで対応可能な体制をとります。

##### ■ トラブルや事故への迅速かつ適切な対応

- 万一、トラブルや事故が起きた場合でも迅速かつ適切に対応できるよう、開館時間中は代表団体の責任者を必ず1名以上配置する等、即時対応可能な体制を整備します。
- 施設・設備管理業務では、24時間常に担当者が常駐し、設備管理と保守を行います。
- 警備業務では、365日必ず正社員を配置し、責任ある警備体制を維持します。
- 清掃業務では、開館時間中すべての時間帯にスタッフを配置し、巡回清掃を行います。
- プール、トレーニングルーム運営業務では、開館時間中は必ず正社員を配置し、アルバイト職員のみで対応する時間帯がない体制をとります。

##### ■ 関係法令等の遵守

- 関係法令等を遵守し、適正な勤務時間の設定及び有給休暇の付与を行います。

#### 【人員配置の最適化】

##### ■ 複数担当者による効率的な組織体制の構築

- 業務ごとのメイン担当者の他にサブ担当者を置くことで、互いの業務を補いながら、繁忙時や緊急時には協力して業務にあたる等、適切な対応を行います。

##### ■ 応援体制の確保による柔軟な人員配置

- 世界大会等の大規模大会開催時等、規模が大きくなることが予想される場合においては、本社や他事業所からの応援スタッフ、非常勤・臨時雇用等の活用により、必要な人員を確保します。
- 必要に応じて隣接スタジアムの経験豊富なスタッフの応援を仰ぐことで、実績と規模を活かした安心・安全な対応を行うことが可能です。

##### ■ 多様な利用者への配慮

- 年齢、性別、障がいの有無等、ありとあらゆる利用者が施設を利用することを考慮し、清掃、警備・巡回等にあたっては、それぞれの利用者の立場に立った人員配置・研修に努めます。

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

管理業務、事業業務

	役職等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
1	館長																															
2	副館長																															
3	管理業務責任者																															
4	管理業務担当																															
5	事業業務責任者																															
6	事業業務担当																															
7	事業業務担当																															
8	事業業務担当																															
9	事業業務担当																															
10	事業業務担当																															

提案課題6 [組織及び人材] 3 適切な勤務体制等

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

施設・設備管理業務		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																						
	役職等	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1	設備管理業務責任者																							
2	設備管理業務副責任者																							
3	設備管理要員																							
4	設備管理要員																							
5	設備管理要員																							
6	設備管理要員																							
7	設備管理要員（非常勤）																							
8	設備管理要員（非常勤）																							
9	設備管理要員（非常勤）																							
10																								

提案課題6〔組織及び人材〕 3 適切な勤務体制等

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

警備・受付業務		役職等																															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
1	警備業務責任者（常勤）																																
2	警備副業務責任者（常勤）																																
3	警備員（常勤）																																
4	警備員（常勤）																																
5	警備員（非常勤）																																
6	警備員（非常勤）																																
7	警備員（非常勤）																																
8	警備員（非常勤）																																
9	警備員（非常勤）																																
10	警備員（非常勤）																																
11	受付係（非常勤）																																
12	受付係（非常勤）																																
13	受付係（非常勤）																																
14	受付係（非常勤）																																
15	受付係（非常勤）																																
16	受付係（非常勤）																																
17																																	
18																																	

武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

提案課題6 [組織及び人材] 3 適切な勤務体制等

清掃業務

役職等	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																								
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
1 清掃統括責任者																									
2 清掃業務責任者																									
3 清掃従事者																									
4 清掃従事者																									
5 清掃従事者																									
6 清掃従事者																									
7 清掃従事者																									
8 清掃従事者																									
9 清掃従事者																									
10 清掃従事者																									
11 清掃従事者																									
12 清掃従事者																									
13 清掃従事者																									
14 清掃従事者																									
15 清掃従事者																									
16 清掃従事者																									
17 清掃従事者																									
18 清掃従事者																									
19 清掃従事者																									
20 清掃従事者																									
21 清掃従事者																									
22 清掃従事者																									
23 清掃従事者																									
24 清掃従事者																									
25 清掃従事者																									

### 提案課題6 [組織及び人材] 3 適切な勤務体制等

1/3

## 武蔵野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

**施設・事業運営業務**（プール、トレーニングルーム、アリーナ）

提案課題6 [組織及び人材] 3 適切な勤務体制等

2/3

武藏野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

役職等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	月	火	水	木	金	土	日	火	水	木	金	土	日	火	水	木	金	土	日	火	水	木	金	土	日	火	水	木	金	土	日	火	水
19 監視・指導補助者																																	
20 監視・指導補助者																																	
21 監視・指導補助者																																	
22 監視・指導補助者																																	
23 監視・指導補助者																																	
24 監視・指導補助者																																	
25 監視・指導補助者																																	
26 監視・指導補助者																																	
27 監視・指導補助者																																	
28 監視・指導補助者																																	
29 監視・指導補助者																																	
30 監視・指導補助者																																	
31 監視・指導補助者																																	
32 監視・指導補助者																																	
33 監視・指導補助者																																	
34 監視・指導補助者																																	

提案課題6〔組織及び人材〕 3 適切な勤務体制等

3/3

武藏野の森総合スポーツプラザ1か月分の勤務ローテーション表

役職等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
35 監視・指導補助者																															
36 監視・指導補助者																															
37 監視・指導補助者																															
38 監視・指導補助者																															
39 監視・指導補助者																															
40 監視・指導補助者																															
41 監視・指導補助者																															
42 監視・指導補助者																															
43 監視・指導補助者																															
44 監視・指導補助者																															
45 監視・指導補助者																															
46 監視・指導補助者																															
47 監視・指導補助者																															
48 監視・指導補助者																															
49 監視・指導補助者																															
50 監視・指導補助者																															
51 監視・指導補助者																															
52 監視・指導補助者																															
53 監視・指導補助者																															
54 監視・指導補助者																															
55 監視・指導補助者																															
56 監視・指導補助者																															

## 提案課題6 [組織及び人材] 4 人材育成の取組み

ダイバーシティの理念を発信していくため、東京2020大会等を見据えた多言語対応が可能な人材の育成とともに、障がい者への理解・障がい者スポーツを指導できる人材育成にも取り組みます。



- ①多言語対応に向けた外国語研修制度の実施
- ②障がい者や障がい者スポーツに関する研修制度の実施
- ③資格取得の奨励によりスタッフの自主的なスキルアップを支援

### 1 施設を運営管理する人材の具体的な育成方針

- 東京2020大会会場であり、訪日来場者の増加も予想されることから、外国人講師を招聘しての英会話研修を実施する等、多言語対応ができる人材育成への取組みを行います。
- 障がい者スポーツの振興を図るために、スタッフ全員に障がい者や障がい者スポーツへの理解を促進し、ダイバーシティへの意識を高める研修制度を実施します。

### 2 計画及び取組み内容

#### 【東京2020大会等を見据えた人材育成】

##### ■ 東京2020大会等に向けた多言語対応研修

- 東京2020大会並びにそのテストイベント等においては、外国人来場者の増加が予想されることから、代表団体が外国人講師を招聘して実施している英会話研修を引き続き実施する等、多言語対応研修を実施します。

##### ■ 幅広い利用者への対応に関する人材育成

- 子供から高齢者、障がい者といったありとあらゆる都民が利用する当施設において必要な知識を、スタッフ全員に根づかせるため、ダイバーシティの専門家を招いた研修を行います。

#### 【スタッフの能力開発支援】

##### ■ 新入職員への研修

- 都のスポーツ振興を担う公の施設の運営に欠かせない、法令遵守、接遇、都のスポーツ推進計画等の基礎知識を習得させます。

##### ■ 大型イベントへの対応体制の強化

- 開館当初は、隣接スタジアムでの大型イベント等を運営しているベテランスタッフの受け入れやサポートを行い、円滑に運営を行うとともに、今後多数開催される大型イベントでも対応可能なスタッフを育成し、万全な体制を築きます。

##### ■ 業務上必要な研修・講習の受講

- 初級障がい者スポーツ指導員養成研修を受講し、指導員資格認定者を増やすことで障がい者のより一層の利用に対応します。
- 防火・防災管理講習、防災センター要員講習等、業務上必要となる講習等については、業務に支障をきたすことのないよう、対象となるスタッフに確実に受講させます。

##### ■ 外部研修・資格取得への奨励

- スタッフの自主的なスキルアップ等を促進するため、受講料補助等による支援を通じ、外部の研修や講座への参加を積極的に奨励します。
- さらに、資格取得に対する補助制度についても実施します。



社内研修・講習会の様子

事業者名・団体名
----------

東京スタジアムグループ
-------------

提案課題6〔組織及び人材〕4 人材育成の取組み

〈人材育成計画〉

対象	研修名	研修内容	回数
共通	新任研修	・本施設着任における基礎事項の研修	隨時
	接遇研修	・接遇の心構え ・障がい者対応時の心構え	年1回
	総合防災訓練	・観客1万人の避難を想定した避難誘導訓練 ・消火器による消火訓練	年2回
	救命講習	・応急措置、心肺蘇生等の技能取得	年2回
	ダイバーシティ研修	・専門家を招いての講演、研修 ・最新の動向について学習	年1回
	障がい者スポーツ指導員養成研修	・障がい者スポーツの意義についての理解 ・スポーツ等を安全に楽しむための工夫	年1回
	個人情報保護	・個人情報の保護と情報セキュリティに関する研修 ・改正個人情報保護法に関する教育	隨時
	法令遵守対応	・コンプライアンス教育 ・当施設関連法令の確認	隨時
	環境対策	・環境問題に関する基礎 ・当施設省エネルギー設備の把握	隨時
	英会話研修	・外国人講師による英会話研修	隨時
プール運営担当職員	公共施設運営推進	・専門家を招いての講演、研修 ・都のスポーツ推進計画について学習	隨時
	ハウスマルール研修	・安全管理教育研修 ・プール監視研修	随时
	救助法研修	・AEDを用いた救命救助研修	随时
トレーニングルーム運営担当職員	セクション別スキルアップ研修	・監視マニュアルの教育	随时
	ハウスマルール研修	・安全管理教育研修 ・トレーニングルーム指導研修	随时
	救助法研修	・AEDを用いた救命救助研修	随时
	セクション別スキルアップ研修	・トレーニング指導マニュアルの教育	随时

事業者名・団体名

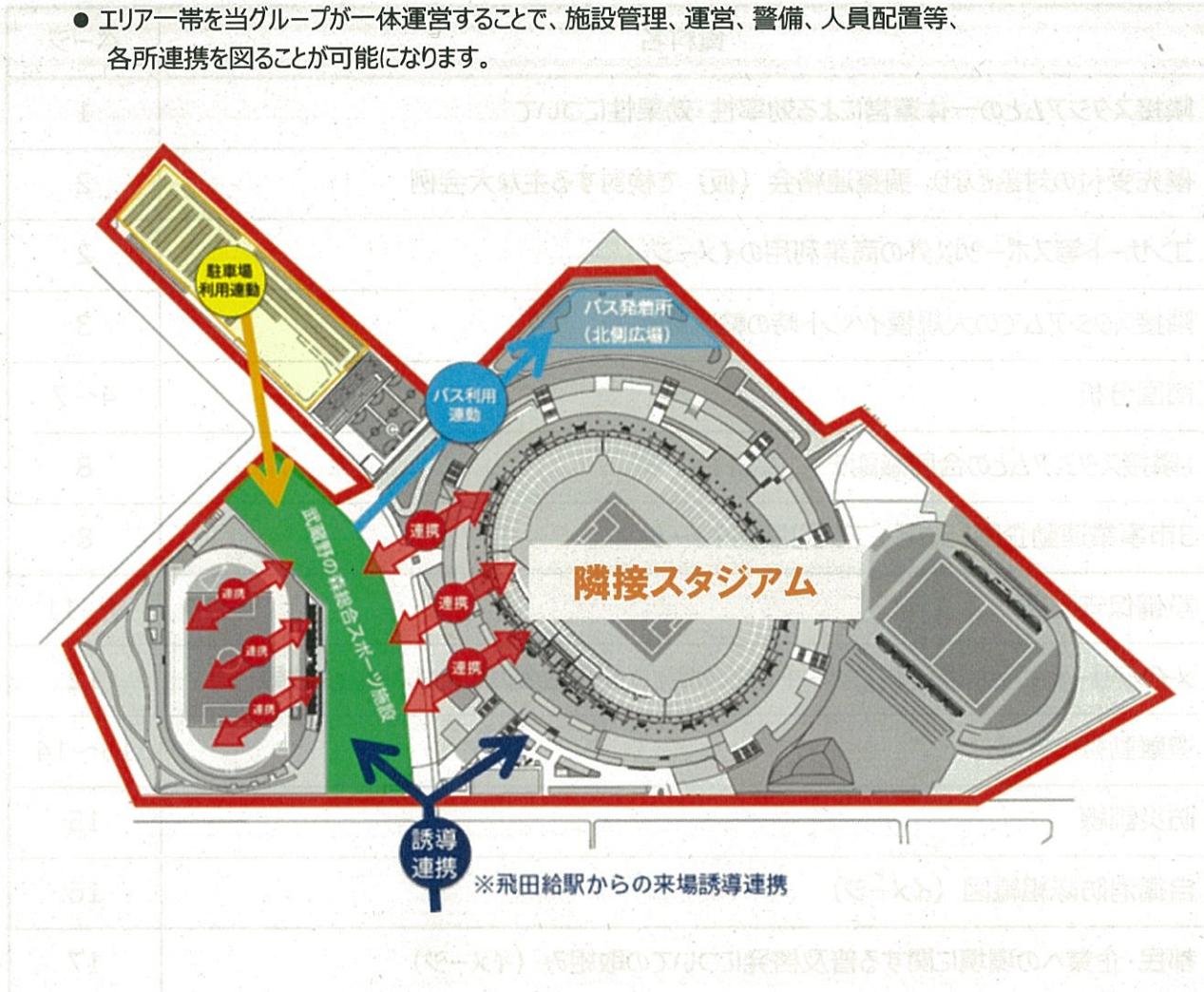
東京スタジアムグループ

## 添付資料(別添)一覧

資料名	ページ
隣接スタジアムとの一体運営による効率性・効果性について	1
優先受付の対象となり、調整連絡会（仮）で検討する主な大会例	2
コンサート等スポーツ以外の商業利用のイメージ	2
隣接スタジアムでの大規模イベント時の輸送体制例	3
商圈分析	4~7
「隣接スタジアムとの合同感謝デー」展開イメージ	8
3市事業運動企画「ラグビーブラザ」展開イメージ	8
設備保守計画	9~11
メインアリーナ1万人規模のコンサート時を想定した避難動線のシミュレーション結果	12
避難動線の状況	13~14
防災訓練	15
自衛消防隊組織図（イメージ）	16
都民・企業への環境に関する普及啓発についての取組み（イメージ）	17

### 【隣接スタジアムとの一体運営による効率性・効果性について】

- エリア一帯を当グループが一体運営することで、施設管理、運営、警備、人員配置等、各所連携を図ることが可能になります。



### 具体的な効果

1) コスト削減	研修や情報共有を含め、人材の共有による効率的な運営体制を構築していくことで、経費削減を図ります。
2) 警備・防災連携/一元管理	近隣消防とのスムーズな連携が可能になるとともに、両施設一体となった防災訓練等が実施可能となります。また両施設スタッフが緊急避難体制や情報を共有することで、安全性の高いオペレーションが可能となります。
3) 駐車場利用の連携	隣接スタジアム本体・北側駐車場を、アリーナイベント主催者へ案内することができるため、アリーナ駐車場不足を補完することが可能になります。
4) 来場者誘導連携	誘導人員を一元管理することで、スムーズな来場運営が出来ます。
5) バス発着所の共有と輸送体制	バス事業者との連絡窓口を一本化にすることができるとともに、発着スペースと当施設間のスムーズな誘導が可能になります。

**【優先受付の対象となり、調整連絡会（仮）で検討する主な大会例】**

各施設での主な実施大会

施設名	時期	大会名
東京体育館		
有明コロシアム		

**【コンサート等スポーツ以外の商業利用のイメージ】**

■ 既存実施会場からの移転誘致と実施規模の拡大を狙ったプロモート活動

■ 人気アーティストコンサート、プロレス興行等の誘致

(誘致コンテンツ想定)

■ 大型施設との連携を図った貸館事業

- ・ 東京ドーム、埼玉スタジアム、横浜アリーナ等の大型イベントやコンサートのリハーサル会場としてメインアリーナをセールスし、平日の利用促進を図ります。

■ 隣接スタジアムとの連携による貸館事業

- ・ 隣接スタジアムで実施する大型コンサートの控室利用等を促進します。

### 【隣接スタジアムでの大規模イベント時の輸送体制例】

輸送内容				当日対応
京王電鉄 (ダイヤ詳細下記)	開演前	下り	■急行系列車の臨時停車 新宿発11:07~15:40の特急・準特急：計28本	■当日の連絡先 ○スタジアム地下1階大会本部 1名常駐 ○駅窓口 飛田給駅  ※基本的に、大会運営本部の方が窓口
	終演後	下り	■急行系列車の臨時停車 飛田給発20:17~22:18の特急・準特急：計13本	
	終演後	上り	■急行系列車の臨時停車 飛田給発20:12~22:34の特急・準特急：計16本	
小田急バス	開演前	<JR中央線方面から> ■武藏境駅（南北3番のりば付近） 輸送間隔：約15分 所要時間：約15分 輸送時間：13:00 (~15:00) 運賃：おとな 現金220円/IC 216円 ごども 現金110円/IC 108円		■当日の連絡先 ○武藏境営業所（三鷹・武蔵境・多磨駅方面） ○吉祥寺営業所（吉祥寺駅方面） ○狛江営業所（狛江駅方面） ○本社・運輸部営業課
	終演後	<小田急線方面から> ■狛江駅（北口2番のりば） 輸送間隔：約30分 所要時間：約20分 輸送時間：13:00~ (~15:00) 運賃：おとな 現金220円/IC 216円 ごども 現金110円/IC 108円 <西武多摩川線方面から> ■多磨駅（駅前のりば） 輸送間隔：約15分 所要時間：約6分 輸送時間：12:30 (~15:00) 運賃：おとな 現金210円/IC206円 ごども 現金110円/IC103円		
京王バス	開演前	<西武多摩川線方面・JR中央線方面・小田急線方面へ> ■調布駅、武藏境駅、吉祥寺駅（※終演後の分）、狛江駅 各方面ヘッドマーク運行 (各方面とも、スタジアム北側シャトルバス乗降場、4~7番のりば) ※多磨駅行きは京王バスと共同運行		■当日の連絡先 ○調布営業所（調布・多磨・新宿駅方面） ○府中営業所（武藏小金井駅方面）
	終演後	<京王線方面から> ■調布駅（北口1・2番のりば） 輸送間隔：約15分 所要時間：約10分 輸送時間：12:30 (~15:00) 運賃：おとな 現金210円/IC206円 ごども 現金110円/IC103円		
	終演後	<西武多摩川線方面から> ■多磨駅（駅前のりば） 輸送間隔：約15分 所要時間：約6分 輸送時間：12:30 (~15:00) 運賃：おとな 現金210円/IC206円 ごども 現金110円/IC103円 ※多磨駅行きは小田急バスと共同運行		
タクシー各社	終演後	■終演時よりタクシー乗り場にて待機 輸送：随時可能 ※終演後、タクシー事業者側でお客様待機列対応として、10名前後の現場配備あり		■当日の連絡先(京王自動車) ○調布中央営業所

\*上記の運行計画は予定であり、予告なく変更される場合があります。

\*詳細については、各事業者にお問い合わせ下さい。

＜京王線・飛田給駅 臨時停車時刻表＞

開始前											
下り											
11時台			12時台			13時台			14時台		
種別	新宿発	飛田給着									
			特急	12:00	12:17	特急	13:00	13:17	特急	14:00	14:17
準特急	11:07	11:26	準特急	12:07	12:26	準特急	13:07	13:26	準特急	14:07	14:26
特急	11:20	11:37	特急	12:20	12:37	特急	13:20	13:37	特急	14:20	14:37
準特急	11:27	11:46	準特急	12:27	12:46	準特急	13:27	13:46	準特急	14:27	14:46
特急	11:40	11:57	特急	12:40	12:57	特急	13:40	13:57	特急	14:40	14:57
準特急	11:47	12:06	準特急	12:47	13:06	準特急	13:47	14:06	準特急	14:47	15:06

終了後					
下り					
20時台		21時台		22時台	
種別	飛田給発	種別	飛田給発	種別	飛田給発
		準特急	21:07	特急	22:08
特急	20:17	特急	21:17	特急	22:18
準特急	20:27	準特急	21:27		
特急	20:37	特急	21:37		
準特急	20:47	準特急	21:47		
特急	20:57	特急	21:57		

終了後					
上り					
20時台		21時台		22時台	
種別	飛田給発	種別	飛田給発	種別	飛田給発
		準特急	21:02	特急	22:10
		特急	21:12	※準特急	22:12
特急	20:12	準特急	21:22	特急	22:21
準特急	20:22	特急	21:33	特急	22:34
特急	20:32	準特急	21:44		
準特急	20:42	特急	21:57		
特急	20:52	※準特急	21:59		

※…飛田給始発の臨時列車

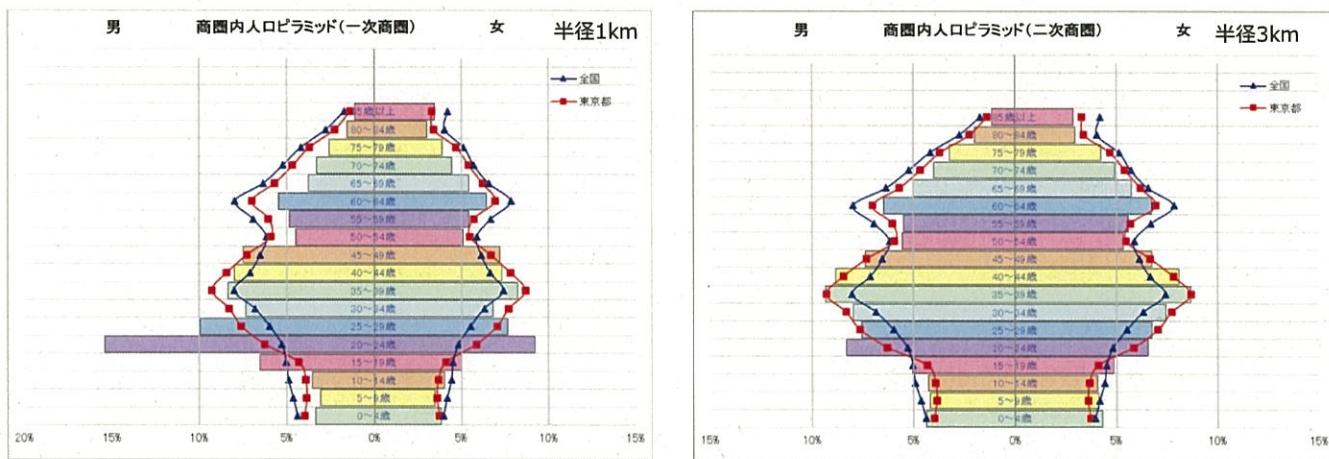
### 【商圏分析】

- 1次商圏では20代単身者の就業者が特に多く、2次商圏では30代中心のファミリー層が多い。

1次2次ともに所得も高く、ニーズを満たすことでの収益ポテンシャルはある

- ・1次商圏（半径1km内）における20代、特に20代前半の人口比率が男女ともに高い。  
次いで30代、40代の人口ボリュームが大きく、20-49歳で全人口の52%ほど（都：45%、全国38%）
- ・1次商圏は単身世帯が58%も占めるが（都：45%、全国：32%）、2次商圏（半径3km内）ではファミリー世帯が比較的多く33%ほど占める（都：30%、全国40%）
- ・その他、商圏内人口における就業者比率は、1次商圏で53%、2次商圏で48%と高い（都：46%）。  
所得も、年収500～1000万円未満の層が37%もあり、2次商圏でも36%ほど高い（都32%）。

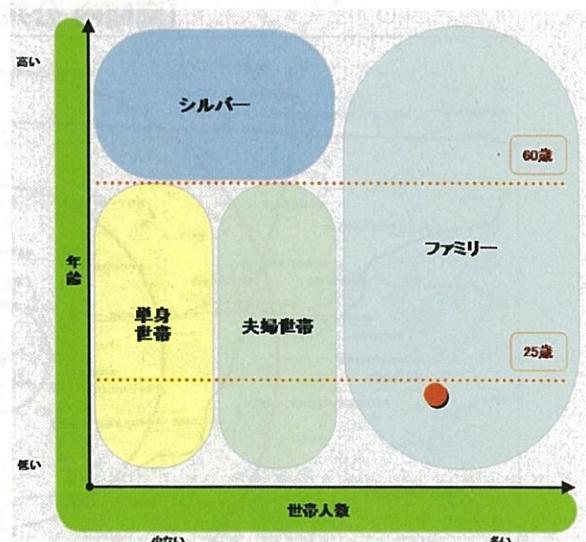
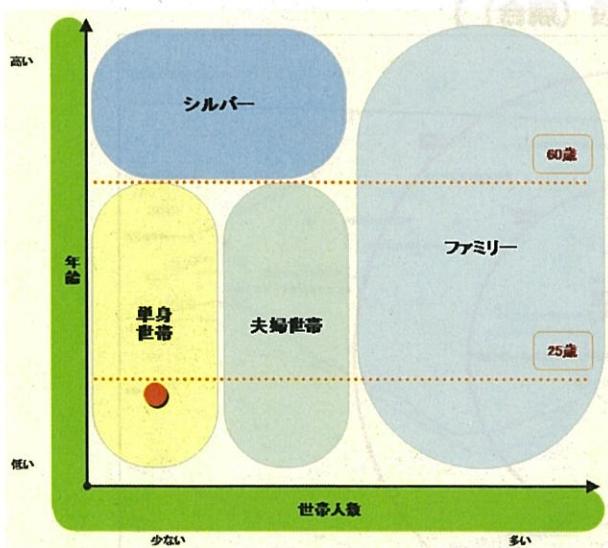
### 【商圏内人口ピラミッド】



### 【東京都と比較した場合の世帯特徴】

[東京都]と比較した場合の[武蔵野の森総合スポーツ施設1次商圏]の特徴

[東京都]と比較した場合の[武蔵野の森総合スポーツ施設2次商圏]の特徴

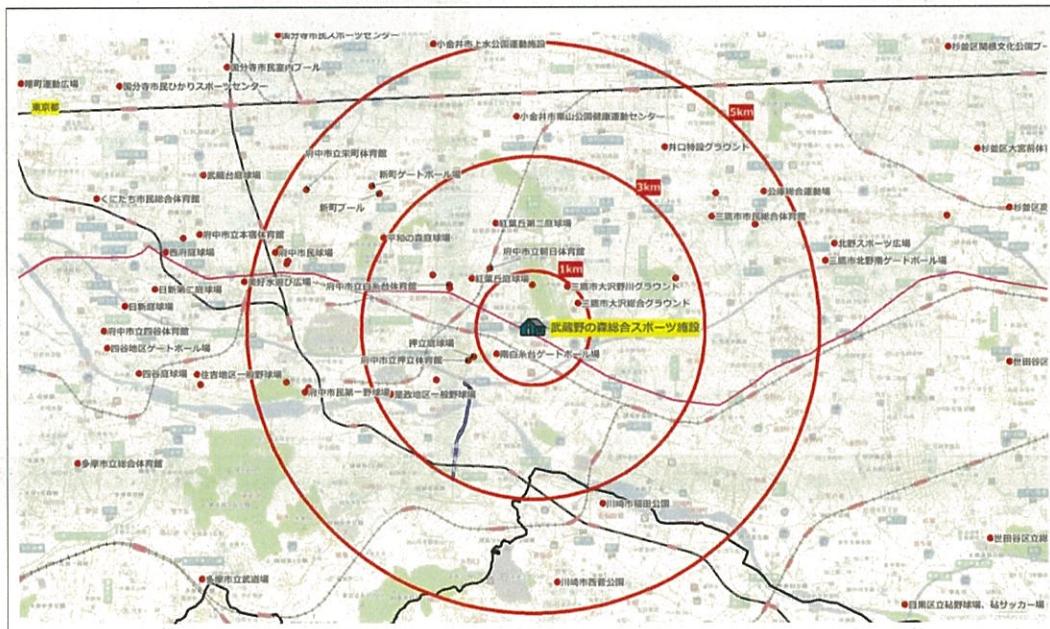


【商圈分析】

- 調布方面に民間施設の競合施設（スポーツクラブ）があり、府中・押立方面に公共施設の競合施設（体育館）がある模様
  - 交通の便も考慮する必要あるが、競合施設の位置関係上、2次商圈の需要をとり込める余地はある
    - ・民間施設で競合となる施設は一次商圈ではなく、2次商圈へ広げても調布にある 施設のみ
    - ・2次商圈内の競合施設は、  
　公共施設で競合となる施設は一次商圈ではなく、2次商圈へ広げると府中・押立方面にある3体育館。
    - ・2次商圈内の競合施設は、府中市立朝日体育館、府中市立白糸台体育館、府中市立押立体育館。

## 【商圈內 民間施設（競合）】

### 【商圈內 公共施設（競合）】



## 【商圈分析】

商圈内人口	武蔵野の森総合スポーツ施設						比較基準1			比較基準2		
	1次商圈			2次商圈			3次商圈			東京都		
	実数(人)	比率	東京都 差分	全国 差分	実数(人)	比率	東京都 差分	全国 差分	実数(人)	比率	実数(人)	比率
人口	22,460	—			226,345	—	752,655	—	12,969,827	—	127,080,929	—
0~9歳	1,533	6.8%	-0.8%	-1.7%	19,237	8.5%	0.9%	-0.1%	62,636	8.3%	984,572	7.6%
10~19歳	2,156	9.6%	-1.6%	0.2%	20,682	9.1%	1.1%	-0.3%	67,001	8.9%	1,039,372	8.0%
20~29歳	4,822	21.5%	8.1%	10.7%	33,007	14.6%	1.2%	3.8%	107,245	14.2%	1,735,265	13.4%
30~39歳	3,459	15.4%	-1.6%	1.1%	37,790	16.7%	-0.3%	2.4%	127,397	16.9%	-0.1%	2.7%
40~49歳	3,379	15.0%	-0.1%	1.8%	35,111	15.5%	0.4%	2.3%	117,079	15.6%	0.5%	2.4%
50~59歳	2,217	9.9%	-1.7%	-3.0%	24,875	11.0%	-0.6%	-1.8%	85,095	11.3%	-0.3%	-1.5%
60~69歳	2,339	10.4%	-2.5%	-3.9%	27,053	12.0%	-1.0%	-2.4%	88,172	11.7%	-1.2%	-2.6%
70歳以上	2,555	11.4%	-3.0%	-5.2%	28,590	12.6%	-1.8%	-3.9%	98,030	13.0%	-1.4%	-3.5%
女性人口	10,256	—			110,626	—			374,346	—		
0~9歳	751	3.3%	-0.4%	-0.8%	9,322	4.1%	0.4%	-0.1%	30,514	4.1%	0.3%	-0.1%
10~19歳	924	4.1%	0.2%	-0.5%	9,877	4.4%	0.4%	-0.2%	32,560	4.3%	0.4%	-0.3%
20~29歳	1,727	7.7%	1.2%	2.4%	14,693	6.5%	0.0%	1.2%	50,377	6.7%	0.2%	1.4%
30~39歳	1,544	6.9%	-1.4%	-0.2%	17,810	7.9%	-0.4%	0.8%	61,063	8.1%	-0.2%	1.1%
40~49歳	1,488	6.6%	-0.7%	0.1%	16,400	7.2%	-0.1%	0.7%	55,430	7.4%	0.0%	0.8%
50~59歳	1,080	4.8%	-0.8%	-1.7%	12,095	5.3%	-0.3%	-1.1%	41,516	5.5%	-0.1%	-0.9%
60~69歳	1,220	5.4%	-1.2%	-2.0%	13,802	6.1%	-0.6%	-1.3%	45,346	6.0%	-0.6%	-1.4%
70歳以上	1,522	6.8%	-1.7%	-3.0%	16,627	7.3%	-1.2%	-2.5%	57,540	7.6%	-0.9%	-2.2%
住宅	実数(世帯)	比率			実数(世帯)	比率			実数(世帯)	比率	実数(世帯)	比率
一戸建世帯	2,801	23.1%	-6.2%	-30.9%	35,968	33.7%	4.4%	-20.4%	107,586	30.2%	1.0%	-23.8%
長屋建世帯	197	1.6%	0.3%	-0.8%	1,933	1.8%	0.5%	-0.7%	5,862	1.6%	0.3%	-0.8%
共同住宅世帯	6,658	54.9%	-10.9%	-14.5%	64,435	60.3%	-5.6%	19.8%	232,975	65.5%	-0.4%	25.0%
その他	20,3%	16.8%	17.3%	4.2%	0.7%	1.2%	2.6%	-0.4%	2,616	-0.4%	-0.4%	3.0%

## 【商圈分析】

世帯数	武藏野の森総合スポーツ施設						比較基準2								
	1次商圈			2次商圈			3次商圈			東京都			全国		
	実数(世帯)	東京都 差分	比率	実数(世帯)	東京都 差分	比率	実数(世帯)	東京都 差分	比率	実数(世帯)	東京都 差分	比率	実数(世帯)	比率	
世帯数	12,119	—	106,368	—	355,736	—	6,393,768	—	—	51,950,504	—	—	51,950,504	—	
世帯数	7,019	57.9%	25.6%	46,963	43.9%	-1.8%	11.6%	-2.4%	11.0%	2,922,488	45.7%	16,784,507	32.3%		
1人世帯	2,163	17.8%	-6.5%	24,905	23.3%	-1.1%	-3.9%	-0.1%	-2.9%	1,557,863	24.4%	14,125,840	27.2%		
2人世帯	1,446	11.9%	-3.1%	17,266	16.2%	-1.1%	-2.0%	16.1%	1.0%	963,448	15.1%	9,421,831	18.1%		
3人世帯	1,131	9.3%	-1.7%	13,231	12.4%	-1.3%	-2.0%	44,205	12.4%	1.3%	-1.9%	708,543	11.1%	7,460,339	14.4%
4人以上世帯	337	2.8%	-0.8%	4,195	3.9%	0.3%	-3.9%	13,276	3.7%	0.1%	-4.1%	229,907	3.6%	4,049,790	7.8%
持ち家世帯	3,993	32.9%	-12.8%	50,344	47.1%	-1.3%	-13.7%	159,751	44.9%	-0.9%	-15.9%	2,927,775	45.8%	31,594,379	60.8%
核家族世帯	4,579	37.8%	-10.4%	53,919	50.5%	2.3%	-5.8%	182,860	51.4%	3.2%	-4.8%	3,078,360	48.2%	29,206,899	56.2%
6歳未満のいる世帯	756	6.2%	-1.2%	9,283	8.7%	1.3%	-0.7%	30,216	8.5%	1.1%	-0.9%	473,941	7.4%	4,877,321	9.4%
65歳以上のいる世帯	2,354	19.4%	-9.3%	27,655	25.9%	-2.9%	-11.3%	93,485	26.3%	-2.5%	-10.9%	1,837,074	28.7%	19,337,687	37.2%
就業者	有職女性率	—	35.7%	-6.7%	-7.1%	—	39.9%	-2.5%	-2.9%	—	41.0%	-1.4%	-1.8%	—	
人口(総人口対比)	11,945	53.2%	6.8%	6,316	108,236	47.8%	1.4%	0.9%	351,183	46.7%	0.2%	-0.2%	6,020,830	46.4%	
女性(総人口対比)	4,269	19.0%	-0.7%	-1.1%	43,237	19.1%	0.6%	-1.0%	144,155	19.2%	-0.5%	-0.9%	2,555,359	19.7%	
1次産業	77	0.6%	0.3%	-3.4%	901	0.8%	0.5%	-3.2%	2,437	0.7%	0.3%	-3.3%	22,477	0.4%	
2次産業	1,462	12.2%	-2.9%	-11.5%	16,318	15.1%	-0.1%	-8.6%	52,079	14.8%	-0.4%	-8.9%	914,245	15.2%	
3次産業	9,343	78.2%	7.4%	11.7%	79,355	73.3%	2.5%	6.8%	258,045	73.5%	2.7%	7.0%	4,263,082	70.8%	
所得	年収300万円未満	3,154	26.1%	-8.5%	28,924	27.1%	-2.1%	-7.4%	101,952	28.7%	-0.5%	-5.8%	1,867,384	29.3%	
年収300~500万円未満	3,183	26.3%	-0.6%	-0.9%	27,163	25.5%	-1.5%	-1.7%	89,386	25.2%	-1.8%	-2.0%	1,720,202	27.0%	
年収500~700万円未満	2,256	18.7%	1.4%	1.9%	19,481	18.3%	1.1%	1.5%	62,704	17.7%	0.4%	0.9%	1,099,626	17.2%	
年収700~1000万円未満	2,234	18.5%	3.1%	4.5%	18,744	17.6%	2.2%	3.7%	60,374	17.0%	1.7%	3.1%	979,219	15.3%	
年収1000万円以上	1,269	10.5%	-0.7%	3.0%	12,248	11.5%	0.3%	4.0%	40,641	11.4%	0.2%	3.9%	715,608	11.2%	

## 【「隣接スタジアムとの合同感謝デー」展開イメージ】

場所	目的	内容
メイン アリーナ	障がい者スポーツ振興 競技認知度向上	▷車椅子バスケットボール体験会 ⇒日本車椅子バスケットボール連盟の協力のもと体験会を展開
		▷ブラインドサッカー体験会 ⇒日本ブラインドサッカー協会の協力のもと体験会を展開
サブ アリーナ	競技認知度向上	▷はじめての格闘技教室 ⇒キックボクシング元世界王者・ <b>氏</b> をはじめとする 格闘技選手によるキックボクシングや空手等の初心者向け格闘技教室を展開
カフェ スペース	スポーツ栄養プログラムの 認知度向上	▷「 <b>J*</b> 教室 *世界で勝ったためのスポーツ栄養プログラム ⇒教室を展開。講師に元競泳の日本代表・ <b>氏</b> 等を招待
多目的 スペース		▷企業PRパネル展 ⇒「J」や企業活動を紹介するパネル展を展開
プール	競技認知度向上	▷元日本代表に教わる水泳教室 ⇒元競泳の日本代表・ <b>氏</b> （教室講師）等による水泳教室を展開
コンコース	大会機運醸成 競技認知度向上	▷ラグビー2019開催都市グルメパーク ⇒開催都市のグルメを販売するケータリングカーを出展
隣接陸上 競技場		▷ラグビーパーク ⇒ラグビーの体験コーナーやタグラグビーチェア、ラグビーを楽しく見るための 観戦講座等を実施し、ラグビー色のコンテンツを展開

## 【隣接スタジアム本体】

例年行っているステージコンテンツ・地元PRブース・スポーツ体験・天然芝体験等に加え、大規模なフリーマーケットを展開することを予定



## 【3市事業連動企画「ラグビープラザ」展開イメージ】

## 【武藏野の森総合スポーツプラザ】

会議室や各アリーナ等を活用し、ラグビー2019機運醸成につながるイベントを展開。  
2つのイベントを連動させ、シナジー効果の高いイベントを実現



場所	目的	内容
メイン アリーナ	障がい者スポーツ振興 競技認知度向上	▷ウイルチェアーラグビーチェア体験会 ⇒協会様等にご協力いただき、パラリンピック競技を体験会を展開
		▷初心者集まれ！タグラグビーチェア体験会 ⇒事前応募等いらず年齢制限等もない、タグラグビーチェア体験を展開
		▷みんなでやろう！ストリートラグビーチェア体験会 ⇒タックルがなくタッチ方式のラグビーで、 子供や女性も安全に参加できるラグビーチェア体験を展開
		▷タックルで倒せ！人間ボーリング ⇒高さ3.5mのエアーでできたボーリングピンを使い、 バンパーを着用しタックルして何本倒せるかに挑戦する機会を提供
		▷ラグビータウンミーティング ⇒現役orOB選手と実際に意見交換等をするディスカッションを実施
		▷ラグビー2019開催都市パネル展 ⇒開催都市を紹介するパネル展を展開
		▷ラグビー初心者観戦講座 ⇒現役orOB選手に楽しくラグビーを観戦するポイントを教えてもらう講座を展開
サブ アリーナ	大会機運醸成 競技認知度向上	▷ラグビー2019開催都市グルメパーク ⇒開催都市のグルメを販売するケータリングカーを出展
カフェ スペース		
多目的 スペース		
会議室		
コンコース		

## 【隣接陸上競技場：ラグビーフェスティバル】

例年行っているラグビーアトラクションパーク・ステージコンテンツ・各市PR  
ブース・飲食出展・小学生タグラグビーチェア・エキシビションマッチ等を展  
開することを予定します。



## 添付資料

### 提案課題4【施設の管理その他に関する業務】

#### 1 施設の管理に関する業務等

##### (1) 施設、設備及び物品の維持管理

#### 【設備保守計画】

##### ■「東京都維持保全業務仕様書」に基づく点検・保守の実施

- 開業当初から6ヶ月はメーカー保証期間のため、設備の点検は大幅に減らし、費用を削減します。
- 機器の使用年数に応じ、耐用年数を踏まえて点検周期を短くしていきます。大型映像装置、舞台照明、音響設備、中央監視装置等は保守部品枯渇までできる限り継続して使用します。
- 一方で、設備機器の適切なオーバーホールを実施し、長期的な保全を図ります。

[設備保守計画 (1/3) ]

種別	No.	点検項目	点検種類	点検回数
電気設備	1-1	受変電設備月次巡回点検（高圧設備）	月次点検	年 12 回
	1-2	受変電設備年次保守点検（高圧設備）	年次点検	年 1 回
	1-3	分電盤設備月次巡回点検	月次点検	年 12 回
	1-4	分電盤設備年次保守点検	年次点検	年 1 回
	1-5	防災用発電機月次点検	月次点検	年 12 回
	1-6	防災用発電機年次保守点検	年次点検	年 1 回
	1-7	燃料小出槽	月次点検	年 12 回
	1-8	地下貯蔵タンク定期点検	定期点検	年 1 回
	1-9	直流電源装置月次巡回点検	月次点検	年 12 回
	1-10	直流電源装置年次保守点検	年次点検	年 1 回
	1-11	無停電電源装置（UPS）	定期点検	年 1 回
	1-12	中央監視制御設備	定期点検	年 1 回
	1-13	電力監視表示機	定期点検	年 1 回
	1-14	中継・構内情報設備点検	定期点検	年 2 回
	1-15	電話・情報設備点検	定期点検	年 2 回
	1-16	電波時計設備	定期点検	年 2 回
	1-17	ローカル映像・音響設備	定期点検	年 2 回
	1-18	照明制御設備	定期点検	年 1 回
	1-19	駐車場管制設備	定期点検	年 3 回
	1-20	監視カメラ（ITV）設備	定期点検	年 2 回
	1-21	入退室管理設備	定期点検	年 2 回
	1-22	太陽光発電設備	年次点検	年 1 回
	1-23	大型映像設備	定期点検	年 1 回
	1-24	屋外灯光器	定期点検	年 1 回
	1-25	避雷設備	定期点検	年 1 回
	1-26	テレビ共聴設備	定期点検	年 2 回
	1-27	インターホン設備	定期点検	年 2 回
	1-28	トイレ呼出表示装置	定期点検	年 2 回
	1-29	音声ガイドシステム	定期点検	年 2 回
消防設備	2-1	消防用設備等定期点検	定期点検	年 2 回
	2-2	防火対象物定期点検	年次点検	年 1 回
空調設備	3-1	直焚き吸式冷温水発生機点検	定期点検	年 5 回
	3-2	コージェネレーション発電機	定期点検	年 2 回
	3-3	冷却塔点検	定期点検	年 12 回
	3-4	冷却塔清掃	定期点検	年 4 回
	3-5	各種空調熱交換器点検	月次点検	年 12 回
	3-6	各種熱源用ポンプ点検	月次点検	年 12 回
	3-7	薬品注入装置	月次点検	年 12 回
	3-8	膨張タンク点検	月次点検	年 12 回
	3-9	密閉式膨張タンク点検	月次点検	年 12 回
	3-10	ファンコイルユニット点検	定期点検	年 2 回
	3-11	エアーハンドリングユニット点検	定期点検	年 2 回
	3-12	フィルター清掃業務	定期点検	年 4 回
	3-13	加湿機器点検	定期点検	年 2 回
	3-14	全熱交換器点検	定期点検	年 2 回
	3-15	デシカント空調機	定期点検	年 1 回

## 添付資料

## ：提案課題4【施設の管理その他に関する業務】

## 1 施設の管理に関する業務等

## (1) 施設、設備及び物品の維持管理

## 【設備保守計画】

## [設備保守計画(2/3)]

種別	No.	点検項目	点検種類	点検回数
空調設備	3-16	フィルタユニット点検	定期点検	年2回
	3-17	給排気ファン点検	定期点検	年1回
	3-18	排煙機点検	定期点検	年2回
	3-19	電気式ヒートポンプ	定期点検	年1回
	3-20	ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	定期点検	年1回
	3-21	電気ヒーター	定期点検	年2回
	3-22	変風量装置点検(VAV)	定期点検	年1回
	3-23	太陽熱利用空調設備点検	定期点検	年2回
	3-24	床暖房設備点検	定期点検	年1回
	3-25	デジタルサイネージ	定期点検	年2回
	3-26	自動制御設備	定期点検	年2回
	3-27	太陽熱収集直焚き吸収冷温水機点検	定期点検	年5回
	3-28	ユニット型複合剤用薬注装置点検	定期点検	年4回
	3-29	エア抜きヘッダー点検	月次点検	年12回
	3-30	冷温水ヘッダー(往・還)点検	月次点検	年12回
	3-31	冷水ヘッダー(往・還)点検	月次点検	年12回
	3-32	デリベントファン点検	定期点検	年1回
給排水衛生設備	4-1	上水受水槽点検保守	月次点検	年12回
	4-2	上水受水槽年次清掃	年次点検	年1回
	4-3	加圧給水ポンプユニット点検	定期点検	年2回
	4-4	電気温水器点検	定期点検	年2回
	4-5	雑用水槽保守点検(雨水再利用水)	月次点検	年12回
	4-6	雑用水槽清掃(雨水再利用水)	年次点検	年1回
	4-7	貯湯タンク保守点検	年次点検	年1回
	4-8	貯湯タンク年次清掃	年次点検	年1回
	4-9	貯湯タンク点検	月次点検	年12回
	4-10	滅菌装置(雨水濾過用)点検	月次点検	年12回
	4-11	ウォーターゲーラー	定期点検	年1回
	4-12	温水発生機点検	定期点検	年3回
	4-13	地熱ヒートポンプチラー点検	定期点検	年2回
	4-14	コージェネレーションユニット点検	月次点検	年12回
	4-15	FRP製全自動砂濾過装置点検	定期点検	年2回
	4-16	循環濾過装置点検	定期点検	年2回
	4-17	電界次亜塩素生成装置	月次点検	年12回
	4-18	水質管理装置	月次点検	年12回
	4-19	FRP製高性能濾過装置点検	定期点検	年2回
	4-20	滅菌装置(風呂濾過用)点検	月次点検	年12回
	4-21	雨水貯留槽年次清掃	定期点検	年1回
	4-22	地中熱利用設備	定期点検	年4回
	4-23	ブルオーバーフロー槽	定期点検	年2回
	4-24	雑排水槽点検清掃	定期点検	年3回
	4-25	汚水槽点検清掃	定期点検	年3回
	4-26	湧水槽年次清掃	定期点検	年2回
	4-27	冷却塔補給水槽点検保守	月次点検	年12回
	4-28	冷却塔補給水槽点検清掃	年次点検	年2回
	4-29	膨張タンク点検清掃	年次点検	年1回
	4-30	膨張タンク点検	月次点検	年12回

添付資料

： 提案課題4【施設の管理その他に関する業務】  
 1 施設の管理に関する業務等  
 (1) 施設、設備及び物品の維持管理

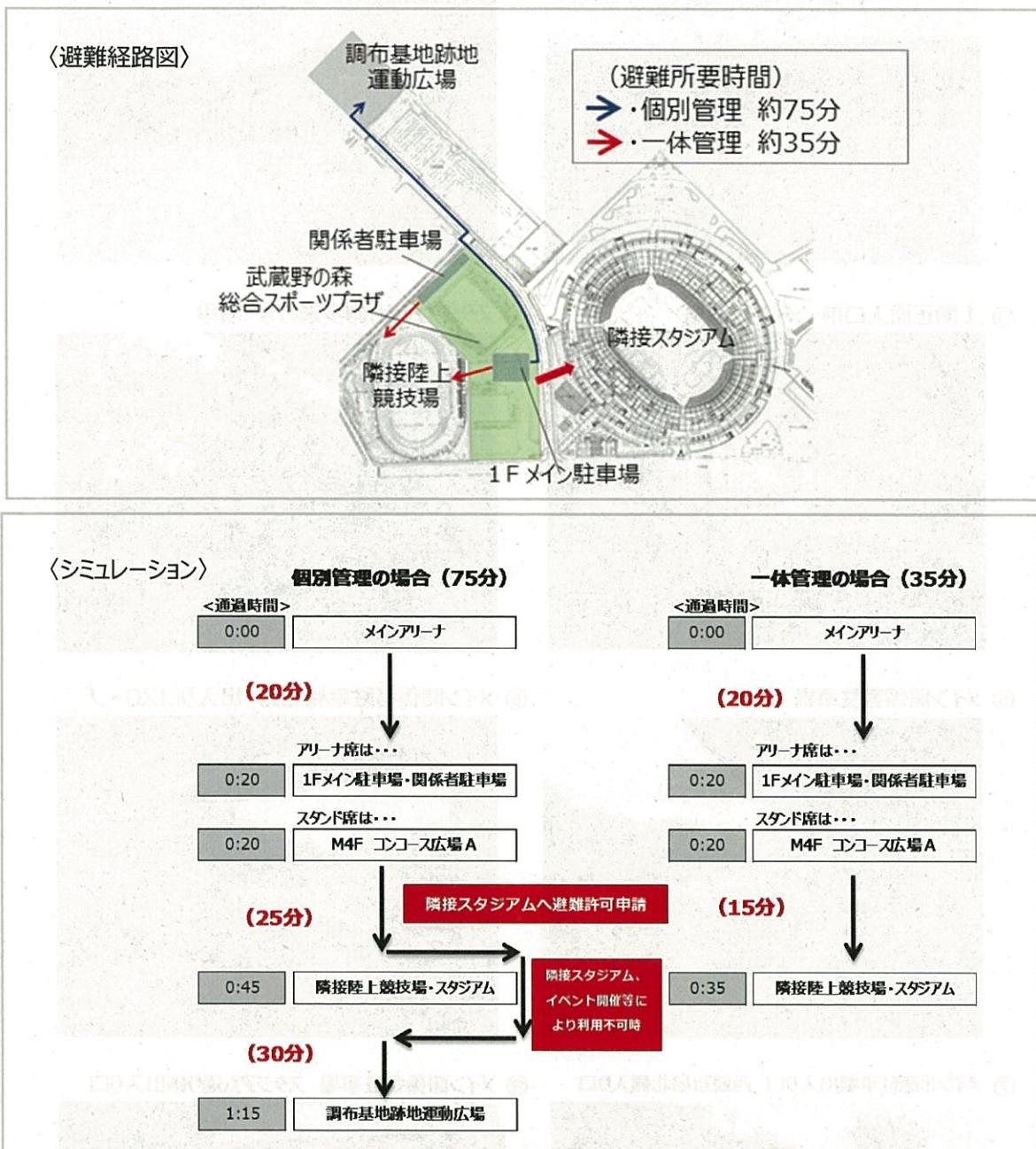
【設備保守計画】

[設備保守計画 (3/3) ]

種別	No.	点検項目	点検種類	点検回数
給排水衛生設備	4-31	雨水移送ポンプ点検	定期点検	年2回
	4-32	プール排水移送ポンプ点検	定期点検	年2回
	4-33	受水槽一体型加圧給水ポンプユニット清掃点検	定期点検	年6回
	4-34	加圧給水ポンプユニット点検	月次点検	年12回
	4-35	給湯循環ポンプ点検	月次点検	年12回
	4-36	温水循環ポンプ点検	月次点検	年12回
	4-37	冷温水循環ポンプ点検	月次点検	年12回
	4-38	強制シャワーユニット	定期点検	年4回
	4-39	各種排水ポンプ点検	月次点検	年12回
	4-40	汚水マンホールポンプ点検	月次点検	年12回
	4-41	災害用トイレシステム点検	定期点検	年2回
	4-42	排水樹脂点検	定期点検	年2回
建築設備	5-1	プール可動床設備	定期点検	年2回
	5-2	プール可動壁設備	定期点検	年2回
	5-3	自動ドア点検	定期点検	年3回
	5-4	シャッター点検	定期点検	年1回
	5-5	自動灌水システム	定期点検	年4回
	5-6	植栽管理(壁面緑化)	月次点検	年12回
	5-7	ロールスクリーン設備	定期点検	年1回
検査・測定業務	6-1	飲料水水質検査	定期点検	年2回
	6-2	雑用水水質検査	定期点検	年6回
	6-3	残留塩素測定（上水受水槽）	毎日点検	年365日
	6-4	雑用水測定（雑用水槽・冷却塔補給水槽）	定期点検	年6回
	6-5	プール水水質検査	定期点検	年12回
	6-6	プール水水質検査（総トリハロメタン、レジオネラ検査）	定期点検	年1回
	6-7	レジオネラ属菌水質検査	定期点検	年1回
	6-8	空気環境測定	定期点検	年6回
	6-9	建築設備定期点検	年次点検	年1回
	6-10	特殊建築物定期調査	年次点検	年1回
	6-11	ホルムアルデヒド測定（初年度のみ）	定期点検	年1回
	6-12	圧力容器法定検査	年次点検	年1回
	6-13	煤煙測定	定期点検	年2回
その他	7-1	表示盤設備	定期点検	年1回
	7-2	舞台照明設備	定期点検	年1回
	7-3	アリーナ音響設備	定期点検	年1回
	7-4	ロールバックシア設備	定期点検	年1回
	7-5	可動臺設備	定期点検	年1回
	7-6	バスケットゴールその他競技器具	定期点検	年1回

## 【メインアリーナ1万人規模のコンサート時を想定した避難動線のシミュレーション結果】

**一体運営により、誘導所要時間が75分から35分へ時間が半減**



- メインアリーナ1万人規模のコンサート時、避難を要する事案が発生した場合、1Fアリーナ席の観客は、1Fメイン駐車場・関係者駐車場に一時避難誘導します。観客席の観客は、M4F コンコース広場Aへ一時避難誘導します。
- 個別管理の場合、2次避難場所として隣接競技場・スタジアムへ避難誘導するとなると、スタジアム管理者へ連絡し、避難承認が必要となるので、時間を要する可能性があります。また、イベント開催等により利用できない場合には、3次避難場所の調布基地跡地運動広場への避難誘導が必要となることが想定されますが、その場合、スタジアム通りを渡る避難誘導が必要となり、所要時間の増加とともに安全確保が課題となります。
- 一体管理の場合は統括防火管理者が選任されており、統括防火管理者の指揮のもと、指定避難場所への避難誘導が可能となります。従って有事の際に**約10分～約40分程度の避難時間の短縮が可能**であり、利用者の「安全」を最優先する場合の重みは数字以上に大きいと考えます。

## 【避難動線の状況】

① アリーナ スタジアム連絡橋



② アリーナ 隣接陸上競技場ゲート



③ 1階正面入口前 メイン駐車場



④ スタジアム通り側歩道行き 階段



⑤ メイン関係者駐車場



⑥ メイン関係者駐車場北側 出入り口スロープ



⑦ メイン北側駐車場出入り口 西競技場北側入り口



⑧ メイン関係者駐車場 スタジアム通り側出入口



【避難動線の状況】

⑨ M4コンコース西



⑩ M4コンコース東



⑪ M4コンコース広場A



⑫ スタジアム通り 歩道



⑬ スタジアム通り 横断歩道



⑭ スタジアム通り 歩道



⑮ スタジアム通り 歩道



⑯ 調布基地跡地運動広場



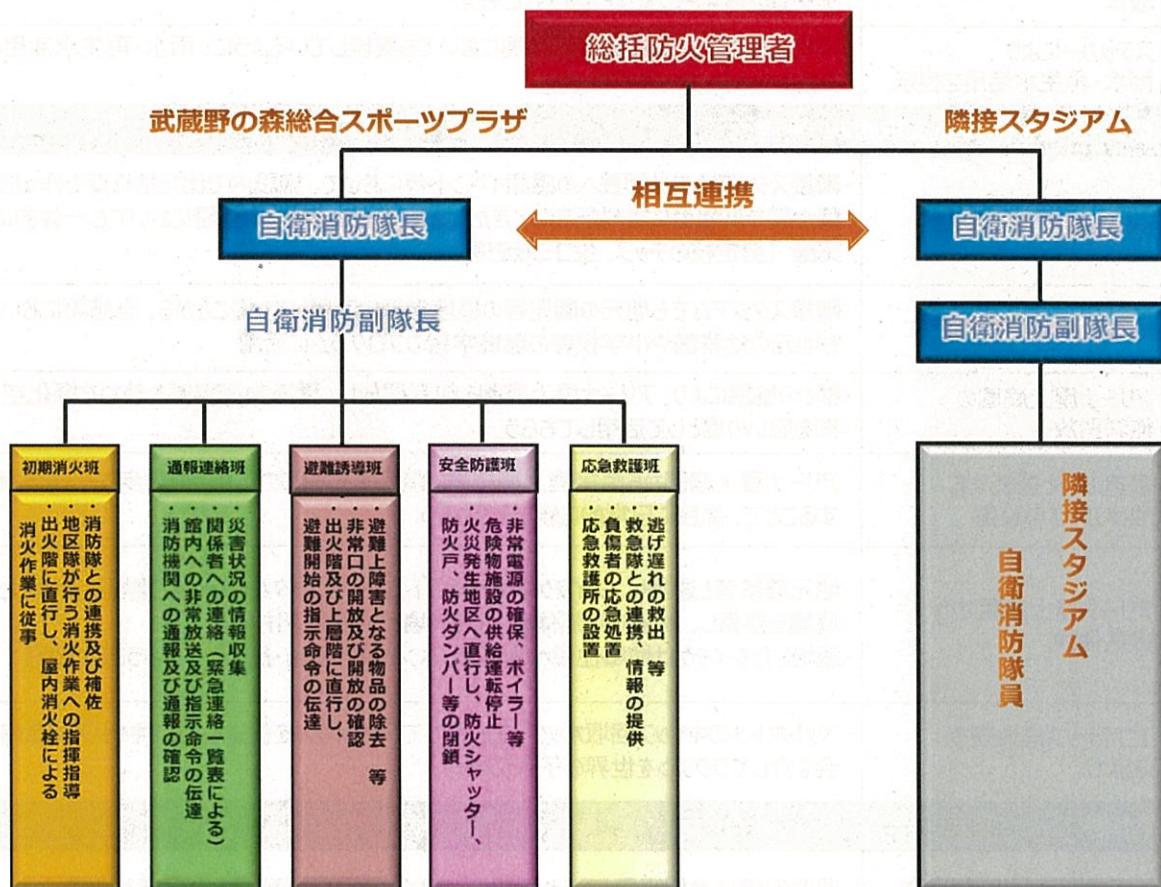
## 【防災訓練】

- 予防保全に全力を注ぎ、異常が発生しないような環境を作ることを原則としますが、仮に発生した場合のリスク対応・訓練も必要となります。近年想定されている最も大きなリスクの一つが、首都直下地震等大規模地震の発生であり、当グループでは、大規模地震に備えた訓練等を日々行っています。

地震想定訓練の実施項目	
身体保護	・落下物等から身を守る
出火防止措置	・火気使用設備器具の熱遮断措置
危険物品の応急措置	・危険物流出、漏洩防止措置
被害状況の把握	・情報の報告、把握、共有、指示
破損・誤作動した設備等の措置	・スプリンクラー、防火扉等の応急措置
情報収集と伝達	・テレビ、ラジオ、インターネットを通じた情報収集 ・被害状況の伝達　・建物施設の管理状況の伝達 ・スタッフ、在館者の把握
エレベーターの閉じ込めの確認	・インターホンによる確認　・閉じ込め確認後は、管理会社へ連絡
消防等への通報	・災害種別　・防火対象物の所在 ・防火対象物及び事業所の名称　・災害の発生場所　・けが人等の有無
館内への連絡	・むやみに移動することのないよう待機の連絡をする ・建物の被害状況等の情報提供をする ・家族の安否確認等を館内放送で促す ・公共交通機関、交通情報の情報提供をする ・館内の復旧状況の説明　・外部の災害状況の説明
避難誘導等	・放送設備の活用　・避難経路等具体的に指示　・誘導員の配置 ・安全措置を図った導線配置　・指定場所への避難方法 ・避難経路の確認　・避難者受け入れ体制の確認
救出・救護	・救出要者の確認　・状況把握　・事業所で保有する資器材を用いた救出活動 ・救出者の確認　・傷病者の搬送

- 当グループは、毎年、東京消防庁や東京都の協力により大規模災害訓練を実施しています。その際に、緊急対応マニュアルを事前に整備した上で、地震発生時には、慌てることなくマニュアルに則って、利用者の安全を第一を確保した避難誘導、避難所開設ができるよう実践的な訓練を行っています。

## 【自衛消防隊組織図（イメージ）】



## 添付資料

： 提案課題4【施設の管理その他に関する業務】  
 1 施設の管理に関する業務等（2）環境配慮への取組

## 【都民・企業への環境に関する普及啓発についての取組み（イメージ）】

館内表示による啓発	
エネルギー使用量等の表示	・太陽光発電設備の発電量や太陽熱温水設備の発熱量、建物での消費電力量等を、デジタルサイネージでリアルタイムに表示
ステッカーにより雨水・再生水活用を表示	・隣接スタジアム・隣接陸上競技場においても実施しているように、雨水・再生水活用の取組みをステッカー等で表示
都民・企業を巻き込んだ取組みの実施	
イベント等を活用した普及啓発	・隣接スタジアムでは都民への感謝イベント等において、施設内で出た枯れ葉で作った腐葉土等を来場者に無料配布してきた実績があることから、本施設においても一体的に実施（剪定枝のチップ、生ゴミ液肥等）
地域の環境学習に活用	・隣接スタジアムでも地元の園児等の環境学習に活用していることから、当施設においても地元の幼稚園や小学校等の環境学習のプログラムに活用
アリーナ屋上庭園の無料開放	・都との協議により、アリーナ屋上庭園を無料開放し、環境負荷軽減を兼ねた緑化空間を憩いの場として活用してもらう
周辺の緑と連続する散歩コースの設置	・アリーナ屋上庭園から隣接陸上競技場に隣接するみどりの広場との散歩コースを整備することで、都民に日常的に親しんでもらう
アリーナ屋上庭園での自然体験	・地元農家等と連携し、シイタケ栽培やカブトムシ、クワガタムシ等の採集場として屋上庭園を整備し、親子で自然体験ができる場としての活用も検討 ・栽培したシイタケは地域住民への感謝イベント等で配布・試食してもらうことも検討
エコキャップ推進運動に協力	・ペットボトルのキャップ回収ボックスを設置して、リサイクルを促進し、エコキャップ推進協会を介してワクチンを世界の子供に寄付
その他	
スタッフに対する意識啓発	・環境配慮推進担当責任者を配置し、全従事者に環境配慮への意識を徹底